

2026 年度

入学者選拔要項

一般選拔

大学入学共通テスト利用選拔（Ⅰ期・Ⅱ期）

総合型選拔

学校推薦型選拔（公募制）・（指定校制）

特別選拔（課題小論文）

特別選拔（社会人Ⅰ期・Ⅱ期）

特別選拔（海外帰国生徒）

特別選拔（外国人留学生）

学校推薦型選拔（併設校）



北海学園大学

目次

アドミッションポリシー（入学者受入方針）	3	(5) 入学検定料の支払い、出願上の注意について	37
出願から入学手続きまでの流れ	6	(6) 受験票について	37
I. 入学者選抜情報一覧	10	(7) 「学内併願」について	37
入学者選抜情報一覧	10	(8) 出願状況について	37
1. 募集人員	13	5. 合格発表	37
2. 入学検定料の支払い・出願上の注意について	14	6. 追加合格（I期のみ）	37
3. 一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜 における感染症への対応について	16	7. 入学手続	37
4. 受験票について	17	8. 入学手続の振替について	38
5. 障害等のある方の受験・入学について	18	IV. 総合型選抜要項	39
6. 個人情報の取扱いについて	19	1. 募集人員	39
7. 入学金・授業料等の学費納入金	20	2. 出願資格	39
8. 高等教育の修学支援新制度	20	3. 選抜日程等一覧	39
II. 一般選抜要項	21	4. 入学検定料の支払い・出願上の注意について	39
1. 募集人員および日程	21	5. 出願方法と送付先	40
2. 出願資格	21	6. 受験上の注意	40
3. 選抜科目・時間・配点・試験時間割・併願可能学科 （学部）一覧	22	7. 合格発表	41
4. 出願手続	25	8. 入学手続	41
(1) 出願期間（全学部）	25	9. 学部・学科・コース別 総合型選抜案内	42
(2) 出願方法	25	■経済学部 1・2部（経済学科・地域経済学科）	42
(3) 出願書類送付先	25	■人文学部 1・2部 日本文化学科	43
(4) 出願書類	25	■人文学部 1・2部 英米文化学科	44
(5) 入学検定料の支払い、出願上の注意について	25	■工学部 社会環境工学科 社会環境コース・環境情報コース	45
(6) 受験票について	25	■工学部 建築学科	46
(7) 「学内併願」について	25	■工学部 電子情報工学科	47
(8) 学内併願における志望順位の登録について	25	■工学部 生命工学科	48
(9) 出願状況について	25	V. 学校推薦型選抜（公募制）・（指定校制）要項	49
5. 受験上の注意	26	1. 募集人員	49
6. 工学部B日程の「選択」科目について	27	2. 学校推薦型選抜日程等一覧	50
7. 2部の「選択」科目について	27	3. 出願書類	51
8. 試験場	27	4. 入学検定料の支払い・出願上の注意について	52
9. 合格発表	28	5. 出願方法と送付先	52
10. 追加合格	28	6. 受験上の注意	52
11. 入学手続	28	7. 合格発表	53
III. 大学入学共通テスト利用選抜要項	30	8. 入学手続	53
1. 募集人員および日程	30	9. 学部・学科・コース別 学校推薦型選抜案内	54
2. 出願資格	31	■経済学部 1・2部（経済学科・地域経済学科） （指定校制）	54
3. 選抜科目・配点	32	■経営学部 1部 経営学科・経営情報学科、 2部 経営学科（普通科系指定校制）	55
4. 出願手続	36	■経営学部 1部 経営学科・経営情報学科、 2部 経営学科（商業科系指定校制）	56
(1) 出願期間	36	■法学部 1・2部（法律学科・政治学科）（指定校制）	58
(2) 出願方法	36		
(3) 出願書類送付先	36		
(4) 出願書類	36		

■人文学部 1・2部 日本文化学科・英米文化学科 (指定校制).....	59	5. 選抜概要	79
■工学部 社会環境工学科 社会環境コース (公募制)	60	6. 入学検定料の支払い・出願上の注意について ...	79
■工学部 社会環境工学科 環境情報コース (公募制)	61	7. 出願方法と送付先	79
■工学部 建築学科 (公募制)	62	8. 受験上の注意	79
■工学部 電子情報工学科 (公募制)	63	9. 合格発表	80
■工学部 生命工学科 (公募制)	64	10. 入学手続	80
■工学部 社会環境工学科 社会環境コース (指定校制)	65	特別選抜 (外国人留学生) 要項	
■工学部 社会環境工学科 環境情報コース (指定校制)	66	1. 趣旨	81
■工学部 建築学科 (指定校制)	67	2. 募集人員 (各学部・学科/コース 若干名) ...	81
■工学部 電子情報工学科 (指定校制)	68	3. 出願資格	81
■工学部 生命工学科 (指定校制)	69	4. 出願手続	81
VI. 特別選抜 (課題小論文) 要項	70	5. 選抜概要	82
1. 趣旨	70	6. 入学検定料の支払い・出願上の注意について ...	82
2. 募集人員	70	7. 出願方法と送付先	82
3. 出願資格	70	8. 受験上の注意	82
4. 出願手続	70	9. 合格発表	83
5. 選抜概要	71	10. 入学手続	83
6. 入学検定料の支払い・出願上の注意について ...	71	11. 外国人留学生授業料減額制度について	83
7. 出願方法と送付先	71	IX. 学校推薦型選抜 (併設校) 要項 (北海高等学校・ 北海学園札幌高等学校)	84
8. 受験上の注意	71	1. 本制度の目的と要件	84
9. 合格発表	71	2. 選抜日程等一覧	84
10. 入学手続	72	3. 出願書類	85
11. その他	72	4. 選抜方法	86
VII. 特別選抜 (社会人) 要項	73	5. 入学検定料の支払い・出願上の注意について ...	86
1. 趣旨	73	6. 受験上の注意	86
2. 募集人員	73	7. 合格発表	87
3. 出願資格・選抜方法	73	8. 入学手続	88
4. 社会人選抜日程等一覧	74	X. 試験場案内図	89
5. 出願書類	75	XI. 各種様式記入例	90
6. 入学検定料の支払い・出願上の注意について ...	76	(様式1) 推薦書	91
7. 出願方法と送付先	76	(様式2) 各種検定試験合格証書・証明書の写しに関する 証明	92
8. 受験上の注意	76	(様式3) 経歴書	93
9. 合格発表	76	(様式4) 在職証明書	94
10. 入学手続	77	(様式5) 「適格性自己診断書」・「学修計画書」・「志望理 由書」・「事前提出小論文」「2次選考で実施する プレゼンテーションの概要」共通原稿用紙	95
VIII. その他の特別選抜	78	(様式6) 「課題小論文」原稿用紙	96
特別選抜 (海外帰国生徒) 要項		XII. 札幌市内 地下鉄・JR 路線案内図	
1. 趣旨	78		
2. 募集人員 (各学部・学科/コース 若干名) ...	78		
3. 出願資格	78		
4. 出願手続	78		

2026年度 北海学園大学・各学部 アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

北海学園大学は、建学の精神、学位授与方針および教育課程編成方針に基づき、次の要件を満たした上で自ら行動して積極的に社会の発展に貢献しようとする人を、多様な選抜方法により受け入れます。

1. 本学の建学の精神と入学しようとする学部学科の教育理念や教育内容を理解し、共感する人
2. 高等学校までの教育課程において培われる知識・技能を十分に有し、課題解決に適用できる人
3. 主体的に学び、自ら考え、自らの可能性に挑戦しようとする人
4. 多様性を受容し、豊かな人間性を身に付けて他者と協働できるようになりたいと考えている人

経済学部 1 部

本学部の教育目標は、建学の精神に基づいて、急速に変化している国際的な経済環境・情報環境の中で、経済や社会の現状を的確に認識し、変化に対応できる幅広い知識と能力、柔軟な感性を養うこととしています。そのために、日本及び世界の現実や矛盾について、経済学を基礎とした社会科学的視点で理解し、望ましい社会のあり方について考えようとする人、市町村や北海道など、地域の抱えている諸問題を解明し、地域発展の方向を考えようとする人、企業・官公庁そのほかの組織において、直面する課題を具体的に解決する力を身につけたいと考えている人を求めています。

本学部では、大学における学修の基礎として、次のような能力・知識を求めます。それらは高等学校において身につけておくことが大切です。

- 経済的事象に興味を持ち、主体的に学ぶ意欲を持続できる能力。

- 様々な文献・資料を理解し、また自身の考えを文章で表現するための国語及び外国語能力。
- ディスカッションにおいて相手の発言を理解し、また自身の考えを論理的に伝えるための能力。
- 経済学の様々な理論、知識を習得するための数学あるいは社会科学の知識。

上記の能力・知識は次のような入学者選抜によって評価されます。

- 一般選抜においては、国語・英語・数学・社会科学などに関する知識について、本学で作成した問題によってその解答能力から評価します。
- 学校推薦型選抜においては、書類審査、口頭試問などにより、評価します。
- 総合型選抜においては、書類審査、グループディスカッション、プレゼンテーションなどにより、総合的に評価します。

経済学部 2 部

本学部の教育目標は、建学の精神に基づいて、急速に変化している国際的な経済環境・情報環境の中で、経済や社会の現状を的確に認識し、変化に対応できる幅広い知識と能力、柔軟な感性を養うこととしています。そのために、日本及び世界の現実や矛盾について、経済学を基礎とした社会科学的視点で理解し、望ましい社会のあり方について考えようとする人、市町村や北海道など、地域の抱えている諸問題を解明し、地域発展の方向を考えようとする人、企業・官公庁そのほかの組織において、直面する課題を具体的に解決する力を身につけたいと考えている人を求めています。また、経済的事情などにより、昼間に仕事をしながらも勉学意欲旺盛な人、社会生活の途上にあってもさらなる自己啓発を目的とする人、第一線を退いてからの生涯学習・リカレント教育を希望する人も求めています。

本学部では、大学における学修の基礎として、次のような能力・知識を求めます。それらは高等学校において身につけておくことが大切です。

- 経済的事象に興味を持ち、主体的に学ぶ意欲を持続できる能力。
- 様々な文献・資料を理解し、また自身の考えを文章で表現するための国語及び外国語能力。
- ディスカッションにおいて相手の発言を理解し、また自身の考えを論理的に伝えるための能力。
- 経済学の様々な理論、知識を習得するための数学あるいは社会科学の知識。

上記の能力・知識は次のような入学者選抜によって評価されます。

- 一般選抜においては、国語・英語・数学・社会科学などに関する知識について、本学で作成した問題によってその解答能力から評価します。
- 学校推薦型選抜および特別選抜(社会人)においては、書類審査、口頭試問などにより、総合的に評価します。
- 総合型選抜においては、書類審査、グループディスカッション、プレゼンテーションなどにより、総合的に評価します。

経営学部 1 部

経営学部は、「組織を中心とした経営学教育」、「実践志向の経営学教育」、「グローバルな視点に立つ経営学教育」、「情報分析を重視した経営学教育」、「人間行動を重視した経営学教育」を教育理念とし、この五つの教育理念のもと、経営分野の専門知識とそれを活かす実践力をあわせもち、組織や社会の発展に貢献しうるマネジメント能力に優れた人材を育成します。

このために、それぞれの学科で以下のような人を幅広く受け入れます。

経営学科

- 高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人。
- 総合的な知識に基づき、社会の出来事を理解し、客観的に分析できる人。
- 大学で修得した知識を実践の場で活用し、組織の創造性を高めたいと考えている人。
- 企業経営や商品の流通に関心を寄せ、組織のマネジメントやマーケティングのプロフェッショナルを志す人。

経営情報学科

- 高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人。
- 総合的な知識に基づき、社会の出来事を理解し、客観的に分析できる人。
- 大学で修得したいろいろな知識を融合・応用し、組織の革新に挑みたいと考えている人。
- 企業分析や企業における人間行動に関心を寄せ、情報、会計、心理のプロフェッショナルを志す人。

そのため経営学部では、一般選抜において、国語、外国語(英語)を選抜科目とし地理・歴史、政治・経済、数学を選抜選択科目とすることで、基礎的な日本語・外国語の読解力や表現力、ビジネスコミュニケーション能力のほか、論理的な思考力、物事を数学的に捉えて考える数理的素養、社会を理解する基礎的知識と分析能力を有する学生を求めています。

また、経営学部に入学者までに、各教科(国語、数学、外国語(英語)、地理歴史、公民、理科、情報、保健体育、芸術、技術家庭)の内容を理解し、基礎的な知識を身に付けておくほか、特別活動・課外活動を通じて自主性・協調性、社会貢献に対する意識を養っておくことが望まれます。

経営学部 2 部

経営学部は、「組織を中心とした経営学教育」、「実践志向の経営学教育」、「グローバルな視点に立つ経営学教育」、「情報分析を重視した経営学教育」、「人間行動を重視した経営学教育」を教育理念とし、五つの教育理念のもと、経営分野の専門知識とそれを活かす実践力をあわせもち、組織や社会の発展に貢献しうるマネジメント能力に優れた人材を育成します。

このために、経営学部 2 部では、以下のような人を幅広く受け入れます。

経営学科

- 高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人。
- 総合的な知識に基づき、社会の出来事を理解し、客観的に分析できる人。
- 企業経営や商品の流通に関心を寄せ、組織のマネジメントや

マーケティングのプロフェッショナルを志す人。

- 企業分析や企業における人間行動に関心を寄せ、情報、会計、心理のプロフェッショナルを志す人。
- 職場での問題意識を持ち、解決を図ろうとする行動力のある社会人。

そのため経営学部 2 部経営学科では、一般選抜において、国語を選抜科目とし英語、地理・歴史、政治・経済、数学を選抜選択科目とすることで、基礎的な日本語の読解力や表現力、ビジネスコミュニケーション能力のほか、論理的な思考力、物事を数学的に捉えて考える数理的素養、社会を理解する基礎的知識と分析能力を有する学生を求めています。

また、経営学部に入學するまでに、各教科（国語、数学、外国語（英語）、地理歴史、公民、理科、情報、保健体育、芸術、技術家庭）の内容を理解し、基礎的な知識を身に付けておくほか、特別活動・課外活動を通じて自主性・協調性、社会貢献に対する意識を養っておくことが望まれます。

法学部 1 部・2 部

人々の価値観は非常に多様であるため、社会における様々な場面において意見の対立が生じます。法学部では、建学の精神に則り、社会における様々な問題に対してより良い解決策を考案し、組織を先導していくリーダーとしての役割を担えるような人材の育成を目指しています。

以下で示されている各学科が求める人材については 1 部・2 部に共通していますが、2 部では、勉学意欲はあるが経済事情の厳しい人、昼間に仕事をしながらも勉学意欲旺盛な人、社会生活の途上にあってもさらなる自己の陶冶を目的とする人、第一線を退いてからの生涯学習・リカレント教育を希望する人、なども求めています。

高校では、基本とされる教科をしっかりと勉強することが極めて大切であります。国語と地理歴史・公民は、法的素養・政治学的素養を身につけるために特に重要であることから、一般選抜における 1 部・2 部共通の試験科目に設定されています。

なお、2 部では、一般選抜によらない特別選抜（課題小論文）、社会人のための口頭試問方式の特別選抜が設けられています。

法律学科

人々の意見の対立は究極的には裁判所で解決されますが、法律学科の学生は、裁判所で争われた様々な事例の検討を通じて、バランスのとれた問題解決能力を身につけていきます。そのためには法的素養を備える必要がありますが、この素養を備

えた人材を育成するために、以下のような人を求めます。

- 法に関して幅広い好奇心を有している人。
- 法に関する知識の修得に真摯に取り組める人。
- 正義・公平の理念に基づき、物事を論理的に考えることができる人。
- 他人の意見に関心をもち、それを理解しようと努めることができる人。
- 社会の諸問題につき、具体的な解決策を提示していく意欲がある人。

政治学科

政治学とは、望ましいルールとは何か、ルールはどのように決めるべきかなどを様々な角度から追究していく学問です。政治学科の学生は、様々な領域における政治的諸問題の本質がどこにあるのかを見極め、より多くの人々が納得できる解決策を提案できる能力を身につけていきます。そのためには政治学的素養を備える必要がありますが、この素養を備えた人材を育成するために、以下のような人を求めます。

- 政治に関して幅広い好奇心を有している人。
- 政治に関する知識の修得に真摯に取り組める人。
- 正義・公平の理念に基づき、物事を論理的に考えることができる人。
- 他人の意見に関心をもち、それを理解しようと努めることができる人。
- 社会の諸問題につき、具体的な解決策を提示していく意欲がある人。

人文学部 1 部・2 部

学部の理念と教育研究上の目的

人文学部は、建学の精神をふまえ、近代ヨーロッパに起源を持つ人文主義を批判的に継承することで人間としてのあるべき姿を追求し、人間と自然、自己と他者が共生できる世界を目指す「新人文主義」を学部の理念として掲げ、1993 年 4 月に開設された学部です。本学部では、「文化を学ぶ、世界と繋がる」をモットーに、地域に根ざしつつグローバルな視野をもって、人間と人為の所産である文化を探究することを教育研究上の目的として掲げています。

日本文化学科

日本文化学科は、学部の理念と教育研究上の目的によって編成された教育課程を通し、教養を基礎として、主に日本語と日本文化に関する専門知識に裏づけられた洞察力・表現力・創造力を身につけ、多様性に開かれた社会を築くため、主体的に活動できる人間の育成を目指しています。そのため本学科では、高等学校卒業程度の学力を有し、特に次に掲げる意欲と学力等を有する人を国内外から広く求めています。

- 教養を身につけることで、自らを高めようとする意欲のある人
- 人文学、とくに日本語と日本文化を専門的に学ぶ主体性と基礎学力を有する人
- 論理的に考え、自分の意見をわかりやすく伝えられる人
- 将来、学科での学修成果を活かし、多様性に開かれた社会の実現に努力する意志のある人
- 2 部においては、これらに加え、働きながら学ぶ意欲のある人

英米文化学科

英米文化学科は、学部の理念と教育研究上の目的によって編成された教育課程を通し、教養を基礎として、主に英語と欧米文化に関する専門知識に裏づけられた洞察力・表現力・創造力を身につけ、多様性に開かれた社会を築くため、主体的に活動できる人間の育成を目指しています。そのため本学科では、高等学校卒業程度の学力を有し、特に次に掲げる意欲と学力等を有する人を国内外から広く求めています。

- 教養を身につけることで、自らを高めようとする意欲のある人
- 人文学、とくに英語と欧米文化を専門的に学ぶ主体性と基礎学力を有する人
- 論理的に考え、自分の意見をわかりやすく伝えられる人
- 将来、学科での学修成果を活かし、多様性に開かれた社会の実現に努力する意志のある人
- 2 部においては、これらに加え、働きながら学ぶ意欲のある人

入学者選抜の方法と資質・能力との関係

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜では、国語・外国語・地理歴史・公民等の科目で言語運用能力と大学で学ぶための基礎学力を判定します。学校推薦型選抜・特別選抜では、書類審査・事前提出小論文・口頭試問等で言語運用能力や論理的思考力、主体的に学ぶ意欲を判定します。総合型選抜では、書類審査・言語運用能力に関する総合問題・プレゼンテーション・口頭試問等で基礎学力と主体的に学ぶ意欲を判定します。

工学部

工学部では、建学の精神である自主独立の「開拓者精神」に基づいて、社会に存在する諸課題の解決に工学的な視点から貢献できる人材の育成に主眼を置いています。しっかりとした基礎学力、数理的な思考力やコミュニケーション力などを十分に有し、新しい知識を学ぶことで広範囲な「ものづくり」や「サービスづくり」を通じ、持続可能で住みよい社会の実現に関心がある人を求めています。学科特性に応じて多様性に富んだ入学者選抜を行っています。

社会環境工学科

社会環境工学科では、社会環境工学を学ぶことに対して強い意欲を持つ次のような人を求めています。

【両コース共通】

- 大学での教育に必要な数学、理科、英語その他の十分な基礎学力を備えている人。
- 常に向上心を持ち、コミュニケーション能力や協調性及びリーダーシップを養う努力をする人。
- 自然現象や社会システムに関心を持ち、環境の保全・創造や、環境と調和した社会の構築に取り組む意欲を有する人。

【社会環境コース】

- 市民の生活を支える社会・都市基盤の整備や維持管理に興味を持ち、これらの分野で社会貢献を目指す人。

【環境情報コース】

- 市民の生活を支える社会や都市の仕組みに関心があり、市民の安全、福祉などの政策決定や情報化に興味を持ち、これらの分野で社会貢献を目指す人。

建築学科

建築学を学ぶことに対して強い意欲を持つ次のような人を求めています。

- 機能的で美しい建築や住みよい都市をデザインしたいと思っている人。
 - 建築や都市の快適性を環境面から追求したいと思っている人。
 - 災害に強く、安全かつ耐久性のある建築や都市を造りたいと思っている人。
- そのため選抜科目も多様な科目の中から選択できるように

なっており、文系・理系を問わず受験できます。重要なことは、しっかりとした基礎学力と学ぶ意欲を身につけておくことです。また、様々な学習や活動をとらして、コミュニケーション能力や協調性、主体性や表現力を身につけた人を求めています。

電子情報工学科

電子情報工学科は、現代社会に欠かせないハードウェアとソフトウェアを活用して社会に貢献する人材の育成を目的としており、学生には論理的な思考方法を身につけた上で、電子工学と情報工学の両面にわたる知識の修得を求めます。そのため、物事の数理的な取扱いに強い興味と関心を示すとともに、世の中のさまざまな考え方を理解し共有しようとする人、さらに、電子・情報・通信などの分野に強い興味と関心を持ち、それらを通して問題を認識・発見し、論理的・創造的に解決できる力を身につけようとする人を求めています。上述の学習目標を着実に達成するために、高校においては、基本とされる教科をしっかり勉強することが大切です。特に数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C、物理基礎・物理、情報Ⅰ、国語（現代文）、英語に力を入れて学習することが望まれます。

生命工学科

生命工学科では、生命科学と情報工学を学ぶことに対して強い意欲を持ち、向上心と好奇心に満ちた次のような人を求めています。

- 動物や植物、人間社会などに関心があり、実験や観察、「ものづくり」が好きな人。
- 人間工学や情報技術あるいは分子生物学やバイオテクノロジーに関心があり、物事を論理的に考えることのできる人。
- 生命や脳のしくみ、人間の行動コミュニケーションなどに興味を持ち、分野横断的に新しい課題に意欲的に取り組むことのできる人。

このため入学者選抜では、英語と数学に加え、理科を選抜教科に設定しています。高校では、これらの教科を中心にしっかりと基礎学力をつけ、自分の頭で考える習慣を身につけておきましょう。また、さまざまな活動を通して、豊かな「人間力」とみずみずしい「好奇心」を養っておいてください。

出願から入学手続までの流れ

本学の入学者選抜では、WEB 上での出願手続きが必要となります。対象となる選抜区分は以下のとおりです。出願期間は「1. 北海学園大学 2026 年度入学者選抜情報一覧 (2026 年 4 月入学生用)」(10～12 頁)を参照してください。

《対象選抜》

- 一般選抜
- 大学入学共通テスト利用選抜 I 期・II 期
- 総合型選抜
- 学校推薦型選抜 (公募制・指定校制)
- 学校推薦型選抜 (併設校)
- 特別選抜 (課題小論文)
- 特別選抜 (社会人 I 期・II 期)
- 特別選抜 (海外帰国生徒)
- 特別選抜 (外国人留学生)

《出願から入学手続までの流れ》

本学ホームページのリンクから、WEB 出願サイトへアクセスしてください。ユーザー登録は 9 月 10 日 (水) から可能です。「WEB 出願登録」「入学検定料納入」「出願書類の送付」を全て完了し、出願完了となります。

この他、試験終了後の「合否照会」、合格された方についてはその後の「合格通知・振込用紙の印刷」や「入学のための情報登録」まで、全て WEB 出願サイト上から行います。



《出願上の注意》

インターネットでの WEB 出願システムによる出願登録だけでは出願完了となりません。必ず、支払期限までに入学検定料を支払い、作成・印刷した志願票(願書)、その他出願書類(調査書等)を郵送または持参してください。出願期間の消印有効日を過ぎた郵送や、大学窓口受付期限(時刻)までに持参しなかった場合には、受付ができません。

《WEB 出願に関する手続について》

Step 1 事前準備

インターネット環境をご用意ください。スマートフォン/タブレットからでも出願できます。

パソコン等の推奨環境について

ブラウザ —— Windows / Firefox、Chrome、Edge
Mac / Firefox、Chrome、Safari
iOS 最新版 / Firefox、Chrome、Safari
Android 最新版 / Firefox、Chrome

PDF —— Adobe Acrobat Reader DC

※ Adobe Acrobat Reader DC 以外の PDF ビューアは推奨環境外です。

※表示もしくは印刷できない場合は、PDF ファイルを保存して、Adobe Acrobat Reader DC を利用してください。



QR コードを利用してアクセスすることもできます。

メールアドレスの準備

ご登録いただくメールアドレスは、サイトログイン時に利用します。入学後も利用可能な日常的に確認できる受験生本人のメールアドレスを登録してください。特に携帯電話のメールアドレスを利用する(パソコンからのメールを受信拒否している)場合は、「@eraku-p.jp」ドメインからのメールを受信できるように、事前に設定してください。

※高等学校から付与されているメールアドレスや、受験生本人以外のメールアドレスは登録しないでください。

印刷できる環境の確認

PDF ファイルで表示される志願票(願書)を印刷して、郵送することになります。以下のものを準備してください。

●プリンター：A4 サイズの普通紙に、カラー(推奨)若しくはモノクロで印刷できるもの

●印刷用紙：白色の OA 普通紙でミシン目や模様が入っていないもの

自宅にプリンターがない場合は、コンビニエンスストア等のプリントサービスを利用してください。

デジタル写真の用意

- ファイルサイズが20MB以下であること。
- 写真の画素数が2200万画素以下であること。
- ファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）もしくはPNG（拡張子「.png」）であること。
※ただし、拡張子だけを変更したものは登録できません。
- ファイル名に指定はありません。

良い例



- 出願3ヶ月以内に撮影したカラー写真（モノクロは不可）
- 正面・上半身・無帽・無背景
- 試験中にメガネを着用する場合はメガネ着用時のもの
- デジタルカメラ、スマートフォン等で撮影したものも可（スナップ写真は受付できません）

次のような写真は、受付できませんので振り直してください。



- 目が隠れている、前髪または影が目にかかっている
- 被写体が小さい ● ピントが合っていない ● 画質が粗い
- 眼鏡が反射している、カラーレンズやサングラスで目が確認できない
- 目を閉じている ● 影が大きい ● 背景が暗い
- データ容量が極端に小さい（100KB以下）など

必要書類の準備

- 調査書などの出願に必要な書類は、発行に時間がかかる場合がありますので、十分余裕をもって発行手続を行ってください。

封筒の準備

市販の角2型封筒を用意してください。

Step 2 WEB出願 Start

本学ホームページのリンクから、WEB出願サイトへアクセス。

<https://www.hgu.jp/> [本学 TOP ページ](#) > [受験生の方へ](#) > [WEB出願ページへ](#)

Step 3 マイページ作成

メールアドレス

ログインID

志願者氏名、メールアドレスを入力し、「ワнтаイムパスキーを取得する」ボタンをクリックすると、「ワнтаイムパスキー」が記載されたメールが届きます。「ワнтаイムパスキー」を入力すると、「マイページ」が作成され、「ログインID」が記載されたメールが届きます。

マイページからは、入学までの様々な手続きが可能です。メールアドレスとログインIDは、常に同じものを利用してください。メールアドレス、ログインIDは今後使用しますので、間違えないように上記に記入してください。

※3分過ぎてもメールが届かなかった場合、「メールアドレスが間違っていないか」「メール受信拒否設定をしていないか」「迷惑メールフォルダなどに振り分けられていないか」などをご確認ください。

マイページの機能

別の入試を出願する

志願票（願書）の印刷・出願内容確認

受験票を印刷する

合否の照会

通知・手続き等

Step 4 出願内容の登録

ユーザー登録は9月10日（水）から可能です。

画面の指示に従って「試験区分」→「出願内容」→「個人情報」→「入学検定料支払い窓口の選択」を選択・入力します。登録完了と同時に「出願登録完了メール」が送られてきますので、コンビニエンスストアで支払う場合は期限内に検定料をお支払いください。ペイジー（インターネットバンキング）で支払う場合は、画面の指示に従って続けて支払いを完了させてください。

クレジットカードで支払う場合は、登録完了と同時に支払いが完了します。

- 「出願登録完了メール」に「支払う際に必要な番号」「ログインID」が記載されています。
- 氏名の漢字登録は、JIS規格の第一水準、第二水準のみとなりますのでご了承ください。

Step 5 入学検定料支払い

コンビニエンスストア、ペイジー ATM、クレジットカードで決済

コンビニエンスストア					現金支払い	コンビニ設置のATMは利用できません。コンビニでは現金のみの取扱いとなります。				
[Loppi]	[マルチコピー機]	[レジへ]	[レジへ]	[レジへ]		[レジへ]	[レジへ]	[レジへ]	[レジへ]	[レジへ]
[各種番号をお持ちの方]を選択	[代金支払い]を選択	レジで「オンライン決済」を申し込む	レジで「インターネット支払い」と伝える	店員の方へ「インターネット支払い」をする旨を伝え、「払込票番号」を伝えます。発行した「払込票」を渡しても構いません。		レジ画面で決済番号を入力	お客様側のレジ画面にて[受付番号][確認番号]を入力			
[受付番号]を入力し、[次へ]ボタンを押す	[各種番号をお持ちの方はこちら]を選択					内容確認後、レジでお支払い	支払内容の確認画面が表示			
お申込み時に登録した電話番号を入力し「次へ」を押す	企業コード・注文番号を入力						OKを押してお支払い			
内容確認後、「了解」ボタンを押す	端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い									
端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い										

※支払方法、コンビニは変更になる場合があります。
※店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

金融機関 ATM(ペイジー)

現金支払い/キャッシュカード

クレジットカード

Pay-easy対応ATMを利用
[税金・各種料金(ペイジー)]を選択
収納機関番号を入力

お客様番号・確認番号を入力
支払い方法を選択し、(現金またはキャッシュカード)お支払い



※現金取扱いの場合は、検定料の総額が10万円未満の場合のみ支払いが可能です。10万円を超える場合は、キャッシュカードをご利用ください。



VISA, Master, JCB, American Express, Diners
※カードの名義人は受験生本人である必要はありません。

!

- 入学検定料の他に支払手数料が必要です。
- ローソン、ミニストップ、セイコーマートは、入金通知に時間がかかる場合があります。
- 申込完了後に通知される支払期限内に入学検定料の支払いがなかった場合は登録情報は無効になります。
- 入学検定料の支払い後は、一切の変更ができませんので、内容を十分確認し、入力および登録をしてください。

Step 6 マイページから出願書類の印刷

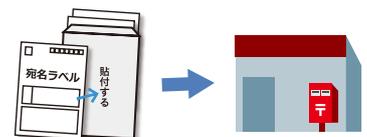
支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたら、WEB 出願サイトの「マイページ」にログインして、「志願票(願書)」「宛名ラベル」を印刷

? プリンターがない場合は?

コンビニエンスストアで印刷できる「netprint(セブン-イレブン)」、「ネットワークプリントサービス(セイコーマート、ローソン、ファミリーマート)」等をご利用ください。(事前にユーザー登録が必要です。詳しくは各サービスの WEB サイトをご確認ください。)

Step 7 出願書類の郵送

市販の角 2 型封筒をご用意いただき、「志願票(願書)」とその他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、速達・簡易書留で郵送してください。※必要書類および出願期間は入学者選抜要項でご確認ください。



本学が出願書類を受理後、次のステップへ

Step 8 受験票印刷

出願受付完了後、「受験票」の印刷が可能となります。事前に A4 サイズで印刷し、試験当日に持参してください。
※受付完了後、メールでお知らせいたします。
※出願書類を郵送いただいてから、「受験票」の印刷が可能となるまでお時間がかかる場合があります。

合格発表日

Step 9 合格照会

以下の二つの方法で合格を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。
また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした、入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ①出願登録と同様に、本学ホームページから WEB 出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。
マイページへのログインには「ログイン ID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ②マイページにログインしたら、「合格照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URL を指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB 合格照会」バナーをクリックするか、下記の URL からアクセス

<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>



1

利用規約を確認し、「同意する」にチェックを入れて次ページに進みます。

2

受験番号と誕生日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3

合格結果が表示されます。

Step 10 合格通知書・入学手続きに関する書類の印刷、学納金の支払い、入学のための情報登録・必要書類の提出、「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請（合格者のみ）

合格者は WEB 出願サイトのマイページ内、「合格通知」ページに「入学手続きに進む」のボタンが表示されます。入学手続きページでは、①合格通知書・振込用紙の印刷、②入学手続きに関する書類の印刷、③「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請（対象者のみ）を行ってください。

（合格通知書や振込用紙等は郵送しません）

入学希望者は入学手続き期間内に、所定の学納金を銀行（ゆうちょ銀行は除く）および信用金庫窓口でお支払いください。学納金のお支払いは、合格通知書の下部に表示される、本学所定の振込用紙を各自で印刷してご使用ください。

（ATM・インターネットバンキング不可）

なお、北洋銀行の本支店では、振込手数料は無料ですが、他行では有料となります。

合格者は登録期間になりましたら「入学のための情報登録」ページが表示されますので、必要情報を期間内に登録してください。

また、受験時に「卒業見込み」または「高校卒業程度認定試験合格見込み」の状態であった方や、合格した選抜区分によって大学側に提出が必要な書類があります。

詳細は入学手続き時にご確認ください。

I. 北海学園大学 2026年度入学者選抜情報一覧 (2026年4月入学生用)

		一般選抜		大学入学 共通テスト 利用選抜Ⅰ期		大学入学 共通テスト 利用選抜Ⅱ期		
		1部 (昼間部)	2部 (夜間部)	1部 (昼間部)	2部 (夜間部)	1部 (昼間部)	2部 (夜間部)	
掲載ページ		21～29 頁		30～38 頁		30～38 頁		
出願期間 ※ 1		2026年 1月5日(月) ～1月26日(月) 【消印有効】 ～1月27日(火) 午後4時 【大学窓口締切】		2026年 1月5日(月) ～1月29日(木) 【消印有効】 ～1月30日(金) 午後4時 【大学窓口締切】		2026年 2月12日(木) ～3月5日(木) 【消印有効】 ～3月6日(金) 午後4時 【大学窓口締切】		
試験日		2026年 2月9日(月) ※3 ・2月10日(火)		※4		※4		
合格発表日		2026年 2月24日(火)				2026年 3月17日(火)		
入学 手続 期間	【入学金の納入】	2026年 2月24日(火)～3月3日(火)				2026年 3月17日(火)～3月24日(火)		
	【授業料等の納入】 または 【高等教育の修学支援 新制度の本学への申請】	2026年 2月24日(火)～3月10日(火)				2026年 3月17日(火)～3月24日(火)		
	【必要書類の提出】 【入学手続情報登録】	2026年 2月24日(火)～3月10日(火)				2026年 3月17日(火)～3月24日(火)		
経済学部	(経済・地域経済) ※ 2	●	●	●	●	●	●	
経営学部	経営学科	●	●	●	—	●	●	
	経営情報学科	●	—	●	—	●	—	
法学部	(法律・政治) ※ 2	●	●	●	—	●	●	
人文学部	日本文化学科	●	●	●	●	●	—	
	英米文化学科	●	●	●	●	●	—	
工学部	社会環境 工学科	社会環境 コース	●	—	●	—	●	—
		環境情報 コース	●	—	●	—	●	—
	建築学科	●	—	●	—	●	—	
	電子情報工学科	●	—	●	—	●	—	
	生命工学科	●	—	●	—	●	—	

- ※ 1 大学窓口締切時間は、平日は午後4時、土曜日は正午までとなります。また、出願期間内の日曜・祝日ならびに1月5日(月)から1月6日(火)までは大学窓口受付は行いません。
- ※ 2 経済学部・法学部は全て「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。
- ※ 3 2月9日(月)に工学部を受験する場合、大学入学共通テスト併用型のため、令和8年度大学入学共通テストを受験してください。
- ※ 4 令和8年度大学入学共通テストを受験してください。本学での個別学力試験は課しません。

		総合型選抜		学校推薦型選抜 (公募制)	学校推薦型選抜 (指定校制)		特別選抜 (課題小論文)
		1部 (昼間部)	2部 (夜間部)	1部 (昼間部)	1部 (昼間部)	2部 (夜間部)	2部 (夜間部)
掲載ページ		39～48 頁		49～69 頁	49～69 頁		70～72 頁
出願期間 ※ 1		2025年 9月24日(水) ～9月30日(火) 【消印有効】 ～10月1日(水) 午後4時 【大学窓口締切】		2025年 11月1日(土) ～11月10日(月) 【消印有効】 ～11月11日(火) 午後4時 【大学窓口締切】	2025年 11月1日(土) ～11月10日(月) 【消印有効】 ～11月11日(火) 午後4時 【大学窓口締切】		2025年 11月1日(土) ～11月10日(月) 【消印有効】 ～11月11日(火) 午後4時 【大学窓口締切】
試験日		【1次選考】※書類審査のため来学不要 【2次選考】2025年10月26日(日)		2025年 11月23日(日)	2025年 11月23日(日)		2025年 11月23日(日)
合格発表日		【1次選考】2025年10月17日(金) 【2次選考】2025年11月7日(金)		2025年 12月5日(金)	2025年 12月5日(金)		2025年 12月5日(金)
入学 手続 期間	【入学金の納入】	2025年 11月7日(金)～11月21日(金)		2025年 12月5日(金)～12月19日(金)		2025年 12月5日(金)～12月19日(金)	
	【授業料等の納入】 または 【高等教育の修学支援 新制度の法学への申請】	2025年 11月7日(金)～11月21日(金)		2025年 12月5日(金)～12月19日(金)		2025年 12月5日(金)～12月19日(金)	
	【必要書類の提出】 【入学手続情報登録】	2026年 2月24日(火)～3月10日(火)		2026年 2月24日(火)～3月10日(火)		2026年 2月24日(火)～3月10日(火)	
経済学部	(経済・地域経済) ※ 2	●	●	—	●	●	—
経営学部	経営学科	—	—	—	●	●	—
	経営情報学科	—	—	—	●	—	—
法学部	(法律・政治) ※ 2	—	—	—	●	●	●
人文学部	日本文化学科	●	●	—	●	●	—
	英米文化学科	●	●	—	●	●	—
工学部	社会環境 工学科	社会環境 コース	●	—	●	●	—
		環境情報 コース	●	—	●	●	—
	建築学科	●	—	●	●	—	—
	電子情報工学科	●	—	●	●	—	—
	生命工学科	●	—	●	●	—	—

※ 1 大学窓口締切時間は、平日は午後4時、土曜日は正午までとなります。また、出願期間内の日曜・祝日ならびに1月5日(月)から1月6日(火)までは大学窓口受付は行いません。

※ 2 経済学部・法学部は全て「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

	特別選抜 (社会人Ⅰ期)		特別選抜 (社会人Ⅱ期)		特別選抜 (海外帰国生徒)	特別選抜 (外国人留学生)	学校推薦型選抜 (併設校)	
	1部 (昼間部)	2部 (夜間部)	1部 (昼間部)	2部 (夜間部)	1部 (昼間部)	1部 (昼間部)	1部 (昼間部)	2部 (夜間部)
掲載ページ	73～77 頁		73～77 頁		78～80 頁	81～83 頁	84～88 頁	
出願期間 ※ 1	2025年 11月1日(土) ～11月10日(月) 【消印有効】 ～11月11日(火) 午後4時 【大学窓口締切】		2026年 2月12日(木) ～2月19日(木) 【消印有効】 ～2月20日(金) 午後4時 【大学窓口締切】		2025年 11月1日(土) ～11月10日(月) 【消印有効】 ～11月11日(火) 午後4時 【大学窓口締切】	2025年 11月1日(土) ～11月10日(月) 【消印有効】 ～11月11日(火) 午後4時 【大学窓口締切】	2025年 11月1日(土) ～11月10日(月) 【消印有効】 ～11月11日(火) 午後4時 【大学窓口締切】	
試験日	2025年 11月23日(日)		2026年 2月28日(土)		2025年 11月23日(日)	2025年 11月23日(日) ※3	2025年 11月23日(日) ※4	
合格発表日	2025年 12月5日(金)		2026年 3月13日(金)		2025年 12月5日(金)	2026年 1月20日(火)	2025年 12月5日(金)	
入学 手続 期間	【入学金の納入】 2025年 12月5日(金) ～12月19日(金)		2026年 3月13日(金) ～3月24日(火)		2025年 12月5日(金) ～12月19日(金)	2026年 1月20日(火) ～2月3日(火)	2025年 12月5日(金) ～12月19日(金)	
	【授業料等の納入】 または 【高等教育の修学支援 新制度の本学への申請】 2025年 12月5日(金) ～12月19日(金)		2026年 3月13日(金) ～3月24日(火)		2025年 12月5日(金) ～12月19日(金)	2026年 1月20日(火) ～2月3日(火)	2025年 12月5日(金) ～12月19日(金)	
	【必要書類の提出】 【入学手続情報登録】 2026年 2月24日(火) ～3月10日(火)		2026年 3月13日(金) ～3月24日(火)		2026年 2月24日(火) ～3月10日(火)	2026年 2月24日(火) ～3月10日(火)	2026年 2月24日(火) ～3月10日(火)	
経済学部	(経済・地域経済) ※ 2	—	●	—	●	●	●	●
経営学部	経営学科	●	●	●	●	●	●	●
	経営情報学科	●	—	●	—	●	●	—
法学部	(法律・政治) ※ 2	—	●	—	●	●	●	●
人文学部	日本文化学科	●	●	—	—	●	●	●
	英米文化学科	●	●	—	—	●	●	●
工学部	社会環境 工学科	社会環境 コース	—	—	—	—	●	—
		環境情報 コース	—	—	—	—	●	—
	建築学科	—	—	—	—	●	●	—
	電子情報工学科	—	—	—	—	●	●	—
生命工学科	—	—	—	—	●	●	—	

※ 1 大学窓口締切時間は、平日は午後4時、土曜日は正午までとなります。また、出願期間内の日曜・祝日ならびに1月5日(月)から1月6日(火)までは大学窓口受付は行いません。
 ※ 2 経済学部・法学部は全て「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。
 ※ 3 特別選抜(外国人留学生)を受験する方は、2025年度の日本留学試験も受験すること。
 ※ 4 経済学部・経営学部・法学部・人文学部を除きます。

1 募集人員

1 部 (昼間部)

学部	学科/コース	入学定員	募集人員												
			一般選抜		大学入学共通テスト利用選抜		総合型選抜	学校推薦型選抜			特別選抜				
			A日程	B日程	I期	II期		公募制	指定校制	併設校	課題小論文	社会人		海外帰国生徒・外国人留学生	
*経済学部 (経済・地域経済)		300名	75名	75名	30名	3名	18名	—	62名	37名	—	—	—	若干名	
経営学部	経営学科	160名	35名	34名	A方式25名 B方式18名	10名	—	—	普17名 商2名	19名	—	若干名	若干名	若干名	
	経営情報学科	140名	28名	27名	A方式25名 B方式18名	10名	—	—	普12名 商2名	18名	—	若干名	若干名	若干名	
	学部計	300名													
*法学部 (法律・政治)		275名	65名	65名	30名	5名	—	—	71名	39名	—	—	—	若干名	
人文学部	日本文化学科	100名	19名	19名	A方式8名 B方式8名	3名	13名	—	20名	10名	—	若干名	—	若干名	
	英米文化学科	95名	17名	17名	A方式8名 B方式8名	3名	12名	—	20名	10名	—	若干名	—	若干名	
	学部計	195名													
工学部	社会環境 工学科	社会環境コース	60名	5名	5名	6名	2名	3名	2名	7名	7名	—	—	—	若干名
		環境情報コース		3名	4名	4名	2名	3名	2名	5名		—	—	—	若干名
	建築学科	70名	9名	9名	10名	3名	7名	2名	23名	7名	—	—	—	若干名	
	電子情報工学科	70名	14名	14名	9名	3名	10名	2名	11名	7名	—	—	—	若干名	
	生命工学科	60名	8名	8名	10名	3名	6名	2名	16名	7名	—	—	—	若干名	
	学部計	260名													

2 部 (夜間部)

学部	学科	入学定員	募集人員											
			一般選抜		大学入学共通テスト利用選抜		総合型選抜	学校推薦型選抜			特別選抜			
			A日程	B日程	I期	II期		公募制	指定校制	併設校	課題小論文	社会人		海外帰国生徒・外国人留学生
*経済学部 (経済・地域経済)		120名	30名	30名	12名	3名	12名	—	19名	6名	—	4名	4名	—
学部	経営	100名	25名	25名	—	12名	—	—	普16名 商5名	6名	—	5名	6名	—
*法学部 (法律・政治)		175名	35名	35名	—	15名	—	—	41名	9名	30名	5名	5名	—
人文学部	日本文化学科	40名	6名	6名	6名	—	10名	—	5名	3名	—	4名	—	—
	英米文化学科	30名	4名	4名	6名	—	6名	—	5名	3名	—	2名	—	—
	学部計	70名												

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

○ 経営学部1・2部学校推薦型選抜(指定校制)の「普」は普通科系・「商」は商業科系のそれぞれの人数

◎**転部について**

入学後、在学中に1部から2部または2部から1部へ所属を移るといった転部制度があります。
学部により転部できる学年や要件が異なりますので、詳細につきましては、各学部事務室までお問合せください。

2 入学検定料の支払い・出願上の注意について

(1) 入学検定料の支払い方法について

以下の3通りとなります。

①**コンビニエンスストアでの支払い**

⇒払込可能なコンビニエンスストアは「ローソン」「ファミリーマート」「デイリーヤマザキ」「セイコーマート」「セブンイレブン」となります。

②**金融機関 ATM (ペイジー) による支払い**

⇒Pay-easy 対応 ATM をご利用ください。

③**クレジットカードによる支払い**

⇒利用可能なクレジットカードは「VISA」「Master」「JCB」「American Express」「Diners」となります。

※支払いに関する操作手順や注意事項につきましては、「出願から入学手続までの流れ」(6~9頁)をご参照ください。

(2) 入学検定料・出願上の注意について

I. 一般選抜

◎**入学検定料 1 出願あたり / 30,000 円**

※検定料の他に別途、支払手数料がかかります。

◎**検定料の割引制度**

一般選抜において、以下の3つの割引制度があります。

※ **WEB 出願時、同時に出願した場合のみ、割引が適用されます。**

1 併願割引

1 出願目は 30,000 円。2 出願目以降から併願割引が適用され、1 出願につき半額の 15,000 円になります。

※同一日程での出願が対象です。

2 1・2部割引

同一学科(経済学部と法学部は同一学部)の1・2部を出願した場合、1学科につき 10,000 円を割引します。

※同一日程での出願が対象です。

※2部経営学科は、1部経営学科または1部経営情報学科と併願することで割引が適用されます。

3 A・B 日程割引

A・B 日程の両方に出願した場合、検定料の合計から 10,000 円を割引します。同一学部でなくても割引が適用されます。

上記の割引制度を利用した出願の例

		A 日程				B 日程		
文系 併願例		1部 経済学部	2部 経済学部	1部 人文学部 日本文化学科	2部 人文学部 日本文化学科	1部 経営学部 経営学科	1部 経営学部 経営情報学科	2部 経営学部 経営学科
		30,000 円	30,000 円	30,000 円	30,000 円	30,000 円	30,000 円	30,000 円
			半額	半額	半額		半額	半額
1 併願割引		30,000 円	15,000 円	15,000 円	15,000 円	30,000 円	15,000 円	15,000 円
			10,000 円割引			10,000 円割引		
2 1・2部割引		30,000 円	5,000 円	15,000 円	5,000 円	30,000 円	15,000 円	5,000 円
		合計金額から 10,000 円割引						
3 A・B 日程割引		(A 日程(30,000 円+5,000 円+15,000 円+5,000 円))				(B 日程(30,000 円+15,000 円+5,000 円))		
		合計 105,000 円 - 10,000 円 = 入学検定料合計 95,000 円						
		A 日程				B 日程		
文理 併願例		1部 工学部 建築学科	1部 工学部 電子情報工学科			1部 法学部	2部 法学部	
		30,000 円	30,000 円			30,000 円	30,000 円	
			半額				半額	
1 併願割引		30,000 円	15,000 円			30,000 円	15,000 円	
			10,000 円割引			10,000 円割引		
2 1・2部割引		30,000 円	15,000 円			30,000 円	5,000 円	
		合計金額から 10,000 円割引						
3 A・B 日程割引		(A 日程(30,000 円+15,000 円))		(B 日程(30,000 円+5,000 円))				
		合計 80,000 円 - 10,000 円 = 入学検定料合計 70,000 円						

合計で
115,000 円の
割引

合計で
50,000 円の
割引

※上記は参考例です。実際に併願する日程、学部・学科により、適用される割引は異なります。

◎出願上の注意

- ①出願書類に不備がある場合には受け付けることができませんので、十分注意してください。
- ②入学検定料の支払いが完了していても、出願期間の消印有効日を過ぎていたり、大学窓口受付で締切日時までに持参しなかった場合には受け付けできません。
- ③一度提出した書類は返還しません。
- ④受験地、志望学部・学科／コース・試験日等の出願後の変更は一切認めません。
- ⑤出願の有無に関わらず、一度お支払いいただいた入学検定料は原則返還いたしません。

II. 大学入学共通テスト利用選抜

◎入学検定料

1方式	12,000円	5方式	60,000円	9方式	108,000円	13方式	156,000円	17方式	204,000円
2方式	24,000円	6方式	72,000円	10方式	120,000円	14方式	168,000円	18方式	216,000円
3方式	36,000円	7方式	84,000円	11方式	132,000円	15方式	180,000円		
4方式	48,000円	8方式	96,000円	12方式	144,000円	16方式	192,000円		

- ※出願する方式の数によって異なります。
 ※検定料の他に別途、支払手数料がかかります。

◎出願上の注意

- ①出願書類に不備がある場合には受け付けることができませんので、十分注意してください。
- ②入学検定料の支払いが完了していても、出願期間の消印有効日を過ぎていたり、大学窓口受付で締切日時までに持参しなかった場合には受け付けできません。
- ③一度提出した書類は返還しません。
- ④志望学部・学科／コースの出願後の変更は一切認めません。
- ⑤出願の有無に関わらず、一度お支払いいただいた入学検定料は原則返還いたしません。

III. 総合型選抜

◎入学検定料 30,000円

※検定料の他に別途、支払手数料がかかります。

◎出願上の注意

- ①本学の総合型選抜は、「専願制」です。
- ②出願書類に不備がある場合には受け付けることができませんので、十分注意してください。
- ③入学検定料の支払いが完了していても、出願期間の消印有効日を過ぎていたり、大学窓口受付で締切日時までに持参しなかった場合には受け付けできません。
- ④一度提出した書類は返還しません。
- ⑤志望学部・学科／コースの出願後の変更は一切認めません。
- ⑥出願の有無に関わらず、一度お支払いいただいた入学検定料は原則返還いたしません。

IV. 学校推薦型選抜（公募制）・（指定校制）

◎入学検定料 30,000円

※検定料の他に別途、支払手数料がかかります。

◎出願上の注意

- ①本学の学校推薦型選抜は、すべて「専願制」です。
- ②出願書類に不備がある場合には受け付けることができませんので、十分注意してください。
- ③入学検定料の支払いが完了していても、出願期間の消印有効日を過ぎていたり、大学窓口受付で締切日時までに持参しなかった場合には受け付けできません。
- ④一度提出した書類は返還しません。
- ⑤志望学部・学科／コースの出願後の変更は一切認めません。
- ⑥出願の有無に関わらず、一度お支払いいただいた入学検定料は原則返還いたしません。

V. 特別選抜（課題小論文）

◎入学検定料 30,000円

※検定料の他に別途、支払手数料がかかります。

◎出願上の注意

- ①本入学者選抜は、専願制ではありません。
- ②出願書類に不備がある場合には受け付けることができませんので、十分注意してください。
- ③入学検定料の支払いが完了していても、出願期間の消印有効日を過ぎていたり、大学窓口受付で締切日時までに持参しなかった場合には受け付けできません。
- ④一度提出した書類は返還しません。
- ⑤志望学部・選抜区分の出願後の変更は一切認めません。
- ⑥出願の有無に関わらず、一度お支払いいただいた入学検定料は原則返還いたしません。

VI. 特別選抜（社会人）

◎入学検定料 30,000円

※検定料の他に別途、支払手数料がかかります。

◎出願上の注意

- ①出願書類に不備がある場合には受け付けることができませんので、十分注意してください。
- ②入学検定料の支払いが完了していても、出願期間の消印有効日を過ぎていたり、大学窓口受付で締切日時までに持参しなかった場合には受け付けできません。
- ③一度提出した書類は返還しません。
- ④志望学部・学科・選抜区分の出願後の変更は一切認めません。
- ⑤出願の有無に関わらず、一度お支払いいただいた入学検定料は原則返還いたしません。

VII. 特別選抜（海外帰国生徒）

◎入学検定料 30,000 円

※検定料の他に別途、支払手数料がかかります。

◎出願上の注意

- ①出願書類に不備がある場合には受け付けることができませんので、十分注意してください。
- ②入学検定料の支払いが完了していても、出願期間の消印有効日を過ぎていたり、大学窓口受付で締切日時までに持参しなかった場合には受け付けできません。
- ③一度提出した書類は返還しません。
- ④志望学部・学科／コースの出願後の変更は一切認めません。
- ⑤出願の有無に関わらず、一度お支払いいただいた入学検定料は原則返還いたしません。

VIII. 特別選抜（外国人留学生）

◎入学検定料 30,000 円

※検定料の他に別途、支払手数料がかかります。

◎出願上の注意

- ①出願書類に不備がある場合には受け付けることができませんので、十分注意してください。
- ②入学検定料の支払いが完了していても、出願期間の消印有効日を過ぎていたり、大学窓口受付で締切日時までに持参しなかった場合には受け付けできません。
- ③一度提出した書類は返還しません。
- ④志望学部・学科／コースの出願後の変更は一切認めません。
- ⑤出願の有無に関わらず、一度お支払いいただいた入学検定料は原則返還いたしません。

IX. 学校推薦型選抜（併設校）

◎入学検定料 30,000 円

※検定料の他に別途、支払手数料がかかります。

◎出願上の注意

- ①本学の学校推薦型選抜は、すべて「専願制」です。
- ②出願書類に不備がある場合には受け付けることができませんので、十分注意してください。
- ③入学検定料の支払いが完了していても、締切日時までに持参しなかった場合には受け付けできません。
- ④一度提出した書類は返還しません。
- ⑤志望学部・学科／コースの出願後の変更は一切認めません。
- ⑥出願の有無に関わらず、一度お支払いいただいた入学検定料は原則返還いたしません。

3 一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜における感染症への対応について

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜における感染症への対応を以下のとおりと致します。

- 1 入学志願者が学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症に罹患した場合、その感染症が他の受験者や監督者に広がる恐れがありますので、担当医師が「感染の恐れがない」と認めない限り、入学者選抜の受験を禁止いたします。
- 2 学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症に罹患し、治癒していないために本学入学者選抜を欠席する場合、当該入学者選抜にかかる入学検定料を返還いたしますので、入学者選抜当日の正午までに入試部入試課にお問合せください。

〈問い合わせ先〉

入試部入試課 011-841-1161（代）

受付時間 平日 午前9時～午後4時（試験当日は正午まで）

《注意事項》

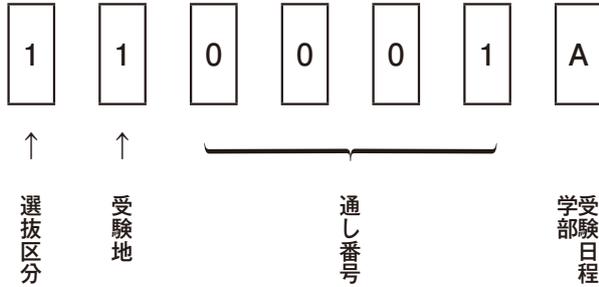
- 1 入学検定料を返還する場合は、申請書と医師の診断書が必要です。入試課の指示に従って提出してください。
 - ・入学検定料返還申請書・・・本学所定の用紙
 - ・医師の診断書・・・以下の内容が記載されたもの
 - ①病名：学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症名であること
 - ②治療期間：欠席した入学者選抜日が含まれていること
 - ③医師の自署・押印
- 2 入学者選抜当日の正午までに連絡なく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱い、入学検定料の返還は致しません。
- 3 1科目でも受験した場合は、入学検定料の返還は致しません。
- 4 追試験は行いません。

4 受験票について

- (1) 受験番号は下記の表の通り構成されています。受験票を印刷後、受験番号と出願した日程や受験地、学部・学科／コース、選抜区分等が一致しているか確認してください。
- (2) 受験票の発行は出願締切後に全ての受験生に対し一括で発行を行う予定です。
受験票が発行できるようになりましたらメールにてお知らせいたしますので、マイページから印刷し、試験当日に持参してください。

・一般選抜の受験番号構成コード

例：一般選抜で文系学部 A 日程を札幌会場にて受験の場合



○コード表

選抜区分	コード
一般	1

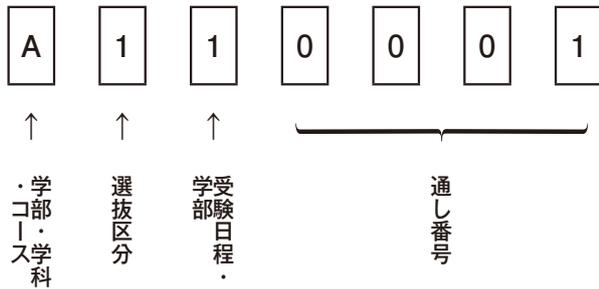
受験地	コード
札幌	1 または 2
東京	3
青森	4
旭川	5
帯広	6
函館	7

受験日程・学部	コード
A 日程 文系学部	A
B 日程 文系学部	B
A 日程 工学部	C
B 日程 工学部	D

※出願学部・学科・コースによるコードの区別はありません。

※合否発表以降については以下の通知番号にてお知らせいたします。

例：一般選抜で1部経済学部・A 日程に出願した場合



○コード表

学部・学科・コース	コード		
1 部	経済学部	A	
	経営学科	C	
	経営情報学科	D	
	法学部	E	
	日本文化学科	G	
	英米文化学科	H	
	社会環境	社会環境コース	J
	工 学 科		環境情報コース
	建築学科	K	
	電子情報工学科	L	
	生命工学科	Z	
	2 部	経済学部	N
経営学科		R	
法学部		T	
日本文化学科		X	
英米文化学科		Y	

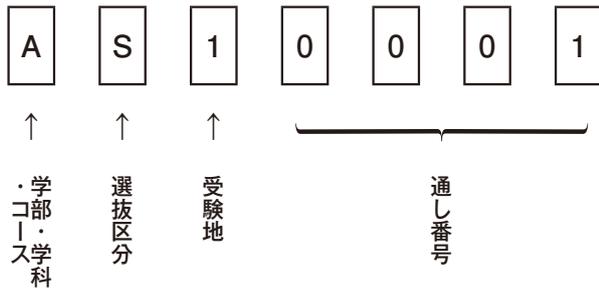
選抜区分	コード
一般	1

受験日程・学部	コード
A 日程(文系学部・工学部)	1
B 日程(文系学部・工学部)	2

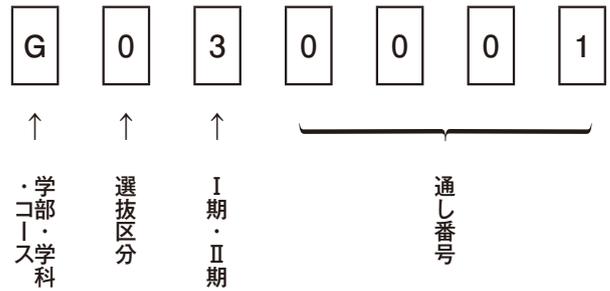
・総合型選抜、学校推薦型選抜、大学入学共通テスト利用選抜、特別選抜の受験番号構成コード

※上記選抜については、合否発表以降に使用する通知番号も同じ番号構成になっています。

例1：総合型選抜で1部経済学部を受験の場合



例2：大学入学共通テスト利用選抜（I期）で
1部日本文化学科B方式を受験の場合



○コード表

学部・学科・コース	コード	
1部	経済学部	A
	経営学科	C
	経営情報学科	D
	法学部	E
	日本文化学科	G
	英米文化学科	H
	社会環境 工学科	J
	社会環境コース	
	環境情報コース	M
	建築学科	K
	電子情報工学科	L
	生命工学科	Z
	2部	経済学部
経営学科		R
法学部		T
日本文化学科		X
英米文化学科		Y

選抜区分	コード
大学入学共通テスト利用 (I期・II期)	0
併設校(北海)	2
併設校(北海学園札幌)	3
指定校制	4
公募制	5
社会人(I期・II期)	6
海外帰国生徒	7
外国人留学生	8
課題小論文	9
総合型	S

受験地	コード
札幌	1または2

大学入学共通テスト 利用選抜	コード
I期(A方式)	1
II期	2
I期(B方式)	3

5 障害等のある方の受験・入学について

相談窓口	
入試部入試課	011-841-1161 入試課フリーダイヤル 0120-86-2244

事前相談や配慮申請方法
<p>病気・負傷や障害等のために、受験時や入学後に配慮を希望する方は、必ず、出願に先立ち、各試験日1か月前を目安に入試課までご相談ください。このような状態以外(例：ジェンダーに関する配慮等)についても、同様にご相談ください。配慮を希望するにあたっては、診断書などの提出が必要になり、場合によっては面談を行います。</p> <p>なお、希望する内容によっては配慮を行えないものや、会場により異なる対応になることがあります。</p> <p>ご相談内容や提出された書類は、入試課と当該学部事務室などの関連部署間で共有し、受験上の配慮や入学後の配慮のために活用いたします。</p> <p>参考までに、過去の配慮事例には次のようなものがあります。ただし、受験者の状況・相談内容等により、配慮方法は異なります。</p>

受験上の配慮の一般的な例	
車いす使用での受験可能座席の確保	時間延長
試験中の投棄	付き添い者の控室
別室受験または個室受験	特製専用機の持込
試験室内での希望座席	自家用車での入構
補聴器の使用	指定マイクの使用
試験中の水分補給	休憩時の介助者入室
試験時口頭説明内容の文書配布	試験室内への医療器具の持込
拡大機の持込、問題・解答用紙の拡大	多目的トイレの使用

6 個人情報の取扱いについて

北海学園大学は、提出された個人情報について、『北海学園大学「個人情報の保護に関する規程」』（https://www.hgu.jp/about/pdf/regulations_university.pdf）に基づいて以下のように適切に取り扱います。

1. 出願に際し提出された氏名、住所、その他の個人情報を、入学者選抜試験の実施（出願処理、試験実施）、入学手続およびこれに付随する業務（合格発表、各種資料の発送）を行うために使用します。
2. 入学者選抜試験の成績を合否判定に使用します。
3. 合否判定に必要な業務の一部を業者（以下、「受託業者」という）に委託することがあります。この場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限定して、知り得た個人情報（入学者選抜試験における成績など）を提供することがあります。
4. 出身高校へ「合否」「得点結果」を提供します（承諾者のみ）。
※学校推薦型選抜の場合は、承諾の有無に関わらず出身高校へ情報提供されます。
 - (1) 趣旨
得点結果等は、高等学校における進路指導上の参考資料とされています。受験生の意思を本意とし、これらを出身高校に提供することで高等学校の要望に応えることを趣旨とします。
 - (2) 実施方法
大学から下記の事項①②に記載した個人情報を出身高校に提供することを承諾しない場合は、WEB出願に際し個人情報入力画面内の「出身高校への情報提供について」の箇所において、「情報提供を承諾しない」と書かれている左側のチェックボックスをクリックし、「✓」が入力された状態にしてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定・外国の学校等の出身の場合は提供を行わないので、入力は不要です。
なお、このことは合否判定に何ら影響を及ぼすものではありません。
 - ①高等学校に送付される名簿は入学者選抜区分によって異なります。

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・総合型選抜・特別選抜（課題小論文）・特別選抜（社会人）
--

 - ・高等学校別の「合格者名簿」に受験番号と氏名が表示されます（得点・不合格者名は表示されません）。提供する時期は、合格発表日以降になります。

学校推薦型選抜（公募制）・（指定校制）・（併設校）

 - ・高等学校別の「判定結果一覧」に受験番号と氏名が表示されます（不合格者名も表示されます）。提供する時期は、合格発表日以降になります。 - ②高等学校別の「入学者選抜成績表」に、受験番号、名前、性別、卒年、段階評定、出願学科入学者選抜状況（合否または手続状況）、入学者選抜成績状況（得点・順位）が表示されます。提供する時期は、2026年5月以降を予定しています。
5. 北海学園大学は、各志願者の氏名および住所を、必要に応じ本学関係諸機関（北海学園生活協同組合—合格者と入学者、北海学園大学同窓会—入学者のみ）に対し提供します。
6. 北海学園大学は、収集した個人情報（入学者選抜試験における成績を含む）を、入学者選抜試験および大学教育改善のための調査・研究の資料として利用することがあります。
7. 北海学園大学は、入学者選抜試験を通じて得た入学者の成績を教学上の目的で利用することがあります。
8. 北海学園大学は、上記1.～7. および『北海学園大学「個人情報の保護に関する規程」』に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく当該志願者の個人情報を他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

7 入学金・授業料等の学費納入金

初年度の学費および納入金

(円)

学部等・納入時期			納入金					自治会費		同窓会費		初年度 納入金 合計
			入学金	授業料	教育 充実費	実験 実習費	大学 諸費	入会金	年会費	入会金	会費	
1部 (昼間部)	経済学部 経営学部 法学部 人文学部	第1期 入学時	220,000	436,000	70,000	—	10,000	2,000	5,000	5,000	10,000	758,000
		第2期 9月30日	—	436,000	70,000	—	—	—	—	—	—	506,000
		計	220,000	872,000	140,000	—	10,000	2,000	5,000	5,000	10,000	1,264,000
	工学部	第1期 入学時	220,000	570,000	70,000	40,000	10,000	2,000	5,000	5,000	10,000	932,000
		第2期 9月30日	—	570,000	70,000	40,000	—	—	—	—	—	680,000
		計	220,000	1,140,000	140,000	80,000	10,000	2,000	5,000	5,000	10,000	1,612,000
2部 (夜間部)	経済学部 経営学部 法学部 人文学部	第1期 入学時	110,000	218,000	35,000	—	4,000	1,000	3,000	5,000	10,000	386,000
		第2期 9月30日	—	218,000	35,000	—	—	—	—	—	—	253,000
		計	110,000	436,000	70,000	—	4,000	1,000	3,000	5,000	10,000	639,000

※授業料、教育充実費および実験実習費は、2期分納とする。

2年次以降の学費および納入金

(円)

学部等・納入時期			納入金					自治会費		同窓会費		納入金 合計
			入学金	授業料	教育 充実費	実験 実習費	大学 諸費	入会金	年会費	入会金	会費	
1部 (昼間部)	経済学部 経営学部 法学部 人文学部	第1期 4月20日	—	460,000	80,000	—	10,000	—	5,000	—	—	555,000
		第2期 9月30日	—	460,000	80,000	—	—	—	—	—	—	540,000
		計	—	920,000	160,000	—	10,000	—	5,000	—	—	1,095,000
	工学部	第1期 4月20日	—	570,000	80,000	40,000	10,000	—	3,000	—	—	703,000
		第2期 9月30日	—	570,000	80,000	40,000	—	—	—	—	—	690,000
		計	—	1,140,000	160,000	80,000	10,000	—	3,000	—	—	1,393,000
2部 (夜間部)	経済学部 経営学部 法学部 人文学部	第1期 4月20日	—	230,000	40,000	—	4,000	—	3,000	—	—	277,000
		第2期 9月30日	—	230,000	40,000	—	—	—	—	—	—	270,000
		計	—	460,000	80,000	—	4,000	—	3,000	—	—	547,000

※授業料、教育充実費および実験実習費は、2期分納とする。

8 高等教育の修学支援新制度

意欲ある学生の学びを支援することを目的として2020年度より開始した国の制度です。
世帯収入に応じて日本学生支援機構の給付奨学金の支給と併せて授業料等の減免を受けることができます。
詳細は本学ホームページ（高等教育の修学支援制度）でご確認ください。

Ⅱ. 一般選抜要項

1 募集人員および日程

部	学部・学科／コース		募集人員		出願期間	試験日		合格発表	入学手続期間	
			A 日程	B 日程		A 日程	B 日程			
1部 (昼間部)	経済学部 (経済学科・地域経済学科) ※1		75	75	2026年 1月5日 (月)～ 郵送受付 1月26日 (月) 消印有効 大学窓口 受付 1月27日 (火) 午後4時 締切 ※2	2026年 2月9日 (月)	2026年 2月10日 (火)	2026年 2月24日 (火)	28～29頁 「 11 入学手続」を 参照してください。	
	経営学部	経営学科	35	34						
		経営情報学科	28	27						
	法学部 (法律学科・政治学科) ※1		65	65						
	人文学部	日本文化学科	19	19						
		英米文化学科	17	17						
	工学部	社会環境 工学科	社会環境コース	5						5
			環境情報コース	3						4
		建築学科		9						9
		電子情報工学科		14						14
生命工学科		8	8							
2部 (夜間部)	経済学部 (経済学科・地域経済学科) ※1		30	30						
	経営学部	経営学科	25	25						
	法学部 (法律学科・政治学科) ※1		35	35						
	人文学部	日本文化学科	6	6						
		英米文化学科	4	4						

* A・B日程の両方で同じ学部学科に出願が可能です。

※1 経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

※2 大学窓口締切時間は平日は午後4時、土曜日は正午までとなります。また、出願期間内の日曜・祝日ならびに1月5日(月)から1月6日(火)までは大学窓口受付は行いません。

2 出願資格

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定に合格した者を含む)および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

3 選抜科目・時間・配点・試験時間割・併願可能学科（学部）一覧

文系学部 A・B 日程 共通

部	学部	学科	教科	科目	時間	配点	合計点
1	*経済学部 (経済・地域経済)		外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	150点	350点
			国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	100点	
			選択*1	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]の5科目から1科目を試験時選択	60分	100点	
	経営学部	経営学科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	150点	350点
			国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	100点	
			選択*1	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]の5科目から1科目を試験時選択	60分	100点	
	経営情報学科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	350点	
		国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	100点		
		選択*1	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]の5科目から1科目を試験時選択	60分	150点		
	*法学部 (法律・政治)		外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	300点
			国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	100点	
			選択*1	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]の5科目から1科目を試験時選択	60分	100点	
人文学部	日本文化学科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	350点	
		国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	150点		
		選択*1	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]の5科目から1科目を試験時選択	60分	100点		
	英米文化学科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	150点	350点	
		国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	100点		
		選択*1	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]の5科目から1科目を試験時選択	60分	100点		

部	学部	学科	教科	科目	時間	配点	合計点
2	*経済学部 (経済・地域経済)		国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	100点	200点
			選択*1※2	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]、英語[英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ]の6科目から1科目を試験時選択	60分	100点	
	経営学部	経営学科	国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	100点	200点
			選択*1※2	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]、英語[英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ]の6科目から1科目を試験時選択	60分	100点	
	*法学部 (法律・政治)		国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	100点	200点
			選択*1※2	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]、英語[英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ]の6科目から1科目を試験時選択	60分	100点	
	人文学部	日本文化学科	国語	現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語	60分	100点	200点
			選択*1※2	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]、英語[英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ]の6科目から1科目を試験時選択	60分	100点	
英米文化学科		外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	200点	
		選択*1※2	日本史[歴史総合、日本史探究]、世界史[歴史総合、世界史探究]、地理[地理総合、地理探究]、政治・経済、数学[「数学Ⅰ、数学A」は必須、「数学Ⅰ、数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答]、国語[現代の国語(実用的な文章を除く)、言語文化(古文、漢文を除く)、論理国語]の6科目から1科目を試験時選択	60分	100点		

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集とし、学科は1年次末に決定します。

※1：文系A・B日程の数学Aは「場合の数と確率」、数学Bは「数列」および「統計的な推測」、数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

また、論理的な思考力・判断力などを評価するため、計算過程・導出過程も記述する解答方式の問題を出題します。

※2：選択科目を2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。

◎文系学部A・B日程における「国語」および「選択(国語)」、「外国語」および「選択(英語)」の解答はマークシート方式です。

◎科目間の問題難易度の差による有利・不利をなくすため、工学部A日程で併用する大学入学共通テストの結果を除き、全学部の全ての科目(選択科目以外の科目も含む)で、満点の半分の点数を基準点として中央値補正法を用いた得点調整を行います。

$$(1) \text{素点が中央値未満の時} \quad \text{調整後の得点} = \frac{\text{基準点}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$

$$(2) \text{素点が中央値以上の時} \quad \text{調整後の得点} = \frac{\text{満点} - \text{基準点}}{\text{満点} - \text{中央値}} \times (\text{素点} - \text{中央値}) + \text{基準点}$$

工学部 A 日程 (大学入学共通テスト併用)

学部	学科/コース	入試種別	教科	科目	時間	配点	合計点		
工学部	社会環境工学科	社会環境コース	本学試験	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	300点	
			工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	100点			
			大学入学共通テスト	選択 ^{*2*} 3	理科 [『物理』『化学』『生物』『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』]、国語 (『近代以降の文章』に限定) より1科目選択	—	100点		
		環境情報コース	本学試験	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点		300点
			工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	100点			
			大学入学共通テスト	選択 ^{*2*} 3	理科 [『物理』『化学』『生物』『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』]、国語 (『近代以降の文章』に限定) より1科目選択	—	100点		
	建築学科	本学試験	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	300点		
		工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	100点				
		大学入学共通テスト	選択 ^{*2*} 3	理科 [『物理』]、国語 (『近代以降の文章』に限定) より1科目選択	—	100点			
	電子情報工学科	本学試験	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点		350点	
		工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	150点				
		大学入学共通テスト	理科	『物理』	—	100点			
生命工学科	本学試験	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	300点			
	工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	100点					
	大学入学共通テスト	理科 ^{*2}	理科 [『物理』『化学』『生物』『地学』『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』] より1科目選択	—	100点				

工学部 B 日程

学部	学科/コース	教科	科目	時間	配点	合計点		
工学部	社会環境工学科	社会環境コース	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	300点	
			工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	100点		
			選択 ^{*4}	理科 [「生物基礎」「化学基礎」「物理基礎」「生物 (生物基礎を含む)」「化学 (化学基礎を含む)」「物理 (物理基礎を含む)』より各1問 (計6問) を出題するので、そのうち2問を選択解答]、国語 [『現代の国語 (実用的な文章を除く)、言語文化 (古文、漢文を除く)、論理国語』] より1つを出願時選択	60分	100点		
		環境情報コース	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点		300点
			工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	100点		
			選択 ^{*4}	理科 [「生物基礎」「化学基礎」「物理基礎」「生物 (生物基礎を含む)」「化学 (化学基礎を含む)」「物理 (物理基礎を含む)』より各1問 (計6問) を出題するので、そのうち2問を選択解答]、国語 [『現代の国語 (実用的な文章を除く)、言語文化 (古文、漢文を除く)、論理国語』] より1つを出願時選択	60分	100点		
	建築学科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	300点		
		工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	100点			
		選択 ^{*4}	物理 [「物理基礎、物理」、国語 [『現代の国語 (実用的な文章を除く)、言語文化 (古文、漢文を除く)、論理国語』] より1つを出願時選択	60分	100点			
	電子情報工学科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点		350点	
		工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	150点			
		物理	物理基礎、物理	60分	100点			
生命工学科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	60分	100点	300点			
	工学部数学 ^{*1}	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」は必須、「数学A」「数学B」「数学C」「数学Ⅲ」の中から1題選択解答	60分	100点				
	理科	「生物基礎」「化学基礎」「物理基礎」「生物 (生物基礎を含む)」「化学 (化学基礎を含む)」「物理 (物理基礎を含む)』より各1問 (計6問) を出題するので、そのうち2問を選択解答	60分	100点				

※1：工学部A・B日程の数学Aは「場合の数と確率」、数学Bは「数列」および「統計的な推測」、数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

また、論理的な思考力・判断力などを評価するため、計算過程・導出過程も記述する解答方式の問題を出題します。

※2：選択科目を2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用します。

※3：工学部A日程の「国語」は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算します。

※4：工学部B日程における選択科目は「出願時選択」となります。試験当日、選択科目を選ぶことはできません。

また、出願時からの科目変更もできません。

なお、出願時に選択していない科目を受験した場合、その科目は採点されません。

◎工学部A日程における「外国語」、工学部B日程における「外国語」および「選択 (国語)」の解答はマークシート方式です。

◎工学部A日程は大学入学共通テスト併用型のため、共通テストで必要な選択科目を受験する必要があります。

◎科目間の問題難易度の差による有利・不利をなくすため、工学部A日程で併用する大学入学共通テストの結果を除き、全学部の全ての科目 (選択科目以外の科目も含む) で、満点の半分の点数を基準点として中央値補正法を用いた得点調整を行います。

$$(1) \text{素点が中央値未満の時} \quad \text{調整後の得点} = \frac{\text{基準点}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$

$$(2) \text{素点が中央値以上の時} \quad \text{調整後の得点} = \frac{\text{満点} - \text{基準点}}{\text{満点} - \text{中央値}} \times (\text{素点} - \text{中央値}) + \text{基準点}$$

試験時間割

2026年2月9日(月)			A日程	
			経済・経営・法・人文学部(1部・2部)	工学部(大学入学共通テスト併用)
試験時間	1時限目	10:00-11:00	国語・選択国語	-
	2時限目	11:50-12:50	選択	工学部数学
	3時限目	14:10-15:10	外国語・選択英語	外国語

2026年2月10日(火)			B日程	
			経済・経営・法・人文学部(1部・2部)	工学部
試験時間	1時限目	10:00-11:00	選択	工学部数学
	2時限目	11:50-12:50	国語・選択国語	選択(国語・物理・理科)
	3時限目	14:10-15:10	外国語・選択英語	外国語

※A・B日程の両方で同じ学部学科に出願が可能です。
 ※「文系学部」「工学部」間で同日併願はできません。
 ※文系学部の1部と2部を併願する場合は「科目数」と「選択科目」に注意してください。

併願可能学科(学部)一覧

文系A・B日程		併願可能学科(学部)										
		1部					2部					
学科(学部)		経済	経営	経営情報	法	日本文化	英米文化	経済	経営	法	日本文化	英米文化
1部	経済	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	経営	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	経営情報	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	法	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	日本文化	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	英米文化	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
2部	経済	▲	▲	▲	▲	▲	▽	/	○	○	○	■
	経営	▲	▲	▲	▲	▲	▽	○	/	○	○	■
	法	▲	▲	▲	▲	▲	▽	○	○	/	○	■
	日本文化	▲	▲	▲	▲	▲	▽	○	○	○	/	■
	英米文化	▲	▲	▲	▲	▲	▲	☆	☆	☆	☆	/

○科目や科目数に制限なく併願が可能です。
 ▲2科目受験である2部に対し、1部は3科目受験になるため、1部を併願する場合は3科目の受験が必要です。
 ▽“1部英米文化学科”を併願する場合は、3科目を受験の上、選択科目で“英語”を選択する必要があります。
 ■“2部英米文化学科”を併願する場合は、選択科目で“英語”を選択する必要があります。
 ☆“2部経済学部・経営学科・法学部・日本文化学科”を併願する場合は、選択科目で“国語”を選択する必要があります。

併願可能学科・コース一覧

工学部 A日程		併願可能学科・コース				
学科・コース		社会環境	環境情報	建築	電子情報工	生命工
社会環境工	社会環境	/	○	▲	▽	■
	環境情報	○	/	▲	▽	■
建築		▲	▲	/	▽	▽
電子情報工		▽	▽	▽	/	▽
生命工		■	■	▽	▽	/

工学部 B日程		併願可能学科・コース				
学科・コース		社会環境	環境情報	建築	電子情報工	生命工
社会環境工	社会環境	/	○	▲	×	■
	環境情報	○	/	▲	×	■
建築		▲	▲	/	▽	×
電子情報工		×	×	▽	/	×
生命工		■	■	×	×	/

○併願可
 ▲選択科目で『国語』または『物理』を受験する場合、併願可
 ▽選択科目で『物理』を受験する場合、併願可
 ■選択科目で『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』を受験する場合、併願可

○併願可
 ▲選択科目で『国語』を受験する場合、併願可
 ▽選択科目で『物理』を受験する場合、併願可
 ■選択科目で『理科』を受験する場合、併願可
 ×併願不可

4 出願手続

- (1) **出願期間（全学部）**
2026年1月5日（月）～〔郵送受付〕1月26日（月）消印有効・〔大学窓口受付〕1月27日（火）午後4時締切
※日曜・祝日ならびに1月5日（月）から1月6日（火）までは大学窓口受付は行いません。
※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着とします。
- (2) **出願方法**
出願書類は市販の角2型封筒を用意し、志願票（願書）その他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、「速達簡易書留」で郵送してください。
※WEB出願手続きの詳細については、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。
- (3) **出願書類送付先**
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 北海学園大学 入試部入試課
- (4) **出願書類**
 - ① **志願票（願書）**
WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。
 - ② **成績請求チケット（私立大学用）※工学部 A 日程出願者のみ**
「チケット方式」での出願となります。共通テスト出願サイトのマイページから「成績請求チケット（私立大学用）」を発行し、印刷してください。印刷後、チケットを切り取り、志願票の指定された枠内に貼付してください。
 - ③ **調査書（最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、発行日が2025年10月1日以降のもの。既に出願時に卒業・修了している場合は発行日は問いませんが、卒業後・修了後のものを提出してください。）**
出身学校長が作成し厳封したものに限り、本人が出身学校より取り寄せてください。（調査書が発行されない場合や氏名に変更がある場合は、75頁の注意事項を参照してください）
高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）に合格した者は、合格成績証明書（合格証明書は不可）、合格見込みの者は、合格見込成績証明書を提出してください。
※大学入学共通テスト利用選抜にも出願する場合、別途、調査書を用意する必要がありますので、ご注意ください。
- (5) **入学検定料の支払い、出願上の注意について**
14～16頁を参照して手続きを行ってください。
- (6) **受験票について**
受験票の発行は出願締切後に全ての受験生に対し一括で発行を行う予定です。
受験票が発行できるようになりましたらメールにてお知らせいたしますので、マイページから印刷し、試験当日に持参してください。
受験番号の構成については17頁の「4 受験票について」を参照してください。
- (7) **「学内併願」について**
「学内併願」とは、同一の志願者が、本学において複数出願することをいいます。
学内併願をして複数合格した場合は、希望する学部または学科・コースに間違いなく手続するようにしてください。（「11 入学手続」を参照）
- (8) **学内併願における志望順位の登録について**
一般選抜のA・B両日程をとおして、2つ以上出願する場合、WEB出願システムで出願手続を行う際に志望順位の登録をお願いしています。なお、この登録結果が合否や入学手続に影響することはありません。
- (9) **出願状況について**
出願状況等については、出願期間締切日の概ね5日前から大学のホームページでお知らせする予定です。

5 受験上の注意

(1) 試験について

- ①試験日当日、受験票を忘れた方はただちに入試課（地方会場は、試験本部）で再発行手続をしてください。
- ②試験場の開門は、午前8時30分です。午前9時45分までに指定の席に着席し、受験票を机上に提示してください。
- ③2部の受験において、試験を2時限目（午前11時50分）から受験する場合は、午前11時35分までに着席してください。
- ④試験開始後20分を過ぎた場合は、その時間の科目は受験できません。
- ⑤試験会場内は禁煙です。
- ⑥試験中に使用を認めるものは以下のとおりです。
HBの黒鉛筆・シャープペンシル〔「国語」および「選択（国語）」、「外国語」および「選択（英語）」の試験時間は使用不可〕、シャープペンシル替え芯、プラスチック製の消しゴム、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可）、鉛筆削り（電動式は認めない）、メガネ、ティッシュペーパー（予め袋等から中身を取り出しておくこと）。
*無地の座布団・ひざ掛けについては、試験開始前に監督者に申し出のうえ、許可を得て使用できます。目薬については、使用するときに監督者に申し出のうえ使用できます。（監督者による確認の結果、使用できない場合があります）
*試験時間中に、次のものを使用してはいけません：下敷き、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類。
*帽子やサングラス等の監督者による本人確認の妨げとなるもの、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。
*試験室は換気を行いますので、なるべく温度調節の可能な服装を心掛けてください。
- ⑦携帯電話およびこれに類するものは、試験中は電源を切り、カバンの中にしめてください。
- ⑧「国語」および「選択（国語）」、「外国語」および「選択（英語）」の試験はマークシートでの解答になります。解答には、必ずHBの黒鉛筆、プラスチック製の消しゴムを使用してください。HBの黒鉛筆以外のもの、シャープペンシルを使用して解答した場合には、解答が読み取れない事例がありますので、使用しないでください。
- ⑨試験場からの退場については、試験監督者の指示に従ってください。受験票は必ず持ち帰り保管してください。
- ⑩上履きは不要です。

(2) 不正行為

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当日の入学試験を含め当該年度における本学の全入学者選抜（大学入学共通テスト利用選抜含む）、全ての教科・科目の成績を無効とします。

なお、検定料は返還しません。

*不正行為を行った場合、警察に被害届を提出する場合があります。

- ①出願書類（志願票含む）の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等（志願票に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
- ②カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④配付された問題冊子などを、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦試験時間中に、下敷き、定規、コンパス、電動式鉛筆削り、電卓、そろばん、翻訳機能等の記憶機能つきの用品、およびこれに類するものを使用すること。
- ⑧試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。また、イヤホンを使用すること。
- ⑨「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ⑩試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ⑪試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑫試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑬その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(3) 本学（豊平校舎）試験場の受験生へ

- ①各試験日前日の午後3時40分から本学（豊平校舎）の試験場となる校舎の位置確認はできますが、**校舎内の下見はできません**。
- ②会場は、受験番号によって分かれますので、学生正面玄関で受験をする教室を確認してください。
- ③昼食は、できるだけ持参してください。
- ④試験場およびその周辺での駐車を禁止します。校舎内への受験生以外の者の立ち入りはできません。
また、雪害等による交通トラブル等を考慮して、時間に余裕をもって集合してください。
- ⑤公共交通機関の遅延・運休により、試験開始時刻に間に合わない場合は、遅延・運休に関する証明書を必ずお受取りください。その後、本学入試課まで連絡の上、試験場に到着した際に、必ず受付に申し出てください。

(4) 地方試験場の受験生へ

- ①**地方試験場には、直接お問い合わせはできません**ので、本学入試課にお問い合わせください。
- ②会場案内は、試験日当日の午前8時30分に掲示します。試験日前日の下見はできませんので注意してください。
- ③地方試験場には、昼食施設がない所がありますので、注意してください。
- ④試験場およびその周辺には、駐車場がない所もありますので、公共交通機関を利用してください。
また、雪害等による交通トラブル等を考慮して、時間に余裕をもって集合してください。
- ⑤公共交通機関の遅延・運休により、試験開始時刻に間に合わない場合は、遅延・運休に関する証明書を必ずお受取りください。その後、本学入試課まで連絡の上、試験場に到着した際に、必ず受付に申し出てください。

6 工学部 B 日程の「選択」科目について

社会環境工学科（社会環境コース、環境情報コース）、建築学科では、選択科目は「出願時選択」となります。試験当日、選択科目を選ぶことはできません。また、出願時からの科目変更もできません。
なお、出願時に選択していない科目を受験した場合、その科目は採点されません。

7 2 部の「選択」科目について

(1) A 日程（経済学部 2 部、2 部経営学科、法学部 2 部、2 部日本文化学科）の受験生へ

- ①「選択」の 6 科目のうち、『英語』の試験のみ 3 時限目に行われます。その他の 5 科目については、2 時限目に行います。
- ②「選択」の試験は、2 時限目と 3 時限目の両方を受験することもできます。その場合は高得点の 1 科目を合否判定に使用します。
- ③「選択」の科目は、試験時選択です。

(2) A 日程（2 部英米文化学科）の受験生へ

- ①「選択」の 6 科目のうち、『国語』の試験のみ 1 時限目に行われます。その他の 5 科目については、2 時限目に行います。
- ②「選択」の試験は、1 時限目と 2 時限目の両方を受験することもできます。その場合は高得点の 1 科目を合否判定に使用します。
- ③「選択」の科目は、試験時選択です。

(3) B 日程（経済学部 2 部、2 部経営学科、法学部 2 部、2 部日本文化学科）の受験生へ

- ①「選択」の 6 科目のうち、『英語』の試験のみ 3 時限目に行われます。その他の 5 科目については、1 時限目に行います。
- ②「選択」の試験は、1 時限目と 3 時限目の両方を受験することもできます。その場合は高得点の 1 科目を合否判定に使用します。
- ③「選択」の科目は、試験時選択です。

(4) B 日程（2 部英米文化学科）の受験生へ

- ①「選択」の 6 科目のうち、『国語』の試験のみ 2 時限目に行われます。その他の 5 科目については、1 時限目に行います。
- ②「選択」の試験は、1 時限目と 2 時限目の両方を受験することもできます。その場合は高得点の 1 科目を合否判定に使用します。
- ③「選択」の科目は、試験時選択です。

8 試験場

※試験場案内図は 89 頁参照

受験地	会場	所在地
札幌	北海学園大学豊平校舎	札幌市豊平区旭町 4 丁目 1-40 TEL 011-841-1161 (代)
旭川	旭川北洋ビル	旭川市 4 条通 9 丁目 1703 番地 旭川北洋ビル 8F
帯広	とかち館	帯広市西 7 条南 6 丁目 2 番地
函館	函館北洋ビル	函館市若松町 15-7 函館北洋ビル 9F
東京	早稲田予備校東京本校	東京都新宿区高田馬場 4 丁目 4-21
青森	青森県観光物産館アスパム	青森県青森市安方 1 丁目 1-40

9 合格発表

合格発表は、WEB 出願サイトのみで行います。

- (1) 受験者は、**2026年2月24日(火)午前10時以降**にWEB出願サイトのマイページ上で合否照会をしてください。
- (2) 合格者はマイページ内「合否照会・通知・入学手続き等」ページから合格通知書(本人の総得点ならびに受験学部・学科・コースの合格点記載)と振込用紙が印刷可能となります。合格通知書や振込用紙は郵送しませんので各自で印刷してください。

※掲示や郵送および電話での合格発表は行いません。また、合否や成績の内容(たとえば各科目の得点など)に関する確認・お問い合わせには一切応じません。

合否照会

以下の二つの方法で合否を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多くなつた状態が予想されます。

その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。

また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ① 出願登録と同様に、本学ホームページからWEB出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。
マイページへのログインには「ログインID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ② マイページにログインしたら、「合否照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URLを指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB合否照会」バナーをクリックするか、下記のURLからアクセス

<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>



1

利用規約を確認し、「同意する」にチェックを入れて次ページに進みます。

2

受験番号と誕生日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3

合否結果が表示されます。

10 追加合格

入学手続状況によっては、不合格者の成績上位者から追加合格者を下記の要領で発表する場合があります。

下記の時点で確実に連絡がとれるよう、出願時に登録する「志願者連絡先」「緊急連絡先」に間違いがないようご注意ください。

※追加合格者の提出書類および納入金はすべて合格者と同じです。

※事前に追加合格予定者としての通知はしません。

※追加合格は、他学部・他学科・他コースの合格状況・入学手続状況に関係なく、追加合格者を決定します。

一回目…**第一次手続** 入学金の納入締切後、**3月4日(予定)**

二回目…**第二次手続** 授業料等の納入締切後、**3月11日(予定)**

追加合格発表は、追加合格者に対してのみ行い、対象者以外の受験者に対する通知は行いません。

※掲示や郵送での追加合格発表は行いません。

通知方法は以下のとおりです。

1. 本人等、出願時に登録いただいた連絡先に電話連絡

2. WEB出願サイトのマイページ

3. WEB合否照会サイト

なお、確認方法は上記8「合格発表」の合否照会方法と同じです。

追加合格者の入学手続について

追加合格者の入学手続期間は、追加合格者の発表後、数日(5日間程度)です。

その期間内に、入学手続(入学金と授業料等の納入・入学手続書類の提出)をすべて完了していただくことになります。

なお、すでに本学において入学手続きをしている場合は、新たに合格となった学部・学科(またはコース)への手続に振り替えることができます。

◎なお、追加合格に関するお問い合わせには一切応じませんので、あらかじめご了承ください。

11 入学手続

(1) 入学手続方法および手続期間について

以下①～④の手続をそれぞれの期限までに完了する必要があります。期限までに手続が完了していない場合には、入学を認めません。

■①入学金の納入（第一次手続）

2026年2月24日（火）～3月3日（火）

*WEB出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

■②授業料等の納入（第二次手続）または「高等教育の修学支援新制度」の入学への申請

2026年2月24日（火）～3月10日（火）

*WEB出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

*「**高等教育の修学支援新制度**」を利用される場合、あらかじめ、日本学生支援機構（JASSO）に予約採用の申込手続を行い、かつ、所定の期間内に別途、本学への申請手続が必要です。

申請した場合、授業料等（入学金は含みません）の納入は入学後になります。

■③必要書類の提出

④入学手続情報登録

2026年2月24日（火）～3月10日（火）

*以下のいずれかを郵送（締切日必着）もしくは本学各学部事務室に持参してください。

- ・卒業証明書（2026年3月卒業生のみ）
- ・合格成績証明書（高等学校卒業程度認定試験を合格見込みで受験した者のみ）
- ・3学年修了証明書（高等専門学校在学学生のみ）

※出願時に既に卒業・修了している方の場合、提出していただく書類はありません。

*上記期間内でWEB出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。

掲載文をよく読み、登録を行ってください。

◎「大学入学共通テスト利用選抜」と「一般選抜」において、同一学科（経済学部・法学部の場合は同一学部、工学部社会環境工学科の場合は同一コース）に出願して両方合格した場合は、「大学入学共通テスト利用選抜」の合格通知に基づき入学手続をしてください。

◎一般選抜において、同一学科（経済学部・法学部の場合は同一学部、工学部社会環境工学科の場合は同一コース）をA日程・B日程の両方の試験で合格した場合は、どちらか一方で手続をしてください。

(2) 第二次手続の延期について

3月11日以降に合格発表を行う他大学を併願、あるいは本学大学入学共通テスト利用選抜（Ⅱ期）を併願しているため、第二次手続（授業料等）の延期を希望する場合は、第一次手続（入学金）を銀行または信用金庫窓口より振り込んだ後、3月3日（火）までに郵送（必着）または午後4時までに直接大学入試課窓口にて、次の必要書類を提出して許可を得なければなりません。

〈提出書類〉

- ①振込金受領書 C のコピー……本学所定の第一次手続用振込用紙を使用し、入学金を振り込んだ受領書のコピー
- ②第二次手続延期願……本学所定の用紙に必要事項を記入し、押印してください。
- ③第二次手続用振込用紙……本学所定の授業料等の振込用紙

この第二次手続の延期を許可された者に限り、2026年3月24日（火）まで手続きを延期することを認めます。

(3) 授業料等納入金返還について

所定の期間内に入学辞退・学費等納入金返還手続を行った場合、入学金を除く既納入金を返還します。詳細については、入学手続時の情報をご確認ください。

Ⅲ. 大学入学共通テスト利用選抜要項

1 募集人員および日程

部	学部・学科／コース		募集人員		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	
			I 期	II 期					
1 部 (昼間部)	経済学部 (経済・地域経済) ※ 1		30	3	I 期 2026 年 1 月 5 日 (月) ~ 郵送受付 1 月 29 日 (木) 消印有効 大学窓口受付 1 月 30 日 (金) 午後 4 時締切 ※ 2 II 期 2026 年 2 月 12 日 (木) ~ 郵送受付 3 月 5 日 (木) 消印有効 大学窓口受付 3 月 6 日 (金) 午後 4 時締切	大学入学共通テスト 2026 年 1 月 17 日 (土) ・ 1 月 18 日 (日) 本学での個別学力 試験は課しません	I 期 2026 年 2 月 24 日 (火) 午前 10 時 II 期 2026 年 3 月 17 日 (火) 午前 10 時	37~38 頁 「7 入学手続」を 参照してください。	
	経営学部	経営学科	A 方式 25	10					
			B 方式 18						
	経営学部	経営情報学科	A 方式 25	10					
			B 方式 18						
	法学部 (法律・政治) ※ 1		30	5					
	人文学部	日本文化学科	A 方式 8	3					
			B 方式 8						
	人文学部	英米文化学科	A 方式 8	3					
			B 方式 8						
	工学部	社会環境 工学科	社会環境 コース	6					2
			環境情報 コース	4					2
		建築学科		10					3
電子情報工学科		9	3						
生命工学科		10	3						
2 部 (夜間部)	経済学部 (経済・地域経済) ※ 1		12	3					
	経営学部	経営学科	-	12					
	法学部 (法律・政治) ※ 1		-	15					
	人文学部	日本文化学科	6	-					
		英米文化学科	6	-					

※ 1 経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は 1 年次末に決定します。

※ 2 大学窓口締切時間は平日は午後 4 時、土曜日は正午までとなります。また、出願期間内の日曜・祝日ならびに 1 月 5 日 (月) から 1 月 6 日 (火) までは大学窓口受付は行いません。

注) I 期に出願した学科 (コース) に、再度、II 期で出願することができます。

2 出願資格

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む）および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

◎令和8年度大学入学共通テストを受験してください。

3 選抜科目・配点

部	学部	学科/コース	教科	科目	配点			
I 期 部(昼間部)	*経済学部 (経済・地域経済)		外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1科目選択	150点 (200点科目を 150点に換算)		
			国語	『国語』(『近代以降の文章』に限定)	必須	100点		
			地理歴史 公民学 数 情報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『情報I』	1科目選択	100点		
			※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点を50点に換算)の合計150点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算 ※『地理歴史』、『公民』、『数学』、『情報』の4教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用					
			合計					350点
	経営学部	A方式		外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	2科目選択	各200点 (100点科目は 200点に換算)	
				国語	『国語』(『近代以降の文章』に限定)			
				地理歴史 公民学 数 理科 情報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報I』			
		※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『地理歴史』、『公民』の2教科の中から2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※全体で高得点の2教科2科目を合否判定に使用						
		合計					400点	
経営学部	B方式		外国語	『英語』	必須	200点		
			国語	『国語』(『近代以降の文章』に限定)	必須	100点		
			地理歴史 公民学 数 理科 情報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報I』	1科目選択	100点		
	※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算 ※『地理歴史』、『公民』の2教科の中から2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『情報』の5教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用							
	合計					400点		
経営情報学部	A方式		外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	2科目選択	各200点 (100点科目は 200点に換算)		
			国語	『国語』(『近代以降の文章』に限定)				
			地理歴史 公民学 数 理科 情報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報I』				
	※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『地理歴史』、『公民』の2教科の中から2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※全体で高得点の2教科2科目を合否判定に使用							
	合計					400点		
経営情報学部	B方式		外国語	『英語』	必須	200点		
			国語	『国語』(『近代以降の文章』に限定)	1科目選択	100点		
			地理歴史 公民学 数 理科 情報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報I』	1科目選択	100点		
	※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算 ※『国語』、『数学』の2教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『地理歴史』、『公民』の2教科の中から2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『地理歴史』、『公民』、『理科』、『情報』の4教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用							
	合計					400点		
*法学部 (法律・政治)			国語	『国語』(『近代以降の文章』に限定)	必須	200点		
			外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	2科目選択	各200点 (100点科目は 200点に換算)		
※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点を60点に換算)の合計200点 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『外国語』、『地理歴史』、『公民』、『数学』の4教科の中から3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に使用								
合計					600点			

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。
 ◎この入学者選抜に出願する場合は、事前に令和8年度大学入学共通テストに出願し、受験してください。
 令和8年度大学入学共通テストの成績により合否を決定します。本学での個別学力試験は行いません。
 ◎すべての学部・学科/コースで併願が可能です。
 ◎経営学部・人文学部はA方式・B方式どちらかに出願することも両方式に出願することもできます。
 受験票については17~18頁の「**4**受験票について」を参照してください。

部	学部	学科/コース	教科	科目	配点		
I 期	1 部(昼間部)	人文学部	日本文化学科	A方式	国語 『国語』(『近代以降の文章』に限定)	必須 200点	合計 600点
				外国語 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1科目選択 200点		
				地理歴史公民 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』	1科目選択 200点 (100点科目を200点に換算)		
			※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『英語』の配点は、リーディング(100点を160点に換算)とリスニング(100点を40点に換算)の合計200点 ※『地理歴史』、『公民』の2教科の中から2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用				
			B方式	国語 『国語』(『近代以降の文章』(必須)、『古文』または『漢文』のいずれかの高得点)	必須 400点	合計 600点	
			外国語 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	1科目選択 200点 (100点科目を200点に換算)			
		地理歴史公民数理科情報 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』『情報I』	1科目選択				
		※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点と古文・漢文のいずれかの配点分45点の合計155点を400点に換算 ※『英語』の配点は、リーディング(100点を140点に換算)とリスニング(100点を60点に換算)の合計200点 ※『外国語』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『情報』の6教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用					
		英米文化学科	A方式	外国語 『英語』	必須 200点	合計 400点	
			国語 『国語』(『近代以降の文章』に限定)	必須 100点			
			地理歴史公民数理科情報 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』『情報I』	1科目選択 100点			
			※『英語』の配点は、リーディング(100点を140点に換算)とリスニング(100点を60点に換算)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算 ※『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『情報』の5教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用				
B方式	外国語 『英語』		必須 200点	合計 400点			
国語 『国語』(『近代以降の文章』に限定)	必須 100点						
地理歴史公民数理科情報 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』『情報I』	1科目選択 100点						
※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算 ※『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『情報』の5教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用							
工学部	社会環境工学部	社会環境コース	外国語 『英語』『国語』(『近代以降の文章』に限定)	1科目選択 200点	合計 800点		
			数理科 『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』『物理』『化学』『生物』『地学』	3科目選択 各200点 (100点科目を200点に換算)			
			※『英語』の配点は、リーディング(100点を160点に換算)とリスニング(100点を40点に換算)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『外国語』、『国語』について、2教科受験した場合は、高得点の1教科を合否判定に使用 ※『数学』、『理科』について、2教科受験した場合は、高得点の2教科3科目を合否判定に使用				
		環境情報コース	外国語 『英語』『国語』(『近代以降の文章』に限定)	1科目選択 200点 (100点科目を200点に換算)	合計 600点		
		数理科 『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』	1科目選択 200点 (100点科目を200点に換算)				
		理科 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』	1科目選択 200点 (100点科目を200点に換算)				
	※『英語』の配点は、リーディング(100点を160点に換算)とリスニング(100点を40点に換算)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『外国語』、『国語』、『情報』について、3教科受験した場合は、高得点の1教科を合否判定に使用 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用						
	建築学科	外国語 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	3科目選択 各200点 (100点科目を200点に換算)	合計 600点			
		国語 『国語』(『近代以降の文章』に限定)					
		地理歴史公民数理科情報 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』『情報I』					
		※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※4科目以上受験した場合は、高得点の3科目を合否判定に使用					
		電子情報工学科	外国語 『英語』	必須 200点	合計 800点		
数理科 『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』			2科目必須 各200点 (100点科目を200点に換算)				
理科 『物理』『情報I』	1科目選択 200点 (100点科目を200点に換算)						
※『英語』の配点は、リーディング(100点を160点に換算)とリスニング(100点を40点に換算)の合計200点 ※『理科』、『情報』について、2教科受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用							
生命工学科	外国語 『英語』『国語』(『近代以降の文章』に限定)		1科目選択 100点	合計 500点			
	数理科 『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』		1科目選択 200点 (100点科目を200点に換算)				
	理科 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』	1科目選択 200点 (100点科目を200点に換算)					
	※『英語』の配点は、リーディング(100点を80点に換算)とリスニング(100点を20点に換算)の合計100点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算 ※『外国語』、『国語』、『情報』について、3教科受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用						

◎この入学選抜に出願する場合は、事前に令和8年度大学入学共通テストに出願し、受験してください。
令和8年度大学入学共通テストの成績により合否を決定します。本学での個別学力試験は行いません。
◎すべての学部・学科/コースで併願が可能です。
◎経営学部・人文学部はA方式・B方式どちらかに出願することも両方式に出願することもできます。
受験票については17~18頁の「**4**受験票について」を参照してください。

部	学部	学科/コース	教科	科 目	配 点			
I 期	2 部 (夜間部)	*経済学部 (経済・地域経済)	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『国語』(『近代以降の文章』に限定)	1科目選択	100点 (200点科目は 100点に換算)	合計 200点	
			地理歴史 公民学 数 理 科 情 報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『情報I』	1科目選択	100点		
		※『英語』の配点は、リーディング(100点を70点に換算)とリスニング(100点を30点に換算)の合計100点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算 ※『外国語』、『国語』について、2教科受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『地理歴史』、『公民』、『数学』、『情報』の4教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用						
		人文学部	日本文化学科	外国語	『国語』(『近代以降の文章』(必須)、『古文』または『漢文』のいずれかの高得点)	必須	300点	合計 500点
				地理歴史 公民学 数 理 科 情 報	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報I』	1科目選択	200点 (100点科目は 200点に換算)	
		※『英語』の配点は、リーディング(100点を160点に換算)とリスニング(100点を40点に換算)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点と古文・漢文のいずれかの配点分45点の合計155点を300点に換算 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『外国語』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『情報』の6教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用						
英米文化学科	外国語	『英語』	必須	200点	合計 300点			
	地理歴史 公民学 数 理 科 情 報	『国語』(『近代以降の文章』に限定) 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報I』	1科目選択	100点				
※『英語』の配点は、リーディング(100点を140点に換算)とリスニング(100点を60点に換算)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『外国語』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『情報』の6教科の中から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用								

- *経済学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。
- ◎この入学者選抜に出願する場合は、事前に令和8年度大学入学共通テストに出願し、受験してください。
- 令和8年度大学入学共通テストの成績により合否を決定します。本学での個別学力試験は行いません。
- ◎すべての学部・学科/コースで併願が可能です。
- 受験票については17~18頁の「**4**受験票について」を参照してください。

部	学部	学科/コース	教科	科 目	配 点			
II 期	1 部 (昼間部)	*経済学部 (経済・地域経済)	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『国語』(『近代以降の文章』に限定)	3科目選択	各200点 (100点科目は 200点に換算)	合計 600点	
			地理歴史 公民学 数 理 科 情 報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報I』				
		※『英語』の配点は、リーディング(100点を120点に換算)とリスニング(100点を80点に換算)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『地理歴史』、『公民』の2教科の中から2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※全体で高得点の3教科3科目を合否判定に使用						
		経営学部	経営学科 経営情報学科	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『国語』(『近代以降の文章』に限定)	1科目選択 必須	200点 200点	合計 900点
				地理歴史 公民学 数 理 科 情 報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報I』	2科目選択 2科目選択 1科目選択	各100点 各100点 100点	
		※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『理科』、『情報』について、2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用						
*法学部 (法律・政治)		外国語	『国語』(『近代以降の文章』に限定)	必須	200点	合計 600点		
		地理歴史 公民学 数 理 科 情 報	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学I』『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報I』	2科目選択	各200点 (100点科目は 200点に換算)			
※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『英語』の配点は、リーディング(100点を140点に換算)とリスニング(100点を60点に換算)の合計200点 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『外国語』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『情報』の6教科の中から3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に使用								

- *経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。
- ◎この入学者選抜に出願する場合は、事前に令和8年度大学入学共通テストに出願し、受験してください。
- 令和8年度大学入学共通テストの成績により合否を決定します。本学での個別学力試験は行いません。
- ◎すべての学部・学科/コースで併願が可能です。
- 受験票については17~18頁の「**4**受験票について」を参照してください。

部	学部	学科/コース	教科	科 目	配 点			
Ⅱ 期 部(昼間部)	人文学部	日本文化学科	国 語	『国語』(『近代以降の文章』《必須》、「古文」または「漢文」のいずれかの高得点)	必須	200点		
			外 国 語 地 理 歴 史 数 学 民 学 理 科 情 報	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報Ⅰ』	2科目選択	各200点 (100点科目は 200点に換算)	合計 600点	
			※『英語』の配点は、リーディング(100点を160点に換算)とリスニング(100点を40点に換算)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点と古文・漢文のいずれかの配点分45点の合計155点を200点に換算 ※『地理歴史』、『公民』の2教科の中から2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『外国語』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『情報』の6教科の中から3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に使用					
		英米文化学科	外 国 語	『英語』	必須	200点	合計 600点	
			地 理 歴 史 数 学 民 学 理 科 情 報	『国語』(『近代以降の文章』に限定) 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報Ⅰ』	2科目選択	各200点 (100点科目は 200点に換算)		
			※『英語』の配点は、リーディング(100点を140点に換算)とリスニング(100点を60点に換算)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『地理歴史』、『公民』の2教科の中から2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『国語』、『地理歴史』、『公民』、『数学』、『理科』、『情報』の6教科の中から3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に使用					
	工学部	社会環境工学学科	社会環境コース	外 国 語	『英語』	1科目選択	200点	合計 600点
				数 学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1科目選択	200点 (100点科目を 200点に換算)	
				理 科	『物理』『化学』『生物』『地学』	1科目選択	200点 (100点科目を 200点に換算)	
		環境情報コース	外 国 語 情 報	『英語』 『国語』(『近代以降の文章』に限定) 『情報Ⅰ』	1科目選択	200点 (100点科目は 200点に換算)	合計 400点	
			数 学 科	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』	1科目選択	200点 (100点科目を 200点に換算)		
			※『英語』の配点は、リーディング(100点を160点に換算)とリスニング(100点を40点に換算)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※『外国語』、『国語』について、2教科受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』、『理科』について、2科目以上受験した場合は、高得点の1教科1科目を合否判定に使用					
	建築学科	外 国 語 地 理 歴 史 数 学 民 学 理 科 情 報	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『国語』(『近代以降の文章』に限定) 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報Ⅰ』	2科目選択	各200点 (100点科目は 200点に換算)	合計 400点		
		※『英語』の配点は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計200点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を200点に換算 ※3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に使用						
		電子情報 工学学科	外 国 語	『英語』	必須	200点	合計 600点	
	数 学		『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1科目選択	200点 (100点科目を 200点に換算)			
	理 科 情 報		『物理』 『情報Ⅰ』	1科目選択	200点 (100点科目を 200点に換算)			
	生命工学学科	外 国 語 情 報	『英語』 『国語』(『近代以降の文章』に限定) 『情報Ⅰ』	1科目選択	100点	合計 300点		
数 学 科		『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』	1科目選択	200点 (100点科目を 200点に換算)				
※『英語』の配点は、リーディング(100点を80点に換算)とリスニング(100点を20点に換算)の合計100点 ※『国語』は、近代以降の文章の配点分110点を100点に換算 ※『外国語』、『国語』、『情報』について、3教科受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『理科』について、2科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用 ※『数学』、『理科』について、2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用								

◎この入学者選抜に出願する場合は、事前に令和8年度大学入学共通テストに出願し、受験してください。

令和8年度大学入学共通テストの成績により合否を決定します。本学での個別学力試験は行いません。

◎すべての学部・学科/コースで併願が可能です。

受験票については17~18頁の「4受験票について」を参照してください。

Ⅲ

大学入学共通テスト利用選抜

部	学部	学科/コース	教科	科 目	配 点		
II 期 部 (夜間部)	2	*経済学部 (経済・地域経済)	外国語 地理歴史 公民学 数 理 情報	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『国語』(『近代以降の文章』に限定) 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報Ⅰ』	2科目選択	各200点 (100点科目は 200点に換算)	合計 400点
		経営学部 経営学科	外国語 地理歴史 公民学 数 理 情報	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『国語』(『近代以降の文章』に限定) 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報Ⅰ』	1科目選択 1科目選択	200点 (200点科目は 200点に換算)	合計 400点
		*法学部 (法律・政治)	国語 外国語 地理歴史 公民学 数 理 情報	『国語』(『近代以降の文章』に限定) 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報Ⅰ』	必須 2科目選択	200点 (各200点 (100点科目は 200点に換算))	合計 600点

- *経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。
◎この入学者選抜に出願する場合は、事前に令和8年度大学入学共通テストに出願し、受験してください。
令和8年度大学入学共通テストの成績により合否を決定します。本学での個別学力試験は行いません。
◎すべての学部・学科/コースで併願が可能です。
受験票については17～18頁の「**4**受験票について」を参照してください。

4 出願手続

(1) 出願期間

I 期

2026年1月5日(月)～〔郵送受付〕1月29日(木) 消印有効・〔大学窓口受付〕1月30日(金) 午後4時締切
※日曜・祝日ならびに1月5日(月)から1月6日(火)までは大学窓口受付は行いません。
※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着とします。

II 期

2026年2月12日(木)～〔郵送受付〕3月5日(木) 消印有効・〔大学窓口受付〕3月6日(金) 午後4時締切
※日曜・祝日は大学窓口受付は行いません。
※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着とします。

(2) 出願方法

出願書類は市販の角2型封筒を用意し、志願票(願書)その他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、「速達簡易書留」で郵送してください。

(3) 出願書類送付先

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 北海学園大学 入試部入試課

(4) 出願書類

①志願票(願書)

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票(願書)を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」(6～9頁)をご参照ください。

②成績請求チケット(私立大学用)

「チケット方式」での出願となります。共通テスト出願サイトのマイページから「成績請求チケット(私立大学用)」を発行し、印刷してください。印刷後、チケットを切り取り、志願票の指定された枠内に貼付してください。

③調査書(発行日がI期:2025年10月1日、II期:2025年12月1日以降のもので、最終学年の第1学期までの評定が記載されたもの。既に出願時に卒業・修了している場合は発行日は問いませんが、卒業後・修了後のものを提出してください。)

出身学校長が作成し厳封したものに限り、一回の出願登録では出願数に関わらず、必要な調査書は1通となります。また、I期、II期両方出願する方の調査書は2通必要となります。本人が出身学校より取り寄せてください。(調査書が発行されない場合や、氏名に変更がある場合は、75頁の注意事項を参照してください)
高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)に合格した者は、合格成績証明書(合格証明書は不可)、合格見込みの者は、合格見込成績証明書を提出してください。
※一般選抜にも出願する場合、別途、調査書を用意する必要がありますので、ご注意ください。

(5) 入学検定料の支払い、出願上の注意について
14～16 頁を参照して手続きを行ってください。

(6) 受験票について

受験票の発行は出願締切後に全ての受験生に対し一括で発行を行う予定です。
受験票が発行できるようになりましたらメールにてお知らせいたしますので、マイページで出願内容を確認してください。
受験番号の構成については 17～18 頁の「**4** 受験票について」を参照してください。

(7) 「学内併願」について

「学内併願」とは、同一の志願者が、本学において、複数の学部・学科・コースに出願することをいいます。
学内併願をして複数の学科または学部・コースに合格した場合は、希望する学科または学部・コースに間違いなく手続きするようにしてください。

(8) 出願状況について

出願状況等については大学窓口締切日の概ね 5 日前から大学のホームページでお知らせする予定です。

5 合格発表

合格発表は、WEB 出願サイトのみで行います。

- (1) 受験者は、I 期については **2026 年 2 月 24 日 (火) 午前 10 時以降**、II 期は **2026 年 3 月 17 日 (火) 午前 10 時以降** に WEB 出願サイトのマイページ上で合否照会をしてください。
- (2) 合格者はマイページ内「合否照会・通知・入学手続き等」ページから合格通知書（受験学部・学科・コースの合格点記載）と振込用紙が印刷可能となります。合格通知書や振込用紙は郵送しませんので各自で印刷してください。

※掲示や郵送および電話での合格発表は行いません。また、合否や成績の内容（たとえば各科目の得点など）に関する確認・お問い合わせには一切応じません。

合否照会

以下の二つの方法で合否を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多くなりにくい状態が予想されます。
その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。

また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ① 出願登録と同様に、本学ホームページから WEB 出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。
マイページへのログインには「ログイン ID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ② マイページにログインしたら、「合否照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URL を指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB 合否照会」バナーをクリックするか、下記の URL からアクセス
<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>



1

利用規約を確認し、「同意する」にチェックを入れて次ページに進みます。

2

受験番号と誕生日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3

合否結果が表示されます。

6 追加合格（I 期のみ）

一般選抜の**9**追加合格（28 頁）を参照してください。

7 入学手続

(1) 入学手続方法および手続期間について

以下①～④の手続をそれぞれの期限までに完了する必要があります。期限までに手続が完了していない場合には、入学を認めません。

【I 期】

■①入学金の納入（第一次手続）

2026 年 2 月 24 日 (火) ～3 月 3 日 (火)

* WEB 出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

■②授業料等の納入（第二次手続）または「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請

2026 年 2 月 24 日 (火) ～3 月 10 日 (火)

* WEB 出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

* **「高等教育の修学支援新制度」**を利用される場合、あらかじめ、日本学生支援機構（JASSO）に予約採用の申込手続を行い、かつ、所定の期間内に別途、本学への申請手続が必要です。

申請した場合、授業料等（入学金は含みません）の納入は入学後になります。

■③必要書類の提出

④入学手続情報登録

2026年2月24日(火)～3月10日(火)

*以下のいずれかを郵送(締切日必着)もしくは本学各学部事務室に持参してください。

- ・卒業証明書(2026年3月卒業生のみ)
- ・合格成績証明書(高等学校卒業程度認定試験を合格見込みで受験した者のみ)
- ・3学年修了証明書(高等専門学校在生のみ)

※出願時に既に卒業・修了している方の場合、提出していただく書類はありません。

*上記期間内でWEB出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。掲載文をよく読み、登録を行ってください。

【Ⅱ期】

■①入学金の納入(第一次手続)

②授業料等の納入(第二次手続)または「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請

2026年3月17日(火)～3月24日(火)

*WEB出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

*「**高等教育の修学支援新制度**」を利用される場合、あらかじめ、日本学生支援機構(JASSO)に予約採用の申込手続を行い、かつ、所定の期間内に別途、本学への申請手続が必要です。

申請した場合、授業料等(入学金は含みません)の納入は入学後になります。

■③必要書類の提出

④入学手続情報登録

2026年3月17日(火)～3月24日(火)

*以下のいずれかを郵送(締切日必着)もしくは本学各学部事務室に持参してください。

- ・卒業証明書(2026年3月卒業生のみ)
- ・合格成績証明書(高等学校卒業程度認定試験を合格見込みで受験した者のみ)
- ・3学年修了証明書(高等専門学校在生のみ)

※出願時に既に卒業・修了している方の場合、提出していただく書類はありません。

*上記期間内でWEB出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。掲載文をよく読み、登録を行ってください。

◎「大学入学共通テスト利用選抜」と「一般選抜」において、同一学科(経済学部・法学部の場合は同一学部、工学部社会環境工学科の場合は同一コース)に出願して両方合格した場合は、「大学入学共通テスト利用選抜」の合格通知に基づき入学手続をしてください。

(2) 第二次手続の延期について(Ⅰ期のみ)

3月11日以降に合格発表を行う他大学を併願、あるいは本学大学入学共通テスト利用選抜(Ⅱ期)を併願しているため、第二次手続の延期を希望する場合は、入学金(第一次手続)を銀行または信用金庫窓口より振り込んだ後、3月3日(火)までに郵送(必着)または午後4時までに直接大学入試課窓口にて、次の必要書類を提出して許可を得なければなりません。

(提出書類)

- ①振込金受領書Cのコピー……本学所定の第一次手続用振込用紙を使用し、入学金を振り込んだ受領書のコピー
 - ②第二次手続延期願……本学所定の用紙に必要事項を記入し、押印する。
 - ③第二次手続用振込用紙……本学所定の授業料等の振込用紙
- この第二次手続の延期を許可された者に限り、2026年3月24日(火)まで手続きを延期することを認めます。

(3) 授業料等納入金返還について

所定の期間内に、入学辞退・学費等納入金返還手続を行った場合、入学金を除く既納入金を返還します。詳細については、入学手続時の情報をご確認ください。

8 入学手続の振替について

本学の一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期に合格し、入学手続時納入金を納めた入学手続者が、大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期において別学部・別学科/別コースに合格し、新たに入学手続をする場合は、振替手続書類を送付いたしますので、入試部入試課フリーダイヤル(0120-86-2244)までご連絡ください。

IV. 総合型選抜要項

1 募集人員

(人)

学部・学科／コース		1部（昼間部）	2部（夜間部）
経済学部（経済・地域経済）		18	12
人文学部	日本文化学科	13	10
	英米文化学科	12	6
工学部	社会環境工学科	社会環境コース	—
		環境情報コース	—
	建築学科	7	—
	電子情報工学科	10	—
	生命工学科	6	—

※経済学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

2 出願資格

次の(1)と(2)すべてを満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
 - (2) 合格した場合には入学を確約でき（専願制）、各学部で提示された入学前教育を受講できる者（※）
- ※入学前教育の費用は受講生負担となることがあります。

3 選抜日程等一覧

出願期間	2025年9月24日（水）～〔郵送受付〕9月30日（火）消印有効 〔大学窓口受付〕10月1日（水）午後4時締切 ※日曜日・祝日は大学窓口受付は行いません。 ※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着となります。
受験票	17～18頁の「 4 受験票について」を参照してください。
1次選考合格発表日	2025年10月17日（金）午前10時（WEB出願サイトのみで行います）
2次選考試験日	2025年10月26日（日）
試験時間	各自受験票記載
試験地（2次選考）	北海学園大学 豊平校舎 （所在地）札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161（代）※試験場案内図は89頁参照
2次選考合格発表日	2025年11月7日（金）午前10時（WEB出願サイトのみで行います）

4 入学検定料の支払い・出願上の注意について

14～16頁を参照して手続を行ってください。

5 出願方法と送付先

- (1) 出願書類は市販の角2型封筒を用意し、志願票（願書）その他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、「速達簡易書留」で郵送してください。
- (2) 出願書類送付先
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号
北海学園大学 入試部入試課

6 受験上の注意

- (1) 試験について
 - ①試験会場は本学の豊平校舎となります。
 - ②試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
 - ③学部・学科・コースにより選考の所要時間が異なりますので、昼食は必要に応じて各自持参してください。
 - ④試験場の開門は午前8時30分です。
 - ⑤試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
 - ⑥試験は、指定時刻に遅れた場合は受けられないことがあります。
 - ⑦筆記試験がある受験者については、試験中に使用を認めるものは以下のとおりです。

HBの黒鉛筆・シャープペンシル、シャープペンシル替え芯、プラスチック製の消しゴム、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可）、鉛筆削り（電動式は認めない）、メガネ、ティッシュペーパー（予め袋等から中身を取り出しておくこと）。

*無地の座布団・ひざ掛けについては、試験開始前に監督者に申し出のうえ、許可を得て使用できます。目薬については、使用するときには監督者に申し出のうえ使用できます。（監督者による確認の結果、使用できない場合があります）

*試験時間中に、次のものを使用してはいけません：下敷き、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類。

*帽子やサングラス等の監督者による本人確認の妨げとなるもの、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。

*試験室は換気を行いますので、なるべく温度調節の可能な服装を心掛けてください。
 - ⑧携帯電話およびこれに類するものを試験場に持ち込まれる場合は、電源を切り、カバンの中に入れてください。
 - ⑨受験票は必ず持ち帰り保管してください。
 - ⑩上履きは不要です。
- (2) 不正行為
次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当日の入学試験を含め当該年度における本学の全入学者選抜（大学入学共通テスト利用選抜を含む）、全ての教科・科目の成績を無効とします。なお、検定料は返還しません。

*不正行為を行った場合、警察に被害届を提出する場合があります。

 - ①出願書類（志願票含む）の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等（志願票に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ②カンニング（試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④配付された問題冊子などを、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ⑤解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ⑦試験時間中に、下敷き、定規、コンパス、電動式鉛筆削り、電卓、そろばん、翻訳機能等の記憶機能つきの用品、およびこれに類するものを使用すること。
 - ⑧試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。また、イヤホンを使用すること。
 - ⑨「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
 - ⑩試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ⑪試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑫試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑬その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

7 合格発表

合格発表は、WEB 出願サイトのみで行います。

- (1) 合格発表日については④選抜日程等一覧(39頁)を参照してください。
- (2) 受験者は、WEB 出願サイトのマイページ上で合否照会をしてください。
- (3) 合格者はマイページ内「合否照会・通知・入学手続き等」ページから合格通知書と振込用紙が印刷可能となります。合格通知書や振込用紙は郵送しませんので各自で印刷してください。
※掲示や郵送および電話での合格発表は行いません。また、合否や成績の内容に関する確認・問い合わせには一切応じません。

合否照会

以下の二つの方法で合否を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多くなりがちでアクセスが思うようにいかない状態が予想されます。

その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。

また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ①出願登録と同様に、本学ホームページから WEB 出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。
マイページへのログインには「ログイン ID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ②マイページにログインしたら、「合否照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URL を指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB 合否照会」バナーをクリックするか、下記の URL からアクセス

<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>



1

利用規約を確認し、「同意する」にチェックを入れて次ページに進みます。

2

受験番号と誕生月日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3

合否結果が表示されます。

8 入学手続

(1) 入学手続方法および手続期間について

以下①～④の手続をそれぞれの期限までに完了する必要があります。期限までに手続が完了していない場合には、入学を認めません。

■①入学金の納入（第一次手続）

②授業料等の納入（第二次手続）または「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請

2025年11月7日（金）～11月21日（金）

* WEB 出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

* 「**高等教育の修学支援新制度**」を利用される場合、あらかじめ、日本学生支援機構（JASSO）に予約採用の申込手続きを行い、かつ、所定の期間内に別途、本学への申請手続が必要です。

申請した場合、授業料等（入学金は含みません）の納入は入学後になります。

■③必要書類の提出

④入学手続情報登録

2026年2月24日（火）～3月10日（火）

* 以下の書類を郵送（締切日必着）もしくは本学各学部事務室に持参してください。

・卒業証明書

* 上記期間内で WEB 出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。

掲載文をよく読み、登録を行ってください。

9 学部・学科・コース別 総合型選抜案内

■経済学部 1・2部 (経済学科・地域経済学科)

〔1〕趣 旨

受験機会の多様化、個性豊かな人材の育成という社会の要請に応えるべく、本学経済学部1・2部への入学を強く希望する生徒の資質や能力、目的意識、適性を多角的に評価する総合型選抜を実施します。

〔2〕出願書類

(1) 志願票 (願書)

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票 (願書) を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」(6～9頁)をご参照ください。

(2) 調査書

2025年9月10日以降に学校長が作成し、厳封したものに限りです。

(3) 適格性自己診断書 (様式5)

大学のWEBサイトに掲載されている経済学部の「アドミッション・ポリシー (<https://www.hgu.jp/about/economics.html>)」および「大学案内」を事前に熟読し、また普段の自分を振り返ってみて、自分がいかに本学経済学部生として適格であるかを600字程度で明確に書いてください。

※様式5については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

(4) 事前提出小論文 (様式5)

高校入学以来現在までに重点的に学習・探究した内容 (「総合的な探究の時間」において学習した内容でも可) と、大学入学後に勉強したいテーマについて1200字程度で具体的に書いてください。なお、前者と後者は連動してなくても問題ありません。

※様式5については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔3〕選抜方法

(1) 1次選考【100点】

提出された書類によって、総合的に評価します。

①調査書 (25点満点)

②適格性自己診断書 (25点満点)

③事前提出小論文 (50点満点)

(2) 2次選考【100点】

1次選考合格者に対して行います。

①グループディスカッション (50点満点)

4人1組で行い、テーマは試験当日に発表されます (30分)。

②プレゼンテーション (30点満点)

自分の適格性 (出願書類 (3)) とこれまでの学習・探究の内容、大学入学後に勉強したいテーマ (出願書類 (4)) について (10分)。

③口頭試問 (20点満点)

プレゼンテーションの補足、2次選考①②を振り返っての良かった点と反省点 (10分)。

〔4〕その他

合格者には、入学までの期間に入学前教育を行います。

総合型選抜に関する評価ポイントや選抜方法などの情報については、特設サイトに掲載しています。

下記URLかQRコードからアクセスし、準備の参考にしてください。

<https://404.hgu.jp/examination/newexam/>

〔5〕リンク先QRコード一覧



■人文学部 1・2部 日本文化学科

〔1〕趣 旨

総合型選抜は、人文学部日本文化学科で学びたいという強い意志を持つ者を対象に、知識・技能のみならず、思考力・判断力・表現力についても多面的に評価する入学者選抜制度です。

〔2〕出願書類

(1) 志願票（願書）

WEB 出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

(2) 調査書

2025年9月10日以降に学校長が作成し、厳封したものに限りです。

(3) 学修計画書（様式5）

アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに関連する以下の2つのテーマについて、それぞれ600字程度で記述してください。

・自分が学科の求める学生像にふさわしいと考える理由

大学のWEBサイトに掲載されている人文学部の「アドミッション・ポリシー（<https://www.hgu.jp/about/humanities.html>）」を読み、高校での経験・活動を踏まえ、自分が学科の求める学生像にふさわしいことを説明してください。

・入学後に学びたい科目とその理由

大学のWEBサイトに掲載されている人文学部の「カリキュラム・ポリシー（<https://www.hgu.jp/about/humanities.html>）」と「人文学部カリキュラム（<https://www.hgu.jp/faculty/humanities/curriculum.html>）」を読んだ上で、「シラバス（<https://www.hgu.jp/faculty/syllabi.html>）」を参考にしながら人文学部の専門科目のなかで特に学びたい科目を選択し、その理由について説明してください。

・最後に、2次選考のプレゼンテーションで選択する書籍を記載してください。

※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔3〕選抜方法

(1) 1次選考（50点満点）

提出された書類によって総合的に評価します。

①調査書（25点満点）

②学修計画書（25点満点）

(2) 2次選考（1次選考合格者に対して行います）

日本語運用能力に関する総合問題、プレゼンテーション、口頭試問を実施し、総合的に評価します。

①日本語運用能力に関する総合問題（50点満点）

現代文・古文についての総合問題を解いてもらいます（60分）。

②プレゼンテーション（25点満点）

学修計画書のカリキュラム・ポリシーのテーマにおいて、人文学部で学びたいと記述した科目に関連する書籍を自ら選択し、その書籍の内容と自分の意見についてプレゼンテーションしてもらいます（3分以内）。選択する書籍に制限は設けませんが、人文学部WEBサイトに「人文学を学ぶための100冊（<https://human.hgu.jp/program/one-hundred-books-of-humanities.html>）」を参考として提示しますので、そのリストから選択することもできます。選択する書籍を学修計画書に記載してください。書籍の選択についての問い合わせには応じられません。

口頭試問会場に書籍本体を持参することとしますが、書籍を開くことはできません。また、プレゼンテーション内容について簡潔に整理したA4用紙片面1枚のレジユメを持参して、口頭試問開始時に試験官に提出してください。

③口頭試問（25点満点）

プレゼンテーションと学修計画書をもとに行います（8分程度）。

〔4〕その他

合格者には、入学までの期間に入学前教育の機会を提供します。

総合型選抜に関する評価ポイントや選抜方法などの情報については、特設サイトに掲載しています。

下記URLかQRコードからアクセスし、準備の参考にしてください。

<https://404.hgu.jp/examination/newexam/>

〔5〕リンク先QRコード一覧



■人文学部 1・2部 英米文化学科

〔1〕趣 旨

総合型選抜は、人文学部英米文化学科で学びたいという強い意志を持つ者を対象に、知識・技能のみならず、思考力・判断力・表現力についても多面的に評価する入学者選抜制度です。

〔2〕出願書類

(1) 志願票 (願書)

WEB 出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票 (願書) を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」(6～9 頁) をご参照ください。

(2) 調査書

2025 年 9 月 10 日以降に学校長が作成し、厳封したものに限りです。

(3) 学修計画書 (様式 5)

アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに関連する以下の 2 つのテーマについて、それぞれ 600 字程度で記述してください。

・自分が学科の求める学生像にふさわしいと考える理由

大学の WEB サイトに掲載されている人文学部の「アドミッション・ポリシー (<https://www.hgu.jp/about/humanities.html>)」を読み、高校での経験・活動を踏まえ、自分が学科の求める学生像にふさわしいことを説明してください。

・入学後に学びたい科目とその理由

大学の WEB サイトに掲載されている人文学部の「カリキュラム・ポリシー (<https://www.hgu.jp/about/humanities.html>)」と「人文学部カリキュラム (<https://www.hgu.jp/faculty/humanities/curriculum.html>)」を読んだ上で、「シラバス (<https://www.hgu.jp/faculty/syllabi.html>)」を参考にしながら人文学部の専門科目のなかで特に学びたい科目を選択し、その理由について説明してください。

・最後に、2 次選考のプレゼンテーションで選択する書籍を記載してください。

※様式 5 については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、「A4 サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔3〕選抜方法

(1) 1 次選考 (50 点満点)

提出された書類によって総合的に評価します。

①調査書 (25 点満点)

②学修計画書 (25 点満点)

(2) 2 次選考 (1 次選考合格者に対して行います)

英語運用能力に関する総合問題、プレゼンテーション、口頭試問を実施し、総合的に評価します。

①英語運用能力に関する総合問題 (50 点満点)

大学のコンピューターを用いて CASEC (英語 2 技能試験) に解答してもらいます (60 分)。

②プレゼンテーション (25 点満点)

学修計画書のカリキュラム・ポリシーのテーマにおいて、人文学部で学びたいと記述した科目に関連する書籍を自ら選択し、その書籍の内容と自分の意見についてプレゼンテーションしてもらいます (3 分以内)。選択する書籍に制限は設けませんが、人文学部 WEB サイトに「人文学を学ぶための 100 冊 (<https://human.hgu.jp/program/one-hundred-books-of-humanities.html>)」を参考として提示しますので、そのリストから選択することもできます。選択する書籍を学修計画書に記載してください。書籍の選択についての問い合わせには応じられません。

口頭試問会場に書籍本体を持参することとしますが、書籍を開くことはできません。また、プレゼンテーション内容について簡潔に整理した A4 用紙片面 1 枚のレジユメを持参して、口頭試問開始時に試験官に提出してください。

③口頭試問 (25 点満点)

プレゼンテーションと学修計画書をもとに行います (8 分程度)。

〔4〕そ の 他

合格者には、入学までの期間に入学前教育の機会を提供します。

総合型選抜に関する評価ポイントや選抜方法などの情報については、特設サイトに掲載しています。

下記 URL か QR コードからアクセスし、準備の参考にしてください。

<https://404.hgu.jp/examination/newexam/>

〔5〕リンク先 QR コード一覧

人文学部 アドミッション・ポリシー カリキュラム・ポリシー	人文学部 カリキュラム	講義内容 (シラバス) 検索ページ	人文学を学ぶ ための 100 冊	総合型選抜 特設 WEB サイト
				

■工学部 社会環境工学科 社会環境コース・環境情報コース

〔1〕趣 旨

受験機会の多様化、個性豊かな人材の育成という社会の要請に応えるべく、本学科への入学を強く希望する生徒の資質や能力、目的意識、適性を、本学科のアドミッション・ポリシー (<https://www.hgu.jp/about/engineering.html>) に基づいて多角的に評価する総合型選抜を実施します。

〔2〕出願書類

- (1) 志願票 (願書)
WEB 出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票 (願書) を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」(6~9 頁) をご参照ください。
- (2) 調査書
2025 年 9 月 10 日以降に学校長が作成し、厳封したものに限りです。
- (3) 学修計画書 (様式 5)
将来どのような職業を目指し、そのために何を本学科で学修したいかについて (1200 字程度)
- (4) 事前提出小論文 (様式 5)
次の土木環境工学に関連するキーワードを 1 つ以上含む最近のニュースについて、自分の考えを述べてください。(1200 字程度)
キーワード
①社会インフラストラクチャー
②自然災害 (震災や水害など)
③自然共生 (環境問題など)
※様式 5 については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、「A4 サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。
その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔3〕選抜方法

- (1) 1 次選考
提出された書類によって総合的に評価します。
①調査書 (参考)
②学修計画書 (50 点満点)
③事前提出小論文 (50 点満点)
- (2) 2 次選考 (1 次選考合格者に対して行います)
講義型試験、口頭試問を実施し、総合的に評価します。
①講義型試験 (50 点満点)
30 分講義を行い、その後、60 分で講義に関連する内容の設問に解答する。なお、配布資料および自身で作成したメモを参照してよい。
②口頭試問 (50 点満点)
学修計画書、事前提出小論文、講義型試験に関連した内容について行う (20 分程度)。

〔4〕その他

合格者には、入学までの期間に入学前教育を行います。

総合型選抜に関する評価ポイントや選抜方法などの情報については、特設サイトに掲載しています。
下記 URL か QR コードからアクセスし、準備の参考にしてください。
<https://404.hgu.jp/examination/newexam/>

〔5〕リンク先 QR コード一覧



■工学部 建築学科

〔1〕趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、入学選抜における学力偏重の弊害を改め、多様な能力と豊かな個性を持つ生徒を選抜して大学教育の活性化を図ることが求められています。

本学工学部建築学科では、優秀な成績を取め、人々が生きる社会全般に対する強い興味と課題に対応できる能力を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、総合型選抜を行います。

〔2〕出願書類

(1) 志願票 (願書)

WEB 出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票 (願書) を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」(6～9 頁) をご参照ください。

(2) 調査書

2025 年 9 月 10 日以降に学校長が作成し、厳封したものに限りです。

(3) 学修計画書 (様式 5)

大学卒業後のビジョンとその実現のためこれまで行ってきた活動や制作について (1200 字程度)

(4) 事前提出小論文 (様式 5)

建築の可能性について、時事問題を取り上げて考察せよ (2400 字以上、上限なし)

※様式 5 については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、「A4 サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

(5) 実用英語技能検定、GTEC、TOEIC のスコア保有の場合は、検定結果 (写し可)

写しを提出する場合は、それらに誤りがないことを証明する旨の学校長の文書 (様式 2) を添えてください。

※様式 2 については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

〔3〕選抜方法

(1) 1 次選考

提出された書類によって総合的に評価します。

①調査書と提出された英語のスコア (100 点満点)

②学修計画書 (150 点満点)

③事前提出小論文 (150 点満点)

(2) 2 次選考 (1 次選考合格者に対して行います)

講義型試験、口頭試問を実施し、総合的に評価します。

①講義型試験 (150 点満点)

時事問題などに関する講義 (30 分) やグループディスカッション (30 分) を踏まえて解決のアイデア等を記述する試験 (30 分)。

②口頭試問 (150 点満点)

講義型試験の答案や 1 次選考の提出書類を踏まえた質疑を行い、説明能力・論理的思考・議論する能力・コミュニケーション能力を総合的に審査する (15 分)。

〔4〕その他

合格者には、入学までの期間に入学前教育を行います。

総合型選抜に関する評価ポイントや選抜方法などの情報については、特設サイトに掲載しています。

下記 URL か QR コードからアクセスし、準備の参考にしてください。

<https://404.hgu.jp/examination/newexam/>

〔5〕リンク先 QR コード一覧



■工学部 電子情報工学科

〔1〕趣 旨

本学電子情報工学科は、エレクトロニクスやITなどの電子情報工学に関わる科学技術に強い興味を持ち、大学において高度な知識を習得し、卒業後には電子情報系分野での活躍を希望する生徒を積極的に受け入れる総合型選抜を行います。

本学科の総合型選抜では、プレゼンテーションと口頭試問などによって志願者の科学技術への興味・探求心・主体的な学習意欲・理解度などを評価し、また大学で学びたいことや将来の目標などを具体的に説明できる能力を問います。

〔2〕出願書類

(1) 志願票 (願書)

WEB 出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票 (願書) を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」(6~9 頁) をご参照ください。

(2) 調査書

2025 年 9 月 10 日以降に学校長が作成し、厳封したものに限りです。

(3) 学修計画書 (様式 5)

大学卒業後の展望とそれを実現するために本学科で何をどのように学びたいかについて (1200 字程度) 記述してください。

※様式 5 については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、「A4 サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

(4) 2次選考で使用するプレゼンテーション資料

PowerPoint や Google スライドなどのプレゼンテーションソフトを使用して (ソフトの使用は望ましいが、必須ではありません) 作成した A4 片面資料 (表紙 1 枚と内容 3 枚程度) を印刷し紙媒体で提出してください。

〔3〕選抜方法

(1) 1次選考

提出された書類によって総合的に評価します。

①調査書 (100 点満点)

②学修計画書 (100 点満点)

③2次選考で使用するプレゼンテーション用資料 (100 点満点)

(2) 2次選考 (1次選考合格者に対して行います)

プレゼンテーション、口頭試問を実施し、総合的に評価します。

①プレゼンテーション (150 点満点)

最近のエレクトロニクスやITなどの技術、もしくはその他の科学技術の中から興味を持ったテーマを選択し、なぜそれに興味を持ったのか、それに関連して自ら進んで調べたり学んだ経験について発表してもらいます。

1次選考で提出したプレゼンテーション用資料 (*) を用いて、発表5分と質疑応答5分で行います。

(*) 大学側が電子化し、面接員がスクリーンへの投影やパソコンの操作を行います。

②口頭試問 (150 点満点)

学修計画書に関連した内容、および物理・数学の質問に答えてもらいます (10 分)。

〔4〕その他

合格者には、入学までの期間に入学前教育を行います。

総合型選抜に関する評価ポイントや選抜方法などの情報については、特設サイトに掲載しています。

下記 URL か QR コードからアクセスし、準備の参考にしてください。

<https://404.hgu.jp/examination/newexam/>

〔5〕リンク先 QR コード一覧

総合型選抜
特設 WEB サイト



■工学部 生命工学科

(1) 趣 旨

社会で分野横断的に活躍できる人材を育成するため、生命科学や情報工学への強い関心と探究心を持つ生徒を対象に、学力に加えて、多角的な能力を評価する総合型選抜を実施します。

(2) 出願書類

(1) 志願票 (願書)

WEB 出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票 (願書) を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」(6~9 頁) をご参照ください。

(2) 調査書

2025 年 9 月 10 日以降に学校長が作成し、厳封したものに限りです。

(3) 学修計画書 (様式 5)

本学科で学修したいこととその理由について書いてください (1200 字程度)。具体的には、興味を持っている学問分野や研究とその分野に興味を持った理由です。その上で大学入学後の計画として、受けてみたい授業や行ってみたい研究などを書いてください。大学の WEB サイト (<https://www.hgu.jp/faculty/engineering/>) と工学部 WEB サイト (<https://eng.hgu.jp/>) では、生命工学科の講義内容を確認できるので、計画書を作成する際の参考にしてください。

生命工学科の講義一覧：<https://eng.hgu.jp/department/life-science-technology/lecture.html>

講義内容 (シラバス) の検索：<https://www.hgu.jp/faculty/syllabi.html>

生命工学科の教員一覧：<https://eng.hgu.jp/teaching-staff.html#life-science>

(4) 2次選考で実施するプレゼンテーションの概要 (様式 5)

以下 A・B のいずれか 1 つに関するプレゼンテーションの内容 (600~800 字程度)。

A) 高校在学時に自らが取り組んだ理科・数学・情報のいずれかに関わる探究活動について。探究活動の例としては、以下のようなものが挙げられます：「高校の『総合的な探究の時間』で実施した探究活動」、「課外活動や学外活動で取り組んだ探究活動」、「生徒が個人で自主的に行った探究活動」など。

B) 指定された課題書籍の中から 1 冊を選び、その書籍の中で特に興味を持った内容について。プレゼンテーションには、書籍の内容を要約するだけでなく、自分の考えを含めてください。自分で掘り下げて調べたことを含めても構いません。

2026 年度課題書籍

『生物に世界はどう見えるか (2019 年、本体 2400 円+税、実重重実 著、新曜社)』

『AI にはできない (2024 年、本体 920 円+税、栗原聡 著、角川新書)』

また概要にはプレゼンテーションの方法 (PowerPoint 等のスライド、ホワイトボード、制作物・ポスター・紙媒体の資料のいずれか) を指定してください。

※様式 5 については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、「A4 サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

(3) 選抜方法

(1) 1次選考

提出された書類によって総合的に評価します。

①調査書 (50 点満点)

②学修計画書 (30 点満点)

③2次選考で実施するプレゼンテーションの概要 (20 点満点)

(2) 2次選考 (1次選考合格者に対して行います)

プレゼンテーション、口頭試問を実施し、総合的に評価します。

①プレゼンテーション (50 点満点)

一次選考書類で選択した内容について、10 分間の口頭発表をしてもらいます。

・紙媒体の配布資料を使用する場合、資料を 3 部、試験当日に持参してください。

・スライドを使用する場合、自前のパソコンまたは本学のパソコン (Windows、Microsoft Office)、プロジェクター、スクリーンの機材を利用できます。機材の不調等を想定し、プリントアウトした資料を 3 部、試験当日に持参してください。また本学のパソコンを使用する場合は、スライドのデータを保存した USB メモリを持参してください。

②口頭試問 (50 点満点)

1 次選考の書類とプレゼンテーションに関連した内容について、10 分間の口頭試問を行います。

(4) そ の 他

合格者には、入学までの期間に入学前教育を行います。

総合型選抜に関する評価ポイントや選抜方法などの情報については、特設サイトに掲載しています。
下記 URL か QR コードからアクセスし、準備の参考にしてください。

<https://404.hgu.jp/examination/newexam/>

(5) リンク先 QR コード一覧

大学 WEB サイト 【工学部ページ】 	工学部 WEB サイト 	生命工学科 講義一覧 	講義内容 (シラバス) 検索ページ 	生命工学科 教員一覧 	総合型選抜 特設 WEB サイト 
---	---	--	--	--	--

V. 学校推薦型選抜（公募制）・（指定校制）要項

1 募集人員

1 部（昼間部）

（人）

学部・学科／コース		公 募 制	指 定 校 制
経済学部（経済・地域経済）※		—	62
経営学部	経営学科	—	普通科系 17 商業科系 2
	経営情報学科	—	普通科系 12 商業科系 2
法学部（法律・政治）※		—	71
人文学部	日本文化学科	—	20
	英米文化学科	—	20
工学部	社会環境 工 学 科	社会環境コース	7
		環境情報コース	5
	建築学科	2	23
	電子情報工学科	2	11
	生命工学科	2	16

2 部（夜間部）

（人）

学部・学科		公 募 制	指 定 校 制
経済学部（経済・地域経済）※		—	19
経営学部	経営学科	—	普通科系 16 商業科系 5
法学部（法律・政治）※		—	41
人文学部	日本文化学科	—	5
	英米文化学科	—	5

本学の学校推薦型選抜（公募制）・（指定校制）は、すべて「専願制」です。

※ 経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

V

学校推薦型選抜（公募制）・（指定校制）

2 学校推薦型選抜日程等一覧

学部	経済学部 ※1	経営学部		法学部 ※1	人文学部	工学部						
学科	1部 (経済・地域経済)	1部 経営学	2部 経営情報学	1部 経営学	2部 経営情報学	1部 日本文化学	2部 英米文化学	社会環境工学科		建築学	電子情報工	生命工
	(経済・地域経済)	経営学	経営情報学	経営学	経営情報学	日本文化学	英米文化学	社会環境コース	環境情報コース			
制度	指定校制	指定校制 (普通科系)	指定校制 (商業科系)	指定校制	指定校制	指定校制	公募制	指定校制	公募制	指定校制	公募制	指定校制
選抜方法	書類審査 口頭試問	書類審査 口頭試問	書類審査 口頭試問	書類審査	書類審査 口頭試問	書類審査 口頭試問	小論文(公募制のみ) 口頭試問	書類審査 口頭試問	小論文(公募制のみ) 口頭試問	書類審査 口頭試問	書類審査 口頭試問	書類審査 口頭試問
出願期間	2025年11月1日(土)～[郵送受付]11月10日(月)消印有効 [大学窓口受付]11月11日(火)午後4時締切 ※日曜・祝日は大学窓口受付は行いません。 ※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着とします。											
受験票	17～18頁の「 4 受験票について」を参照してください。											
試験日	2025年11月23日(日) (法学部を除く※2)											
試験時間	各自受験票記載											
試験地	北海学園大学 豊平校舎 (所在地) 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161(代) ※試験場案内図は89頁参照											
合格発表	2025年12月5日(金)午前10時(WEB出願サイトのみで行います)											
入学手続期間	53頁「 8 入学手続」を参照してください。											

- ※1 経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。
 ※2 法学部は「書類審査(事前提出小論文等)」で合否判定を行うため、試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。
 ○口頭試問は個人口頭試問を原則としていますが、志願者数によっては集団口頭試問になる場合があります。また、経済学部1・2部指定校制と経営学部1・2部指定校制は集団口頭試問となります。なお、口頭試問時間は15分から20分程度を予定しています。
 ○試験時間(各自受験票記載)の15分前までに会場案内図での指示に従って着席してください。

3 出願書類

学部	*経済学部	経営学部		*法学部	人文学部	工学部								
学 科	1 2部 (経済・地域経済)	1 1部 経営学 情報学	1 1部 経営学 情報学	1 2部 (法律・政治)	1 1部 英米文化学 日本文化学	2 2部 英米文化学 日本文化学	社会環境科		建築学科	建築学科	電子情報工学科	電子情報工学科	生命工学科	生命工学科
							社会環境コース	環境情報コース						
出願書類	指定校制	指定校制 (普通科系)	指定校制 (商業科系)	指定校制	指定校制	指定校制	指定校制	公募制	指定校制	公募制	指定校制	公募制	指定校制	公募制
志願票(願書)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推薦書(様式1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志望理由書(様式5)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
事前提出小論文(様式5)	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	○
各種資格等証明書		英検準1級以上の資格のある場合 (55頁参照) ○ (様式2)	57頁参照 ○ (様式2)											
注意事項	<p>志願票(願書) WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票(願書)を印刷してください。 ※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」(6~9頁)をご参照ください。</p> <p>調査書 最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>高等学校長推薦書(様式1) 本学所定の様式に学校長が記入し厳封したもの(詳細に記入してください)。 ※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。 ※様式1については本学ホームページ(https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html)よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。</p> <p>志望理由書・事前提出小論文(様式5) 各学部・学科/コースの学校推薦型選抜案内の指示に従い、本学所定の様式に必ず手書きで記入のうえ提出してください。 テーマを記載する場合や空白マスは文字数に含まれません。 ※様式5については本学ホームページ(https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html)よりダウンロードし、印刷してください。</p> <p>各種資格等証明書 出願資格を証明する合格証明書または合格証の写し(なお、合格証の写しを提出する場合は、それらに誤りのないことを証明する旨の高等学校長の文書(様式2)を添付してください)。 ※様式2については本学ホームページ(https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html)よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。</p>													

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

○詳細は、9学部・学科・コース別 学校推薦型選抜案内を参照し、内容を十分理解したうえで提出書類を作成してください。

4 入学検定料の支払い・出願上の注意について

14～16 頁を参照して手続きを行ってください。

5 出願方法と送付先

- (1) 出願書類は市販の角 2 型封筒を用意し、志願票（願書）その他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、「速達簡易書留」で郵送してください。
- (2) 出願書類送付先
〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号 北海学園大学 入試部入試課

6 受験上の注意

- (1) 試験について
 - ①試験会場は本学の豊平校舎となります。
 - ②試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
 - ③学部・学科・コースにより選考の所要時間が異なりますので、昼食は必要に応じて各自持参してください。
 - ④試験場の開門は午前 8 時 30 分です。
 - ⑤試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
 - ⑥小論文の試験は、試験開始後 20 分を過ぎた場合は受験できません。口頭試問は、指定時刻に遅れた場合は受けられないことがあります。
 - ⑦小論文の受験者について、試験中に使用を認めるものは以下のとおりです。
HB の黒鉛筆・シャープペンシル、シャープペンシル替え芯、プラスチック製の消しゴム、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能が有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可）、鉛筆削り（電動式は認めない）、メガネ、ティッシュペーパー（予め袋等から中身を取り出しておくこと）。
* 無地の座布団・ひざ掛けについては、試験開始前に監督者に申し出のうえ、許可を得て使用できます。目薬については、使用するとき監督者に申し出のうえ使用できます。（監督者による確認の結果、使用できない場合があります）
* 試験時間中に、次のものを使用してはいけません：下敷き、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類。
* 帽子やサングラス等の監督者による本人確認の妨げとなるもの、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。
* 試験室は換気を行いますので、なるべく温度調節の可能な服装を心掛けてください。
 - ⑧携帯電話およびこれに類するものを試験場に持ち込まれる場合は、電源を切りカバンの中にしめてください。
 - ⑨受験票は必ず持ち帰り保管してください。
 - ⑩上履きは不要です。
- (2) 不正行為
次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当日の入学試験を含め当該年度における本学の全入学者選抜（大学入学共通テスト利用選抜含む）、全ての教科・科目の成績を無効とします。
なお、検定料は返還しません。
* 不正行為を行った場合、警察に被害届を提出する場合があります。
 - ①出願書類（志願票含む）の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等（志願票に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ②カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④配付された問題冊子などを、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ⑤解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ⑦試験時間中に、下敷き、定規、コンパス、電動式鉛筆削り、電卓、そろばん、翻訳機能等の記憶機能つきの用品、およびこれに類するものを使用すること。
 - ⑧試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。また、イヤホンを使用すること。
 - ⑨「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
 - ⑩試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ⑪試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑫試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑬その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

7 合格発表

合格発表は、WEB 出願サイトのみで行います。

- (1) 合格発表日については、**2**学校推薦型選抜日程等一覧（50 頁）を参照してください。
- (2) 受験者は、WEB 出願サイトのマイページ上で合否照会をしてください。
- (3) 合格者はマイページ内「合否照会・通知・入学手続き等」ページから合格通知書と振込用紙が印刷可能となります。合格通知書や振込用紙は郵送しませんので各自で印刷してください。
- (4) 高等学校長宛てに文書で合格者名簿を通知致します。

※掲示や郵送および電話での合格発表は行いません。また、合否や成績の内容（たとえば各科目の得点など）に関する確認・問い合わせには一切応じません。

合否照会

以下の二つの方法で合否を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多くながりにくい状態が予想されます。

その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。

また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ① 出願登録と同様に、本学ホームページから WEB 出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。
マイページへのログインには「ログイン ID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ② マイページにログインしたら、「合否照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URL を指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB 合否照会」バナーをクリックするか、下記の URL からアクセス

<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>



1

利用規約を確認し、「同意する」にチェックを入れて次ページに進みます。

2

受験番号と誕生日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3

合否結果が表示されます。

8 入学手続

(1) 入学手続方法および手続期間について

以下①～④の手続をそれぞれの期限までに完了する必要があります。期限までに手続が完了していない場合には、入学を認めません。

■① 入学金の納入（第一次手続）

② 授業料等の納入（第二次手続）または「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請

2025年12月5日（金）～12月19日（金）

* WEB 出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

* 「**高等教育の修学支援新制度**」を利用される場合、あらかじめ、日本学生支援機構（JASSO）に予約採用の申込手続きを行い、かつ、所定の期間内に別途、本学への申請手続が必要です。

申請した場合、授業料等（入学金は含みません）の納入は入学後になります。

■③ 必要書類の提出

④ 入学手続情報登録

2026年2月24日（火）～3月10日（火）

* 以下の書類を郵送（締切日必着）もしくは本学各学部事務室に持参してください。

・卒業証明書

* 上記期間内で WEB 出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。

掲載文をよく読み、登録を行ってください。

9 学部・学科・コース別 学校推薦型選抜案内

■経済学部 1・2部（経済学科・地域経済学科）（指定校制）

〔1〕趣 旨

北海道を中心とした地域経済の活性化を担う人材を育成することを目的に、経済・社会への問題意識が高く、学習意欲に富み、将来地域社会の発展に寄与する意欲と力をそなえた生徒を、本学が指定した全道の高等学校から受け入れるために学校推薦型選抜（指定校制）を行います。

※経済学部は「学部」単位での募集になります。学科（経済・地域経済）は1年次末に決定します。

〔2〕募集人員

1部 経済学部 62名（本学が指定した高等学校から指定した人数）

2部 経済学部 19名（本学が指定した高等学校から指定した人数）

ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受け入れ数はこれと異なることがあります。

〔3〕出願資格

本学が指定した高等学校の生徒であって、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

- (1) 経済・社会への問題意識が高く、将来北海道地域の発展に寄与する意欲を持ち、本学経済学部への入学を希望する者で、出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者
- (3) 出願時に「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者

〔4〕選抜方法

書類審査と口頭試問（集団面接形式）による選考のうえ判定します。

〔5〕出願書類

(1) 志願票（願書）

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

(2) 調査書

最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り

ます。

(3) 推薦書（様式1）

高等学校長が本学指定の様式に記入し、厳封したものに限り

ます。

※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。

※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

(4) 志望理由書・事前提出小論文（様式5）

出願にあたって、本学指定の様式を用いて、以下の2つのテーマについてそれぞれ所定の原稿用紙に400字程度記入し提出を求め

ます。

(a) 志望理由書：経済学部を志望した理由、および入学後の抱負

(b) 事前提出小論文：高校生活において、授業・課外活動や新聞・テレビ等のメディアや様々な自己の体験を通じて、

特に関心をもった社会・経済や地域の問題に関する意見

※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔6〕その他

- (1) 上記選抜方法により合否判定しますが、著しく不相当とみなされない限り合格とします。不合格と判定した場合には、その理由を受験生および高等学校にお知らせします。
 - (2) 本推薦型選抜において合格と認定された者が、入学手続きをしないか入学を辞退した場合、推薦依頼をとりやめることがあります。
 - (3) 本推薦型選抜において入学した者の成績が芳しくない場合、指定校の見直しをする場合があります。
 - (4) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を行います。
- ※(2)(3)のいずれの場合にも、詳細については、指定校宛に通知・連絡いたします。

■経営学部 1部 経営学科・経営情報学科、2部 経営学科（普通科系指定校制）

〔1〕趣 旨

学校推薦型選抜（普通科系指定校）は、高等学校長の推薦を踏まえて、経営あるいは経営情報に興味を持ち、充実した高校生活を送ってきた生徒を本学指定の高等学校から選抜するものです。本学部の卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針を踏まえた入学者受入れの方針に基づき、「学力の3要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価します。

〔2〕募集人員

1部 経営学科 17名（本学が指定した高等学校から指定した人数）
1部 経営情報学科 12名（本学が指定した高等学校から指定した人数）
2部 経営学科 16名（本学が指定した高等学校から指定した人数）
ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

〔3〕出願資格

1部

本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件に該当し、学校長の推薦がある者。
推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。

2部

本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件に該当し、学校長の推薦がある者。
推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。

〔4〕選抜方法

(1) 書類審査

- 調査書を活用し、学習成績の状況、出席状況、部活動やボランティア活動、留学・海外経験、取得資格・検定、表彰や顕彰等の記載事項を評価します。
- 推薦書を活用し、志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
- 志望理由書を活用し、入学希望理由や入学後に学びたい内容・計画、大学卒業後を見据えた目標等を評価します。また、経営、経済に関するニュースについての記述から、志願者の「知識」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

(2) 口頭試問

- 試験当日に口頭試問（集団面接形式）を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

〔5〕出願書類

(1) 志願票（願書）

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

(2) 調査書

最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り

(3) 推薦書（様式1）

高等学校長が本学指定の様式に記入し、厳封したものに限り

※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。

※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

(4) 志望理由書・事前提出小論文（様式5）

次の2つのテーマそれぞれについて所定の原稿用紙に書いてください。

(a) 志望理由書：本学部・学科を志望した理由、および入学後の抱負（入学後に学びたい内容・計画、大学卒業後を見据えた目標等）について800字程度で書いてください。

(b) 事前提出小論文：最近、新聞やテレビで報道されている経営、経済に関するニュースで、最も関心を持っていることと、それに対するあなたの意見を1,000字以上、1,200字未満で書いてください。

※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

(5) 実用英語技能検定（日本英語検定協会 実施）準1級以上の合格を証明する書類

実用英語技能検定準1級以上の資格要件で出願の場合は、準1級以上の合格を証明する書類（写しでも可）を提出してください。写しを提出する場合は、それらに誤りがないことを証明する旨の高等学校長の文書（様式2）を添えてください。

※様式2については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

〔6〕入学にあたっての留意点

(1) 本推薦型選抜において合格と認定された者が入学手続きをしないか、入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合、次年度以降において高等学校に推薦の依頼を取りやめることがあります。

(2) 本推薦型選抜の入学者については、入学後の学生生活に関する個人情報を出身高等学校へ提供することがあります。情報の利用目的、情報の提供先、提供する情報、提供の手段または方法は下記のとおりです。

①情報の利用目的：大学と指定校との間の学生情報の共有と教育上の連携

②情報の提供先：出身校の進路指導担当者

③提供する個人情報：

ア) 氏名／学科／学年／在籍状況

イ) 学業成績表記載項目（修得単位／GPA／所属ゼミ）

ウ) 大学卒業後の進路

エ) 中途退学した場合にはその事実と事由

④提供の手段または方法：出身校に書面または口頭にて状況を説明することがあります。

なお、入学後、本人からの申し出があれば、上記の提供を停止します。

〔7〕その他

(1) 上記選抜方法により合否を判定します。不合格と判定した場合には、その理由を受験生および高等学校にお知らせします。

(2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■経営学部 1部 経営学科・経営情報学科、2部 経営学科（商業科系指定校制）

〔1〕趣 旨

学校推薦型選抜（商業科系指定校）は、高等学校長の推薦を踏まえて、経営あるいは経営情報に興味を持ち、充実した高校生活を送ってきた生徒を本学指定の高等学校から選抜するものです。本学部の卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針を踏まえた入学受入れの方針に基づき、「学力の3要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価します。

〔2〕募集人員

- 1部 経営学科 2名（本学が指定した高等学校から指定した人数）
- 1部 経営情報学科 2名（本学が指定した高等学校から指定した人数）
- 2部 経営学科 5名（本学が指定した高等学校から指定した人数）

ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

〔3〕出願資格

1部

本学が指定した高等学校の生徒であり、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者。

- (1) 本学経営学部1部（昼間部）の指定された学科への入学を希望する者で、向学心に富み、出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等学校在学中、例えば勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者
- (3) 学習成績の状況について、出願時に「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者
- (4) (公財)全国商業高等学校協会（全商）が実施する各種検定試験1級（簿記〔会計〕、簿記〔原価計算〕、情報処理〔プログラミング部門〕、情報処理〔ビジネス情報部門〕、ビジネス文書、商業経済、ビジネス計算実務（または、珠算・電卓）、英語）ならびに日本商工会議所（日商）が実施する簿記検定試験2級以上、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定2級以上、GTEC「検定版（Advancedタイプ、4技能）」870点以上【オフィシャルスコアに限る】、GTEC「CBTタイプ」870点以上において、下の①から④のいずれかに該当する者
 - ①出願時に3種目以上合格している者。3種目の組み合わせは問いません
 - ②日商簿記2級、全商簿記1級〔会計〕、情報処理1級〔プログラミング部門〕、商業経済1級のうち、どれか一つを取得している場合は、出願時に2種目以上合格している者。ただし、全商簿記1級〔会計のみ合格〕と日商簿記2級との組み合わせ、または全商簿記1級〔原価計算のみ合格〕と日商簿記2級との組み合わせは認めません。
 - ③日商簿記1級を取得している者
 - ④全商簿記実務検定（会計・原価計算）1級を取得している者

2部

本学が指定した高等学校の生徒であり、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者。

- (1) 本学経営学部2部（夜間部）の指定された学科への入学を希望する者で、向学心に富み、出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等学校在学中、例えば勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者
- (3) 学習成績の状況について、出願時に「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者
- (4) (公財)全国商業高等学校協会（全商）が実施する各種検定試験1級（簿記〔会計〕、簿記〔原価計算〕、情報処理〔プログラミング部門〕、情報処理〔ビジネス情報部門〕、ビジネス文書、商業経済、ビジネス計算実務（または、珠算・電卓）、英語）ならびに日本商工会議所（日商）が実施する簿記検定試験2級以上、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定2級以上、GTEC「検定版（Advancedタイプ、4技能）」870点以上【オフィシャルスコアに限る】、GTEC「CBTタイプ」870点以上において、下の①から④のいずれかに該当する者
 - ①出願時に3種目以上合格している者。3種目の組み合わせは問いません
 - ②日商簿記2級、全商簿記1級〔会計〕、情報処理1級〔プログラミング部門〕、商業経済1級のうち、どれか一つを取得している場合は、出願時に2種目以上合格している者。ただし、全商簿記1級〔会計のみ合格〕と日商簿記2級との組み合わせ、または全商簿記1級〔原価計算のみ合格〕と日商簿記2級との組み合わせは認めません。
 - ③日商簿記1級を取得している者
 - ④全商簿記実務検定（会計・原価計算）1級を取得している者

【(4)の出願資格早見表】

以下の条件のうち、いずれかに該当する者

- ①下記の表の検定試験で3種目以上合格している者（組み合わせは問いません）
- ②※印の種目の一つ以上含む場合は2種目合格している者

日商試験	※簿記2級 注：全商簿記1級（会計・原価計算）との組み合わせは不可
全商試験 1級	※簿記（会計） 注：日商簿記2級との組み合わせは不可
	簿記（原価計算） 注：日商簿記2級との組み合わせは不可
	※情報処理（プログラミング部門）
	情報処理（ビジネス情報部門）
	ビジネス文書
	※商業経済
実用英語技能検定	ビジネス計算実務（または、珠算・電卓）
	英語
GTEC「検定版（Advancedタイプ、4技能）」 ※オフィシャルスコアに限る	2級以上
GTEC（CBTタイプ）	870点以上
GTEC（CBTタイプ）	870点以上

③および④日商簿記検定1級、全商簿記実務検定（会計・原価計算）1級はそれのみで推薦基準を満たしているものとみなす

〔4〕選抜方法

(1) 書類審査

- ・調査書を活用し、学習成績の状況、出席状況、部活動やボランティア活動、留学・海外経験、取得資格・検定、表彰や顕彰等の記載事項を評価します。
- ・推薦書を活用し、志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
- ・志望理由書を活用し、入学希望理由や入学後に学びたい内容・計画、大学卒業後を見据えた目標等を評価します。また、経営、経済に関するニュースについての記述から、志願者の「知識」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

(2) 口頭試問

- ・試験当日に口頭試問（集団面接形式）を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

〔5〕出願書類

(1) 志願票（願書）

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

(2) 調査書

最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り

(3) 推薦書（様式1）

高等学校長が本学指定の様式に記入し、厳封したものに限り

※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。

※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

(4) 志望理由書・事前提出小論文（様式5）

次の2つのテーマそれぞれについて所定の原稿用紙に書いてください。

記入の方法については、記入例を参照してください。

(a) 志望理由書：本学部・学科を志望した理由、および入学後の抱負（入学後に学びたい内容・計画、大学卒業後を見据えた目標等）について800字程度で書いてください。

(b) 事前提出小論文：最近、新聞やテレビで報道されている経営、経済に関するニュースで、最も関心を持っていることについて1,000字以上1,200字未満で書いてください。

※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

(5) 各種試験証明書

全商検定試験1級、日商簿記検定試験2級、実用英語技能検定試験2級以上の合格証書の写し、またGTECについては、オフィシャルスコア証明書「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の写しを提出してください。全商1級、日商簿記2級、英検2級以上に合格したもの、GTECについては870点以上のもの全てについて提出してください。なお、それらに誤りがないことを証明する旨の高等学校長の文書（様式2）を添えてください。

※様式2については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

〔6〕入学にあたっての留意点

(1) 本推薦型選抜において合格と認定された者が入学手続きをしないか、入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合、次年度以降において高等学校に推薦の依頼を取りやめることがあります。

(2) 本推薦型選抜の入学者については、入学後の学生生活に関する個人情報を出身高等学校へ提供することがあります。情報の利用目的、情報の提供先、提供する情報、提供の手段または方法は下記のとおりです。

①情報の利用目的：大学と指定校との間の学生情報の共有と教育上の連携

②情報の提供先：出身校の進路指導担当者

③提供する個人情報：

ア) 氏名／学科／学年／在籍状況

イ) 学業成績表記載項目（修得単位／GPA／所属ゼミ）

ウ) 大学卒業後の進路

エ) 中途退学した場合にはその事実と事由

④提供の手段または方法：出身校に書面または口頭にて状況を説明することがあります。

なお、入学後、本人からの申し出があれば、上記の提供を停止します。

〔7〕その他

(1) 上記選抜方法により可否を判定します。不合格と判定した場合には、その理由を受験生および高等学校にお知らせします。

(2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■法学部 1・2部（法律学科・政治学科）（指定校制）

〔1〕趣 旨

本推薦型選抜制度は、本学指定の高等学校から、学業と学業以外の活動との調和のとれた優秀な生徒を推薦していただく選抜制度です。入学者受入方針に基づき、正義・公平の実現に関心をもつと同時に法的・政治的な問題解決を学ぶ意欲の高い生徒を求めています。

〔2〕募集人員

1部 法学部 71名（本学が指定した高等学校から指定した人数）

2部 法学部 41名（本学が指定した高等学校から指定した人数）

ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受け入れ数はこれと異なることがあります。

※法学部は「学部」単位での募集となります。学科（法律・政治）は1年次末に決定します。

〔3〕出願資格

1部

本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件に該当し、学校長の推薦がある者。推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。

2部

本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件に該当し、学校長の推薦がある者。

推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。

なお、専願制ですが、本学一般選抜で法学部1部の受験を希望する者は、受験を認めます。

〔4〕選抜方法

「事前提出小論文」と書類審査に基づいて合否判定を行うため、試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。ただし、テーマから外れた小論文が提出された場合、高校側に連絡し、再提出してもらうことがあります。

不合格と判定した場合には、その理由を高等学校に通知・説明します。

〔5〕出願書類

(1) 志願票（願書）

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

(2) 調査書

最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限りま

(3) 推薦書（様式1）

高等学校校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りま

※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。

※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

(4) 志望理由書・事前提出小論文

次の2つのテーマについて、それぞれ指定の字数で、指定の原稿用紙（様式5）を用いて作成してください。

(a) 志望理由書：法学部を志望した理由、および入学後の抱負（入学後に学びたい内容・計画、大学卒業後を見据えた目標等）（800字程度）

(b) 事前提出小論文：高校生活において、授業・課外活動や新聞・テレビ等のメディア、様々な自己の体験等を通じて、特に関心をもった法や政治に関するニュース、およびそれに対するあなたの意見（1,000字以上1,200字未満）

※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔6〕その他

(1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

(2) 合格と認定された者が入学手続きをしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼を取りやめることがあります。

(3) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

(4) 入学前教育を実施する際は、必要な業務を業者（以下、「受託業者」という）に委託することがあります。この場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限定して、知り得た個人情報を提供することがあります。

■人文学部 1・2部 日本文化学科・英米文化学科（指定校制）

〔1〕趣 旨

本推薦型選抜は、本学部の教育理念を理解し、日本文化あるいは英米文化に関心を持ち、向学心に富んだ生徒を推薦していただく入学者選抜制度です。

〔2〕募集人員

1部 日本文化学科	20名	} (各学科ごとに本学が指定した高等学校から1名の推薦)
1部 英米文化学科	20名	
2部 日本文化学科	5名	} (各学科ごとに本学が指定した高等学校から1名の推薦)
2部 英米文化学科	5名	

※ただし、指定校からの出願数に変動があるため、実際の受け入れ人数と異なる場合があります。

〔3〕出願資格

本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件に該当し、学校長の推薦がある者。推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。

〔4〕選抜方法

合否は、書類審査と口頭試問による選考の上、判定します。

〔5〕出願書類

(1) 志願票（願書）

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

(2) 調査書

最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り

ます。

(3) 推薦書（様式1）

高等学校長が本学指定の様式に記入し、厳封したものに限り

ます。
※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。

※様式1については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

(4) 志望理由書・事前提出小論文（様式5）

次の2つのテーマについて、志願者本人が所定の「原稿用紙」に書いてください。

(a) 志望理由書：本学部・学科を志望した理由、および入学後の抱負（400字以内）。

(b) 事前提出小論文：これまで読んだ本のうち、もっとも印象に残っているものについての感想（800字以内）。

※様式5については本学ホームページ (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>) よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔6〕その他

判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

合格者には、入学までの期間に入学前教育の機会を提供します。

■工学部 社会環境工学科 社会環境コース (公募制)

〔1〕趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、本学工学部社会環境工学科社会環境コースでは「普通科」、「理数科」、または「総合学科」を設置する高等学校、および専門高校を対象に学校推薦型選抜(公募制)を実施します。

〔2〕募集人員

2名(1高等学校から複数名の推薦可)

〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科(「土木系」、「建設系」、「農業土木系」等の社会基盤関連学科)』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校の成績と単位数について
 - イ) 「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒
出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、かつ「数学」、「理科」、「情報」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した学習成績の状況(小数点以下第2位四捨五入)が出願時に3.5以上の者、ただし「数学」(「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む)10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者
 - ロ) 『専門教育を主とする学科(「土木系」、「建設系」、「農業土木系」等の社会基盤関連学科)』に在学する生徒
出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、「数学」7単位以上(「工業数理基礎」を含むことができる)および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者
- (3) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、小論文、および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。なお、口頭試問時において、調査書等の内容についてお尋ねすることがあります。また、小論文は、特定のテーマに関して当日作成していただきます(800字程度、60分)。

〔5〕配 点

- (1) 調査書による評点 (100点満点)
- (2) 小論文 (100点満点)
- (3) 口頭試問(志望理由書含む) (120点満点)

〔6〕出願書類

- (1) 志願票(願書)
WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票(願書)を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」(6~9頁)をご参照ください。
- (2) 調査書
最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り
ます。
- (3) 推薦書(様式1)
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限り
ます。
※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価につ
いて記載してください。
※様式1については本学ホームページ(<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>)よりダ
ウンロードし、パソコン等で作成してください。
- (4) 志望理由書(様式5)
指定原稿用紙に社会環境工学科社会環境コースを志望する理由(600字程度)を書いて提出してください。
出願者自筆のものに限り
ます。
※様式5については本学ホームページ(<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>)よりダ
ウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。
その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔7〕そ の 他

- (1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■工学部 社会環境工学科 環境情報コース（公募制）

〔1〕趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、本学工学部社会環境工学科環境情報コースでは「普通科」、「理数科」、または「総合学科」を設置する高等学校、および専門高校を対象に学校推薦型選抜（公募制）を実施します。

〔2〕募集人員

2名（1 高等学校から複数名の推薦可）

〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

(1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者

(2) 高等学校の成績と単位数について

イ) 「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒

出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、かつ「数学」、「理科」、「情報」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した学習成績の状況（小数点以下第2位四捨五入）が出願時に3.5以上の者、ただし「数学」（「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む）10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者

ロ) 『専門教育を主とする学科』に在学する生徒

出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、「数学」7単位以上（「工業数理基礎」を含むことができる）および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者

(3) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、小論文、および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。なお、口頭試問時において、調査書等の内容についてお尋ねすることがあります。また、小論文は、特定のテーマに関して当日作成していただきます（800字程度、60分）。

〔5〕配 点

(1) 調査書による評点 (100点満点)

(2) 小論文 (100点満点)

(3) 口頭試問（志望理由書含む） (120点満点)

〔6〕出願書類

(1) 志願票（願書）

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

(2) 調査書

最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り

(3) 推薦書（様式1）

高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限り

※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。

※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

(4) 志望理由書（様式5）

指定原稿用紙に社会環境工学科環境情報コースを志望する理由（600字程度）を書いて提出してください。

出願者自筆のものに限り

※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔7〕その他

(1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

(2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■工学部 建築学科（公募制）

〔1〕趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、入学者選抜における学力偏重の弊害を改め、多様な能力と豊かな個性を持つ生徒を選抜して大学教育の活性化を図ることが求められています。

本学工学部建築学科では、高等学校の勉学において優秀な成績を収め、建築をはじめとして人々が生きる環境の全般に強い興味を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、学校推薦型選抜（公募制）を行います。

〔2〕募集人員

2名（1 高等学校から複数名の推薦可）

〔3〕出願資格

高等学校に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
- (2) 出願時に「全体の学習成績の状況」が3.7以上の者
- (3) 出願時に主要6教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語）のうち1教科以上の学習成績の状況が4.0以上の者
- (4) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書・事前提出小論文の内容、および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

〔5〕配 点

- (1) 調査書による評点 (100点満点)
 - (2) 志望理由書・事前提出小論文 (150点満点)
- ※内容については「〔6〕出願書類」の(4)をご参照ください。
- (3) 口頭試問（発表と質疑応答を含む） (150点満点)

※発表では、事前提出小論文の内容について、図表やイラストなどを用いて3分間程度で説明して下さい。

図表やイラストはA3用紙1枚・片面（縦横不問）にまとめ、原本1部とコピー3部の合計4部を持参してください。

〔6〕出願書類

- (1) 志願票（願書）
WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。
- (2) 調査書
最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り
ます。
- (3) 推薦書（様式1）
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限り
ます。
※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価に
ついて記載してください。
※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダ
ウンロードし、パソコン等で作成してください。
- (4) 志望理由書・事前提出小論文（様式5）
次の①と②のテーマについて、本学所定の書式を用いて作成してください。出願者自筆のものに限り
ます。
①志望理由書：「高校生活の中で主体的に協働して取り組んだ学習や活動、および入学後の抱負」（1,200字程度）
②事前提出小論文：建築の三大要素といわれる「強・用・美」についての視点を踏まえた、「これからの建築に対す
るご自身の考え・思い」（1,200字程度）
※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダ
ウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。
その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔7〕そ の 他

- (1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■工学部 電子情報工学科 (公募制)

(1) 趣 旨

受験機会の多様化、人材の育成といった時代の要請に応えるべく、「普通科」、「理数科」、「総合学科」や「電気科」、「電子科」、「情報技術科」などの『専門教育を主とする学科』において優秀な成績を取め、「数学」や「理科」に強い興味を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、学校推薦型選抜(公募制)を行います。

(2) 募集人員

2名(1高等学校から複数名の推薦可)

(3) 出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または、『専門教育を主とする学科(「電気科」、「電子科」、「情報技術科」など)』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校において、「数学」と「理科」の教科に関して、次に定める単位を修得または修得見込みの者
「数学」：9単位以上(『専門教育を主とする学科』の場合、「工業数理基礎」を含むことができる)
「理科」：5単位以上(ただし、「物理基礎」または「理数物理」を含むこと)
- (3) 高等学校の成績が優秀な者で、出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、かつ、
イ)「普通科」、「理数科」または「総合学科」の場合、「数学」の学習成績の状況が出願時に3.7以上、かつ「理科」と「情報」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した学習成績の状況(小数点以下第2位四捨五入)が出願時に3.7以上の者
ロ)『専門教育を主とする学科』の場合、「専門教育に関する教科」の学習成績の状況が出願時に3.7以上の者
- (4) 課外活動、社会活動などにおいて積極的かつ主体的に行動し、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

なお、要件(4)については、次の点を目安に推薦してください。

- ①「活動」には、校内においては、生徒会活動、学級役員活動、部活動、校外においては、ボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動などが含まれます。
- ②「積極的かつ主体的な活動」とは、継続的に活動し、その「活動」で中心的な役割を果たしたことや、相当な成果をあげたことなどが目安になります。

(4) 選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した事前提出小論文の内容、および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

(5) 配 点

- | | |
|--------------|----------|
| (1) 調査書による評点 | (100点満点) |
| (2) 事前提出小論文 | (100点満点) |
| (3) 口頭試問 | (120点満点) |

(6) 出願書類

- (1) 志願票(願書)
WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票(願書)を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」(6~9頁)をご参照ください。
- (2) 調査書
最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り
ます。
- (3) 推薦書(様式1)
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限り
ます。
※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価につ
いて記載してください。
※様式1については本学ホームページ(<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>)よりダ
ウンロードし、パソコン等で作成してください。
- (4) 事前提出小論文(様式5)
最近のエレクトロニクスやITなどの技術、もしくはその他の科学技術の中から興味を持ったテーマを選択し、なぜそ
れに興味を持ったのか、それに関連してこれまで主体的にどのような学習・活動を行ったか、また大学でどのようなこ
とを学びたいと考えているかなどを1,000字程度で述べてください。この小論文は指定原稿用紙を用いて作成してくだ
さい。出願者自筆のものに限り
ます。
※様式5については本学ホームページ(<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>)よりダ
ウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。
その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

(7) その他

- (1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■工学部 生命工学科（公募制）

〔1〕趣 旨

受験機会の多様化、人材の育成といった時代の要請に応えるべく、「普通科」、「理数科」、「総合学科」や『専門教育を主とする学科』に学ぶ生徒で、「数学」や「理科」に強い興味を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、学校推薦型選抜（公募制）を行います。

〔2〕募集人員

2名（1 高等学校から複数名の推薦可）

〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校において、「数学」と「理科」の教科に関して、次に定める単位を修得または修得見込みの者
「数学」：9 単位以上（『専門教育を主とする学科』の場合、「工業数理基礎」を含むことができる）
「理科」：5 単位以上
- (3) 高等学校の成績が優秀な者で、出願時に「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上で、かつ、
イ) 「普通科」、「理数科」または「総合学科」の場合、「数学」と「情報」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した学習成績の状況（小数点以下第 2 位四捨五入）が出願時に 3.5 以上、および「理科」の学習成績の状況が出願時に 3.5 以上の者
ロ) 『専門教育を主とする学科』の場合、「専門教育に関する教科」の学習成績の状況が出願時に 3.5 以上の者
- (4) 高等学校在学期間中、課外活動、社会活動などにおいて積極的かつ主体的に行動し、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

なお、要件（4）については、次の点を目安に推薦してください。

- ①「活動」には、校内においては、生徒会活動、学級役員活動、部活動、校外においては、ボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動などが含まれます。
- ②「積極的かつ主体的な活動」とは、その「活動」で中心的な役割を果たしたことや、相当な成果をあげたことなどが目安になります。

〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した事前提出小論文の内容、および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

〔5〕配 点

- | | |
|--------------|-----------|
| (1) 調査書による評点 | (100 点満点) |
| (2) 事前提出小論文 | (100 点満点) |
| (3) 口頭試問 | (120 点満点) |

〔6〕出願書類

- (1) 志願票（願書）
WEB 出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」（6～9 頁）をご参照ください。
- (2) 調査書
最終学年の第 1 学期までの評定が記載されたもので、2025 年 10 月 1 日以降に学校長が作成し、厳封したものに限りまます。
- (3) 推薦書（様式 1）
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りまます。
※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。
※様式 1 については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。
- (4) 事前提出小論文（様式 5）
最近の生命科学や情報テクノロジーあるいはその融合技術の中から興味を持ったテーマを選択し、なぜそれに興味を持ったのか、それに関連してこれまで主体的にどのような学習・活動（実験や観察、「ものづくり」を含む）を行ったか、また大学でどのようなことを学びたいと考えているかなどを 1,000 字程度で述べてください。この小論文は指定原稿用紙を用いて作成してください。出願者自筆のものに限りまます。
※様式 5 については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4 サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。
その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔7〕その他

- (1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■工学部 社会環境工学科 社会環境コース（指定校制）

〔1〕趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、本学工学部社会環境工学科社会環境コースでは「普通科」、「理数科」または「総合学科」を設置する高等学校、および専門高校を対象に学校推薦型選抜（指定校制）を実施します。学校推薦型選抜（指定校制）は本学科の指定する高等学校から、充実した高校生活を送り本学の社会環境コースに興味を持つ生徒を推薦していただくものです。

〔2〕募集人員

7名（本学が指定した高等学校から社会環境コースと環境情報コースを合わせて複数名の推薦可）
ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科（「土木系」、「建設系」、「農業土木系」等の社会基盤関連学科）』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校の成績と単位数について
 - イ) 「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒
出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、かつ「数学」、「理科」、「情報」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した学習成績の状況（小数点以下第2位四捨五入）が出願時に3.5以上の者、ただし「数学」（「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む）10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者
 - ロ) 『専門教育を主とする学科（「土木系」、「建設系」、「農業土木系」等の社会基盤関連学科）』に在学する生徒
出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、「数学」7単位以上（「工業数理基礎」を含むことができる）および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者
- (3) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書、および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。なお、口頭試問時において、調査書等の内容についてお尋ねすることがあります。

〔5〕出願書類

- (1) 志願票（願書）
WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。
- (2) 調査書
最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り
ます。
- (3) 推薦書（様式1）
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限り
ます。
※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。
※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。
- (4) 志望理由書（様式5）
指定原稿用紙に社会環境工学科社会環境コースを志望する理由（1,000字程度）を書いて提出してください。
出願者自筆のものに限り
ます。
※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。
その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔6〕推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

- (1) 合格と認定された者が入学手続をしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。
- (2) 3年続けて本制度による入学者がいない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。
- (3) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

〔7〕その他

- (1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■工学部 社会環境工学科 環境情報コース（指定校制）

〔1〕趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、本学工学部社会環境工学科環境情報コースでは「普通科」、「理数科」または「総合学科」を設置する高等学校、および専門高校を対象に学校推薦型選抜（指定校制）を実施します。学校推薦型選抜（指定校制）は本学科の指定する高等学校から、充実した高校生活を送り本学の環境情報コースに興味を持つ生徒を推薦していただくものです。

〔2〕募集人員

5名（本学が指定した高等学校から環境情報コースと社会環境コースを合わせて複数名の推薦可）
ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

(1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者

(2) 高等学校の成績と単位数について

イ) 「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒

出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、かつ「数学」、「理科」、「情報」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した学習成績の状況（小数点以下第2位四捨五入）が出願時に3.5以上の者、ただし「数学」（「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む）10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者

ロ) 『専門教育を主とする学科』に在学する生徒

出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、「数学」7単位以上（「工業数理基礎」を含むことができる）および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者

(3) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書、および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。なお、口頭試問時において、調査書等の内容についてお尋ねすることがあります。

〔5〕出願書類

(1) 志願票（願書）

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

(2) 調査書

最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り

(3) 推薦書（様式1）

高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限り

※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。

※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

(4) 志望理由書（様式5）

指定原稿用紙に社会環境工学科環境情報コースを志望する理由（1,000字程度）を書いて提出してください。

出願者自筆のものに限り

※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔6〕推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

(1) 合格と認定された者が入学手続をしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。

(2) 3年続けて本制度による入学者がいない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。

(3) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

〔7〕その他

(1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

(2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■工学部 建築学科（指定校制）

〔1〕趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、入学者選抜における学力偏重の弊害を改め、多様な能力と豊かな個性を持つ生徒を選抜して大学教育の活性化を図ることが求められています。

本学工学部建築学科では、学業と課外活動の両面で充実した高校生活を過ごし、かつ建築に興味を持ち、大学においても同様に充実した学生生活を送ることが期待できる生徒を積極的に受け入れるため、学校推薦型選抜（指定校制）を行います。

〔2〕募集人員

23名（各高等学校からの推薦可能人数は本学が指定）

ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科（「建築科」、「建設科」）』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
- (2) 出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者
- (3) 高等学校在学期間を通して、積極的かつ主体的に体育活動、文化・文芸・技術活動あるいは生徒会活動などを行い、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

なお、(3)の「活動」とは、校内および校外での活動をさします。次の点を目安にしてください。

- ①校内の活動では部活動、生徒会活動および学級の役員活動が対象となります。いずれの場合も、その活動をもり立てたこと、あるいはその活動から相当の成果をあげたと認められることが目安となります。
- ②校外の活動ではボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動等が対象となります。ボランティア活動については、その内容と社会的な貢献度が総合的に評価できると認められること、体育活動、文化・文芸・技術活動等については、相当の成果をあげたと認められることが目安となります。

〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

〔5〕出願書類

(1) 志願票（願書）

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

(2) 調査書

最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り

(3) 推薦書（様式1）

高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限り

※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。

※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。

(4) 志望理由書（様式5）

次のテーマについて、本学所定の書式を用いて作成してください。出願者自筆のものに限り

「高校生活の中で自分が主体的に協働して取り組んだ学習や活動、および本学科を志望した理由と入学後の抱負」

（1,200字程度）

※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。

その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔6〕推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

- (1) 合格と認定された者が入学手続をしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。
- (2) 3年続けて本制度による入学者がいない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。
- (3) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

〔7〕その他

- (1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします（不合格と判定した場合には、その理由を高等学校に通知・説明します）。
- (2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■工学部 電子情報工学科 (指定校制)

(1) 趣 旨

受験機会の多様化、人材の育成といった時代の要請に応えるべく、「普通科」、「理数科」、「総合学科」や「電気科」、「電子科」、「情報技術科」などの『専門教育を主とする学科』において優秀な成績を取め、「数学」や「理科」に強い興味を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、学校推薦型選抜（指定校制）を行います。

(2) 募集人員

11名（本学が指定した高等学校から複数名の推薦可）

ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

(3) 出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科（「電気科」、「電子科」、「情報技術科」など）』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等学校において、「数学」と「理科」の教科に関して、次に定める単位を修得または修得見込みの者
「数学」：9単位以上（『専門教育を主とする学科』の場合、「工業数理基礎」を含むことができる）
「理科」：5単位以上（ただし、「物理基礎」または「理数物理」を含むこと）
- (3) 高等学校の成績が優秀な者で、出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、かつ、
イ) 「普通科」、「理数科」または「総合学科」の場合、「数学」の学習成績の状況が出願時に3.7以上、かつ「理科」と「情報」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した学習成績の状況（小数点以下第2位四捨五入）が出願時に3.7以上の者
ロ) 『専門教育を主とする学科』の場合、「専門教育に関する教科」の学習成績の状況が出願時に3.7以上の者
- (4) 課外活動、社会活動などにおいて積極的かつ主体的に行動し、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

なお、要件(4)については、次の点を目安に推薦してください。

- ①「活動」には、校内においては、生徒会活動、学級役員活動、部活動、校外においては、ボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動などが含まれます。
- ②「積極的かつ主体的な活動」とは、継続的に活動し、その「活動」で中心的な役割を果たしたことや、相当な成果をあげたことなどが目安になります。

(4) 選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

(5) 出願書類

- (1) 志願票（願書）
WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」（6～9頁）をご参照ください。
- (2) 調査書
最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り
ます。
- (3) 推薦書（様式1）
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限り
ます。
※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。
※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。
- (4) 志望理由書（様式5）
指定原稿用紙に自分が主体的に取り組んだ学習・活動および電子情報工学科を志望する理由（600字程度）を書いて提出してください。出願者自筆のものに限り
ます。
※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。
その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

(6) 推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

- (1) 合格と認定された者が入学手続きをしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。
- (2) 3年続けて本制度による入学者がいない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。
- (3) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

(7) その他

- (1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

■工学部 生命工学科（指定校制）

〔1〕趣 旨

受験機会の多様化、人材の育成といった時代の要請に応えるべく、「普通科」、「理数科」、「総合学科」や『専門教育を主とする学科』に学ぶ生徒で、「数学」や「理科」に強い興味を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、学校推薦型選抜（指定校制）を行います。

〔2〕募集人員

16名（本学が指定した高等学校から複数名の推薦可）

ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校において、「数学」と「理科」の教科に関して、次に定める単位を修得または修得見込みの者
「数学」：9単位以上（『専門教育を主とする学科』の場合、「工業数理基礎」を含むことができる）
「理科」：5単位以上
- (3) 高等学校の成績が優秀な者で、出願時に「全体の学習成績の状況」が3.5以上で、かつ、
イ) 「普通科」、「理数科」または「総合学科」の場合、「数学」と「情報」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した学習成績の状況（小数点以下第2位四捨五入）が出願時に3.5以上、および「理科」の学習成績の状況が出願時に3.5以上の者
ロ) 『専門教育を主とする学科』の場合、「専門教育に関する教科」の学習成績の状況が出願時に3.5以上の者
- (4) 高等学校在学期間中、課外活動、社会活動などにおいて積極的かつ主体的に行動し、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

なお、要件（4）については、次の点を目安に推薦してください。

- ①「活動」には、校内においては、生徒会活動、学級役員活動、部活動、校外においては、ボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動などが含まれます。
- ②「積極的かつ主体的な活動」とは、その「活動」で中心的な役割を果たしたことや、相当な成果をあげたことなどが目安になります。

〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

〔5〕出願書類

- (1) 志願票（願書）
WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続きまでの流れ」（6～9頁）をご参照ください。
- (2) 調査書
最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り
ます。
- (3) 推薦書（様式1）
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限り
ます。
※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。
※様式1については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、パソコン等で作成してください。
- (4) 志望理由書（様式5）
指定原稿用紙に、自分が主体的に取り組んだ学習・活動について、および生命工学科を志望する理由（1,000字程度）を書いて提出してください。出願者自筆のものに限り
ます。
※様式5については本学ホームページ（<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。
その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。

〔6〕推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

- (1) 合格と認定された者が入学手続きをしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。
- (2) 3年続けて本制度による入学者がいない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。
- (3) 本推薦型選抜において入学した者の成績が芳しくない場合、指定校の見直しをする場合があります。
- (4) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

〔7〕その他

- (1) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (2) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

VI. 特別選抜（課題小論文）要項

1 趣 旨

この制度は、学力試験ではなく、指定された課題に関して作成した小論文の内容とそれに関する口頭試問により総合的に選抜を行うものです。入学者受入方針に基づき、法や政治を通じた解決の対象となりうる社会問題に好奇心をもちつつ、他人の意見に耳を傾け、論理的に解決策を考えることのできる人を選抜する制度です。

2 募集人員

法学部（法律学科・政治学科） 2部 30名

*「学部」単位での募集となります。学科（法律・政治）は1年次末に決定します。

3 出願資格

- 下記の①から④のいずれかに該当する者
 - 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
 - 出願する年度の前年度に高等学校を卒業した者
 - 出願する年度に高等学校卒業程度認定試験に合格した者または合格見込みの者（出願する年度の第2回試験を受験する者の出願を認める）
 - 出願する年度の前年度に高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- 「全体の学習成績の状況」についての条件は特に設けません。高等学校長の推薦を要しません。また、専願制ではありません。

4 出願手続

- 出願期間
2025年11月1日（土）～〔郵送受付〕11月10日（月）消印有効・〔大学窓口受付〕11月11日（火）午後4時
※日曜・祝日は大学窓口受付は行いません。また、受験票については17～18頁の4受験票についてを参照してください。
※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着とします。
- 出願書類
 - ①志願票（願書）
WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。
 - ②調査書
最終学年の第1学期までの評定が記載されたもので、2025年10月1日以降に学校長が作成し、厳封したものに限り（既に出願時に卒業・修了している場合、発行日は問いませんが、卒業後・修了後のものを提出してください）。また、高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）に合格した者は、合格成績証明書（合格証明書は不可）、合格見込みの者は、合格見込成績証明書を提出してください。（出願する年度の第2回試験を受験する者は大学入学共通テスト出願資格申告書の写しを提出してください）。
 - ③課題小論文

[1] テーマ	同性婚と憲法24条
[2] 課題	近時、日本においていわゆる同性婚訴訟が複数提起されている。そこでは、民法、戸籍法の規定が同性婚を認めていないことは憲法13条、14条、24条に違反するかが争われている。同性愛者が婚姻による利益を享受できないという問題を解決するためには、憲法24条をどのように解釈、適用するかが一つの鍵となる。以下に掲げる〈参考文献〉を読み、(1)～(4)の設問に答える形で論述しなさい。 (1) 日本の同性婚裁判における「札幌地裁（札幌地判令和3年3月17日）」および「東京地裁（東京地判令和4年11月30日）」の判決に対する著者の見解について述べなさい。 (2) 憲法24条の文言を乗り越えるためのヒントとして挙げられている米国及び日本の最高裁判決を1つずつ取り上げて、それらに対する著者の見解について述べなさい。 (3) 同性愛者が被っている不利益を解消するために著者が提案している2つの憲法解釈について述べなさい。 (4) 上記(1)～(3)で示した著者の見解・提案について、あなたの考えを述べなさい。
[3] 参考文献	千葉勝美『同性婚と司法』（岩波新書・2024年）
[4] 留意点	1. [3]に掲げた参考文献を必ず読み、それを参考に小論文を作成してください。参考文献以外の文献も参考にしてください。参考にした文献は全て小論文の末尾の参考文献欄に明記してください。直接引用する場合は、どの文献の何ページから引用したか、必ず注記してください。 2. 小論文の字数は2,000字程度が目安です。小論文は、指定原稿用紙（様式6）を用いて、原稿用紙に記載されている記入上の注意に従って作成してください。小論文には、「小論文題名」と「氏名」を明記してください。「小論文題名」は各自でつけてください。 様式6については本学ホームページ（ https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html ）よりダウンロードし、「A4サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。 3. 合否の評価は、[2]の(1)(2)(3)(4)のそれぞれについて、小論文の内容と口頭試問の結果により、総合的に行います。口頭試問では、提出された小論文に関する質問が中心となります。

5 選抜概要

- (1) 試験日
2025年11月23日(日)
- (2) 選抜方法
 - ①書類審査(出願資格の確認)
 - ②小論文(出願時提出)
 - ③小論文に関する口頭試問(対面で口頭試問を行う場合は、提出された小論文の写しを渡します)
- (3) 試験場
北海学園大学 豊平校舎(試験場案内図は89頁参照)

6 入学検定料の支払い・出願上の注意について

14~16頁を参照して手続きを行ってください。

7 出願方法と送付先

- (1) 出願書類は市販の角2型封筒を用意し、志願票(願書)その他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、「速達簡易書留」で郵送してください。
- (2) 出願書類送付先
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 北海学園大学 入試部入試課

8 受験上の注意

- (1) 試験について
 - ①試験会場は、本学の豊平校舎となります。試験場およびその周辺での駐車は禁止します。
 - ②試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
 - ③試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
 - ④口頭試問は、指定時刻に遅れた場合は受けられないことがあります。
 - ⑤携帯電話およびこれに類するものを試験場に持ち込まれる場合は、電源を切り、カバンの中に入れてください。
 - ⑥受験票は必ず持ち帰り保管してください。
 - ⑦上履きは不要です。
- (2) 不正行為
次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当日の入学試験を含め当該年度における本学の全入学者選抜(大学入学共通テスト利用選抜含む)、全ての教科・科目の成績を無効とします。
なお、検定料は返還しません。
*不正行為を行った場合、警察に被害届を提出する場合があります。
 - ①出願書類(志願票含む)の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等(志願票に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど)をすること。
 - ②カンニング(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
 - ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。また、イヤホンを使用すること。
 - ⑤試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ⑥試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑦試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑧その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9 合格発表

合格発表は、WEB出願サイトのみで行います。

- (1) 受験者は、**2025年12月5日(金)午前10時以降**にWEB出願サイトのマイページ上で合否照会をしてください。
 - (2) 合格者はマイページ内「合否照会・通知・入学手続き等」ページから合格通知書と振込用紙が印刷可能となります。合格通知書や振込用紙は郵送しませんので各自で印刷してください。
- ※掲示や郵送および電話での合格発表は行いません。また、合否や成績の内容(たとえば各科目の得点など)に関する確認・お問い合わせには一切応じません。

合否照会

以下の二つの方法で合否を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。

その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。

また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ①出願登録と同様に、本学ホームページからWEB出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。
マイページへのログインには「ログインID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ②マイページにログインしたら、「合否照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URL を指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB 合否照会」バナーをクリックするか、下記の URL からアクセス
<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>



1

利用規約を確認し、「同意する」にチェックを入れて次ページに進みます。

2

受験番号と誕生日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3

合否結果が表示されます。

10 入学手続

(1) 入学手続方法および手続期間について

以下①～④の手続をそれぞれの期限までに完了する必要があります。期限までに手続が完了していない場合には、入学を認めません。

■①入学金の納入（第一次手続）

②授業料等の納入（第二次手続）または「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請

2025年12月5日（金）～12月19日（金）

* WEB 出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

* **「高等教育の修学支援新制度」**を利用される場合、あらかじめ、日本学生支援機構（JASSO）に予約採用の申込手続を行い、かつ、所定の期間内に別途、本学への申請手続が必要です。

申請した場合、授業料等（入学金は含みません）の納入は入学後になります。

■③必要書類の提出

④入学手続情報登録

2026年2月24日（火）～3月10日（火）

* 以下のいずれかを郵送（締切日必着）もしくは本学各学部事務室に持参してください。

・卒業証明書（2026年3月卒業生のみ）

・合格成績証明書（高等学校卒業程度認定試験を合格見込みで受験した者のみ）

※出願時に既に卒業・修了している方の場合、提出していただく書類はありません。

* 上記期間内でWEB出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。

掲載文をよく読み、登録を行ってください。

(2) 授業料等の納入延期について

他大学受験や勤務条件の変更等、特別の事情がある者で授業料等の納入延期を希望する場合は、入学金を銀行または信用金庫窓口より振り込み、納入金手続期間中に本人（または代理人）が郵送または直接大学入試課窓口にて、次の必要書類を提出して許可を得なければなりません。

（提出書類）

①振込金受領書 C のコピー・・・本学所定の第一次手続（入学金）用振込用紙を使用し、入学金を振り込んだ受領書のコピー

②第二次手続（授業料等）延期願・・・本学所定の用紙に必要事項を記入し、押印してください。

③第二次手続（授業料等）用振込用紙・・・本学所定の授業料等の振込用紙

この第二次手続（授業料等）の延期を許可された者に限り、2026年3月24日（火）まで手続きを延期することを認めます。

(3) 授業料等納入金返還について

所定の期間内に入学辞退・学費等納入金返還手続を行った場合、入学金を除く既納入金を返還します。

詳細については、入学手続時の情報をご確認ください。

11 その他

(1) 合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。

(2) 入学前教育を実施する際は、必要な業務を業者（以下、「受託業者」という）に委託することがあります。この場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限定して、知り得た個人情報を提供することがあります。

Ⅶ. 特別選抜（社会人）要項

1 趣 旨

様々な理由で大学での勉強の機会を持てなかった社会人にあらためて勉学の機会を提供するとともに、社会人としての豊富な経験を在學生と共有することで、互いの学びに対する研鑽が図れることを期待して、この特別選抜を行います。

2 募集人員

1 部（昼間部） (人)

学部・学科		社会人	
		I 期	II 期
経営学部	経営学科	若干名	若干名
	経営情報学科	若干名	若干名
人文学部	日本文化学科	若干名	—
	英米文化学科	若干名	—

2 部（夜間部） (人)

学部・学科		社会人	
		I 期	II 期
*経済学部（経済・地域経済）		4	4
経営学部	経営学科	5	6
*法学部（法律・政治）		5	5
人文学部	日本文化学科	4	—
	英米文化学科	2	—

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

3 出願資格・選抜方法

次の一般要件〔A〕のいずれかに該当する者で、かつ、出願する学部の特典要件〔B〕を満たす者

一 般 要 件 〔A〕	(1) 高等学校を卒業した者（ただし、定時制・通信制高等学校については、2026年3月卒業見込みの者を含む） (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。かつ日本語能力試験（JLPT）N2相当以上の能力を有する者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学省が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ④ 文部科学大臣の指定した者 ⑤ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者および2026年3月31日までに合格見込みの者（大学入学資格検定に合格した者） ⑥ その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学で認められた者
----------------	--

学部・学科	要件 特典要件〔B〕	選抜方法	
		書類審査	口頭試問
*経済学部 2部 (経済・地域経済)	2026年3月31日までに満19歳以上に達し、正社員、自営業従事者、契約社員等として就業（アルバイト・家事手伝いは除く）している者、または満20歳以上に達する者。合格した場合は、本学部入学後も就業しながら修学することを確約できる者	○	○
経営学部 1部 経営学科 経営情報学科 経営学部 2部 経営学科	2026年3月31日までに満23歳以上に達し、社会経験（正社員、自営業従事者、契約社員、専業主婦等の経験）を3年以上有する者（アルバイト・家事手伝いは除く）	○	○
*法学部 2部 (法律・政治)	2026年3月31日までに、満19歳以上に達する定職を有する者（アルバイトは除く）、または、2026年3月31日までに満21歳以上に達する者（定職の有無を問わない）	○	○
人文学部 1・2部 日本文化学科 英米文化学科	2026年3月31日までに、満23歳以上に達する者	○	○

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

○経済学部では「1・2部社会人特別編入学試験」、経営学部では「2部社会人特別編入学試験」を実施しています。場合によっては、社会人特別編入学試験の出願資格を満たし、3年次に編入できる可能性がありますので、それぞれの学部事務室にお問い合わせください。

選抜方法について

- 経済学部・経営学部・人文学部の口頭試問は、志望理由書の記載事項や、これまでの社会経験などが主たる内容となります。
- 法学部の口頭試問は、次の2つの内容について行われます。

1. 「大学生活への意欲」

受験の動機・目的や入学後の計画など、勉学意欲を中心として活気ある学生生活を送ることができるかどうかを確認します。

2. 「時事問題への関心度」

口頭試問の場で法律または政治に関する時事問題から数個のテーマを提示します。

その中からもっとも関心のある問題を1つ選択し、その問題をめぐる質疑応答を通して、法学部で学ぶ意欲と能力を確認します。

4 社会人選抜日程等一覧

期	I 期				II 期		
学 部	*経済学部	経営学部	*法学部	人文学部	*経済学部	経営学部	*法学部
学 科	2部 (経済) (地域経済)	1・2部 経営学科 1部 経営情報学科	2部 (法律) (政治)	1・2部 日本文化学科 1・2部 英米文化学科	2部 (経済) (地域経済)	1・2部 経営学科 1部 経営情報学科	2部 (法律) (政治)
出願期間	2025年11月1日(土)～ [郵送受付]11月10日(月)消印有効 [大学窓口受付]11月11日(火)午後4時 ※日曜・祝日は大学窓口受付は行いません。 ※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着とします。				2026年2月12日(木)～ [郵送受付]2月19日(木)消印有効 [大学窓口受付]2月20日(金)午後4時 ※日曜・祝日は大学窓口受付は行いません。 ※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着とします。		
受験票	17～18頁の「4 受験票について」を参照してください。						
試験日	2025年11月23日(日)				2026年2月28日(土)		
試験時間	各自受験票記載						
選抜方法	口頭試問・書類審査						
試験地	北海学園大学 豊平校舎 (所在地) 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 TEL 011-841-1161(代) ※試験場案内図は89頁参照						
合格発表	2025年12月5日(金) 午前10時 (WEB出願サイトのみで行います)				2026年3月13日(金) 午前10時 (WEB出願サイトのみで行います)		

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

○個人口頭試問を原則としていますが、志願者数によっては集団口頭試問になる場合があります。

なお、個人口頭試問の時間は15分から20分程度を予定しています。

○試験時間(各自受験票記載)の15分前までに会場案内図での指示に従って着席してください。

5 出願書類

学 部	*経済学部	経営学部	*法学部	人文学部
学 科	2部 (経済) (地域経済)	1・2部 経営学科 1部 経営情報学科	2部 (法律) (政治)	1・2部 日本文化学科 1・2部 英米文化学科
選抜方法	書類審査、口頭試問	書類審査、口頭試問	書類審査、口頭試問	書類審査、口頭試問
出願書類				
志願票 (願書)	○	○	○	○
調査書 (2025年10月1日以降 に発行されたもの)	○	○	○	○
志望理由書 (様式5)	○	○	○	○
経歴書 (様式3)	○	○	○	○
在職証明書 (様式4) または社会保険証 の写し	—	—	入学までに満21歳に 達しない者 ○	—
注意事項	<p>志願票 (願書) WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票 (願書) を印刷してください。 ※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」(6~9頁) をご参照ください。</p> <p>調査書 (2025年10月1日以降に発行されたもので、第1学期までの評定が記載されたもの。既に卒業・修了している場合は発行年月日は問いませんが、卒業後・修了後のものを提出してください) 調査書は出身高等学校の所定用紙で、学校長が証明し厳封したもの。高等学校卒業程度認定試験 (大学入学資格検定) に合格した者は、合格成績証明書 (合格証明書は不可)、合格見込みの者は、合格見込成績証明書を提出してください。 なお、既卒業者で調査書の発行が不可能な場合は、成績証明書 (または単位修得証明書) と卒業証明書の2点を提出してください。成績証明書 (または単位修得証明書) が発行されない場合に限り、卒業証明書のみを提出してください。その場合、発行されない旨のメモ書き等を添えてください。 また、諸事情により氏名等に変更がある場合は「戸籍抄本 (個人事項証明書)」を提出してください。</p> <p>志望理由書 (様式5) 以下の各学部・学科の指示に従い、本学所定の様式に必ず手書きで記入のうえ提出してください。 テーマを記載する場合や空白マスは文字数に含まれません。 ※本学ホームページ (https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html) よりダウンロードし、印刷してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学部 テーマは①自分の仕事と入学志望の関連について、また、入学後特に勉強したいこと (400字程度)。 ②現在、最も関心をもっていることについて (経済の問題または地域経済・社会の問題) (300字程度)。 ・経営学部 ①これまでの「社会経験」について (300字程度)。 ②自分の仕事と入学志望の関連について、および入学後特に勉強したいこと (400字程度)。 ・法学部 志望する理由を800字以内で記入してください。 ・人文学部 これまでの社会的経験と入学志望の関連について、また、入学後、特に勉強したいこと (800字程度)。 <p>経歴書 (様式3) 本学所定の様式を使用し提出してください。 ※本学ホームページ (https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html) よりダウンロードし、印刷してください。</p> <p>在職証明書 (様式4) または社会保険証の写し 該当する場合は、在職証明書 (本学指定の様式を使用し、勤務先が出願前1カ月以内に証明したもの) を提出してください。在職証明書が提出できない者は、社会保険証の写しを提出してください。 ※本学ホームページ (https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html) よりダウンロードし、印刷してください。</p>			

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

6 入学検定料の支払い・出願上の注意について

14～16 頁を参照して手続きを行ってください。

7 出願方法と送付先

- (1) 出願書類は市販の角 2 型封筒を用意し、志願票（願書）その他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、「速達簡易書留」で郵送してください。
- (2) 出願書類送付先 〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号 北海学園大学 入試部入試課

8 受験上の注意

- (1) 試験について
 - ①試験会場は、本学の豊平校舎となります。試験場およびその周辺での駐車は禁止します。
 - ②試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
 - ③試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
 - ④口頭試問は、指定時刻に遅れた場合は受けられないことがあります。
 - ⑤携帯電話およびこれに類するものを試験場に持ち込まれる場合は、電源を切り、カバンの中に入れてください。
 - ⑥受験票は必ず持ち帰り保管してください。
 - ⑦上履きは不要です。
- (2) 不正行為
次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当日の入学試験を含め当該年度における本学の全入学者選抜（大学入学共通テスト利用選抜含む）、全ての教科・科目の成績を無効とします。
なお、検定料は返還しません。
*不正行為を行った場合、警察に被害届を提出する場合があります。
 - ①出願書類（志願票含む）の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等（志願票に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ②カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。また、イヤホンを使用すること。
 - ⑤試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ⑥試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑦試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑧その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9 合格発表

合格発表は、WEB 出願サイトのみで行います。

- (1) 合格発表日については、4 社会人選抜日程等一覧（74 頁）を参照してください。
- (2) 受験者は、WEB 出願サイトのマイページ上で合否照会をしてください。
- (3) 合格者はマイページ内「合否照会・通知・入学手続き等」ページから合格通知書と振込用紙が印刷可能となります。合格通知書や振込用紙は郵送しませんので各自で印刷してください。

※掲示や郵送および電話での合格発表は行いません。また、合否や成績の内容（たとえば各科目の得点など）に関する確認・お問い合わせには一切応じません。

- 法学部の合格者には、入学までの期間に入学前教育を実施することがあります。
- 法学部で入学前教育を実施する際は、必要な業務を業者（以下、「受託業者」という）に委託することがあります。この場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限定して、知り得た個人情報を提供することがあります。

合否照会

以下の二つの方法で合否を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多かつながりにくい状態が予想されます。

その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。

また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ①出願登録と同様に、本学ホームページから WEB 出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。
マイページへのログインには「ログイン ID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ②マイページにログインしたら、「合否照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URL を指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB 合否照会」バナーをクリックするか、下記の URL からアクセス
<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>



1

利用規約を確認し、「同意する」にチェックを入れて次ページに進みます。

2

受験番号と誕生日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3

合否結果が表示されます。

10 入学手続

(1) 入学手続方法および手続期間について

以下①～④の手続をそれぞれの期限までに完了する必要があります。期限までに手続が完了していない場合には、入学を認めません。

■①入学金の納入（第一次手続）

②授業料等の納入（第二次手続）または「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請

【I期】 2025年12月5日（金）～12月19日（金）

【II期】 2026年3月13日（金）～3月24日（火）

* WEB 出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

* **「高等教育の修学支援新制度」**を利用される場合、あらかじめ、日本学生支援機構（JASSO）に予約採用の申込手続を行い、かつ、所定の期間内に別途、本学への申請手続が必要です。

申請した場合、授業料等（入学金は含みません）の納入は入学後になります。

■③必要書類の提出

④入学手続情報登録

【I期】 2026年2月24日（火）～3月10日（火）

【II期】 2026年3月13日（金）～3月24日（火）

* 以下の書類をいずれかを郵送（締切日必着）もしくは本学各学部事務室に持参してください。

- ・卒業証明書（2026年3月卒業生のみ）
- ・合格成績証明書（高等学校卒業程度認定試験を合格見込みで受験した者のみ）
- ・3学年修了証明書（高等専門学校在学学生のみ）

※出願時に既に卒業・修了している方の場合、提出していただく書類はありません。

* 上記期間内でWEB 出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。掲載文をよく読み、登録を行ってください。

(2) 授業料等の納入延期について

勤務条件の変更等、特別の事情がある者で授業料等の納入延期を希望する場合は、入学金を銀行または信用金庫窓口より振り込み、納入金手続期間中に本人（または代理人）が郵送または直接大学入試課窓口にて、次の必要書類を提出して許可を得なければなりません。また、II期合格者は延期手続はできません。

（提出書類）

- ①振込金受領書 C のコピー……本学所定の第一次手続（入学金）用振込用紙を使用し、入学金を振り込んだ受領書のコピー
- ②第二次手続（授業料等）延期願……本学所定の用紙に必要事項を記入し、押印する。
- ③第二次手続（授業料等）用振込用紙……本学所定の授業料等の振込用紙
この第二次手続（授業料等）の延期を許可された者に限り、2026年3月24日（火）まで手続きを延期することを認めます。

(3) 授業料等納入金返還について

所定の期間内に入学辞退・学費等納入金返還手続を行った場合、入学金を除く既納入金を返還します。詳細については、入学手続時の情報をご確認ください。

VIII. その他の特別選抜

特別選抜（海外帰国生徒）要項

1 趣 旨

国際化時代といわれている今日、海外のさまざまな分野で日本人が活躍しているなか、海外の教育機関で学び帰国した「海外帰国生徒」に対応する教育が求められています。

本学では、その豊かな国際経験を尊重して海外帰国生徒を積極的に受け入れるため、特別選抜を行います。

2 募集人員（各学部・学科／コース 若干名）

*経済学部	1部（経済学科・地域経済学科）	*法学部	1部（法律学科・政治学科）	工学部	社会環境工学科	社会環境コース
経営学部	1部 経営学科	人文学部	1部 日本文化学科		社会環境工学科	環境情報コース
	1部 経営情報学科		1部 英米文化学科		建築学科	
					電子情報工学科	
					生命工学科	

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

3 出願資格

日本国籍を有し、外国で教育を受け、かつ、国の内外を通じて12年の学校教育を修了および修了見込みの者、またはこれに準ずる者のうち次のいずれかに該当する者

- (1) 外国の教育課程に基づく学校に2年以上継続して在学し、修了後2年以内の者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (2) 外国の教育課程に基づく学校に2年以上継続して在学し、帰国後日本の高等学校に編入学をし、その在学期間が2年以内で2026年3月31日までに卒業見込みの者
- (3) 外国の教育課程に基づく学校に2年以上継続して在学し、帰国後2年以内の者で、高等学校卒業程度認定試験に合格または2026年3月31日までに合格見込みの者。または大学入学資格検定に合格した者
- (4) 国際バカロレア資格を2年以内に取得した者

※出願資格および出願資格を証明する書類については、出願する前にできるだけ早く入試課にお問い合わせください。

4 出願手続

- (1) 出願期間
2025年11月1日（土）～〔郵送受付〕11月10日（月）消印有効・〔大学窓口受付〕11月11日（火）午後4時
※日曜・祝日は大学窓口受付は行いません。また、受験票については17～18頁の「**4**受験票について」を参照してください。
※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着とします。
- (2) 出願書類
 - ① 志願票（願書）
WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。
※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。
 - ② 経歴書（本学所定用紙を渡します） 別途、入試課までご連絡ください。
 - ③ 出願資格を証明する書類

出願資格	提出する証明書類
(1)・(2)	最終出身高等学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書
	高等学校における在学全期間の調査書または成績証明書
(3)	高等学校卒業程度認定試験受験者・大学入学資格検定受検者 ・合格者は、合格証明書 ・合格見込みの者は、合格見込みの証明書（高等学校卒業程度認定試験のみ）
	最終出身高等学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書
	高等学校における在学全期間の調査書または成績証明書
(4)	国際バカロレア資格証書の写しと国際バカロレア最終試験の成績評価証明書

5 選抜概要

- (1) 試験日
2025年11月23日(日)
- (2) 選抜科目
経済学部・経営学部・人文学部・工学部
①日本語小論文(60分) ②口頭試問(20分程度)
法学部
①日本語小論文(80分) ②口頭試問(20分程度)
論説文を読んで内容を要約し、意見を述べるものです。
- (3) 試験時間割
受験票に記載します。
- (4) 試験場
北海学園大学 豊平校舎 (試験場案内図は89頁参照)

6 入学検定料の支払い・出願上の注意について

14~16頁を参照して手続きを行ってください。

7 出願方法と送付先

- (1) 出願書類は市販の角2型封筒を用意し、志願票(願書)その他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、「速達簡易書留」で郵送してください。
- (2) 出願書類送付先
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 北海学園大学 入試部入試課

8 受験上の注意

- (1) 試験について
 - ①試験会場は、本学の豊平校舎となります。試験場およびその周辺での駐車は禁止します。
 - ②試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
 - ③試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
 - ④日本語小論文の試験は、試験開始後20分を過ぎた場合は受験できません。口頭試問は、指定時刻に遅れた場合は受けられないことがあります。
 - ⑤試験中に使用を認めるものは以下のとおりです。
HBの黒鉛筆・シャープペンシル、シャープペンシル替え芯、プラスチック製の消しゴム、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可)、鉛筆削り(電動式は認めない)、メガネ、ティッシュペーパー(予め袋等から中身を取り出しておくこと)。
*無地の座布団・ひざ掛けについては、試験開始前に監督者に申し出のうえ、許可を得て使用できます。目薬については、使用するときに監督者に申し出のうえ使用できます。(監督者による確認の結果、使用できない場合があります)
*試験時間中に、次のものを使用してはいけません:下敷き、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類。
*帽子やサングラス等の監督者による本人確認の妨げとなるものの着用はできません。
*試験室は換気を行いますので、なるべく温度調節の可能な服装を心掛けてください。
 - ⑥携帯電話およびこれに類するものを試験場に持ち込まれる場合は、電源を切り、カバンの中に入れてください。
 - ⑦受験票は必ず持ち帰り保管してください。
 - ⑧上履きは不要です。
- (2) 不正行為
次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当日の入学試験を含め当該年度における本学の全入学者選抜(大学入学共通テスト利用選抜含む)、全ての教科・科目の成績を無効とします。
なお、検定料は返還しません。
*不正行為を行った場合、警察に被害届を提出する場合があります。
 - ①出願書類(志願票含む)の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等(志願票に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど)をすること。
 - ②カンニング(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
 - ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ⑤解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥「解答ははじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ⑦試験時間中に、下敷き、定規、コンパス、電動式鉛筆削り、電卓、そろばん、翻訳機能等の記憶機能つきの用品およびこ

れに類するものを使用すること。

- ⑧試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。また、イヤホンを使用すること。
- ⑨「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ⑩試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ⑪試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑫試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑬その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9 合格発表

合格発表は、WEB 出願サイトのみで行います。

- (1) 受験者は、**2025年12月5日(金)午前10時以降**にWEB出願サイトのマイページ上で合否照会をしてください。
- (2) 合格者はマイページ内「合否照会・通知・入学手続き等」ページから合格通知書と振込用紙が印刷可能となります。合格通知書や振込用紙は郵送しませんので各自で印刷してください。

※掲示や郵送および電話での合格発表は行いません。また、合否や成績の内容（たとえば各科目の得点など）に関する確認・お問い合わせには一切応じません。

合否照会

以下の二つの方法で合否を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多くなりにくい状態が予想されます。その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。

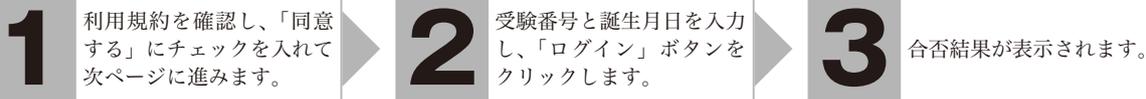
また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ①出願登録と同様に、本学ホームページからWEB出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。マイページへのログインには「ログインID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ②マイページにログインしたら、「合否照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URL を指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB 合否照会」バナーをクリックするか、下記の URL からアクセス
<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>



10 入学手続

(1) 入学手続方法および手続期間について

以下①～④の手続をそれぞれの期限までに完了する必要があります。期限までに手続が完了していない場合には、入学を認めません。

■①入学金の納入（第一次手続）

②授業料等の納入（第二次手続）または「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請

2025年12月5日(金)～12月19日(金)

* WEB 出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

* **「高等教育の修学支援新制度」**を利用される場合、あらかじめ、日本学生支援機構（JASSO）に予約採用の申込手続を行い、かつ、所定の期間内に別途、本学への申請手続が必要です。

申請した場合、授業料等（入学金は含みません）の納入は入学後になります。

■③必要書類の提出

④入学手続情報登録

2026年2月24日(火)～3月10日(火)

* 以下の書類をいずれかを郵送（締切日必着）もしくは本学各学部事務室に持参してください。

- ・卒業証明書（2026年3月卒業生のみ）
- ・修了証明書（卒業または修了見込で出願した者のみ）
- ・合格成績証明書（高等学校卒業程度認定試験を合格見込みで受験した者のみ）

* 上記期間内でWEB出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。

掲載文をよく読み、登録を行ってください。

(2) 授業料等納入金返還について

所定の期間内に入学辞退・学費等納入金返還手続を行った場合、入学金を除く既納入金を返還します。詳細については、入学手続時の情報をご確認ください。

特別選抜（外国人留学生）要項

1 趣 旨

日本の大学に留学を希望する外国人留学生は年々増加しています。国際化に対応するために、日本の海外進出と同様に外国からも留学生を受け入れ、教育の機会を提供し、大学の国際化を図っていく必要があると考えます。

本学では、文化・学問の比較研究および人的交流の拡大を求めて、専門分野の研究に対する高い問題意識と優れた日本語能力を有する外国人留学生の入学を特に歓迎します。

2 募集人員（各学部・学科／コース 若干名）

*経済学部 1部（経済学科・地域経済学科）	*法学部 1部（法律学科・政治学科）	工学部 社会環境工学科	社会環境コース
経営学部 1部 経営学科	人文学部 1部 日本文化学科	社会環境工学科	環境情報コース
1部 経営情報学科	1部 英米文化学科	建築学科	
		電子情報工学科	
		生命工学科	

*経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は1年次末に決定します。

3 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- (2) (1)に準ずる者として文部科学大臣の指定した者
- (3) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月31日までに満18歳に達する者

なお、(3)の対象者は、出願の2ヵ月前までに所定の書類を提出し、審査を受ける必要があります。

- ◎出願する前にできるだけ早く入試課にお問い合わせください。
- ◎2025年度の日本留学試験を受験すること。
- ◎経営学部では、総合実践英語の1年次科目が履修必修となっているので、入学前に英語の基礎を学んであることが望ましい。

4 出願手続

(1) 出願期間

2025年11月1日（土）～〔郵送受付〕11月10日（月）消印有効・〔大学窓口受付〕11月11日（火）午後4時

※日曜・祝日は大学窓口受付は行いません。また、受験票については17～18頁の「**4**受験票について」を参照してください。

※日本国外から出願書類を郵送する場合、大学窓口締切日必着とします。

(2) 出願書類

①志願票（願書）

WEB出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。

※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9頁）をご参照ください。

②本学所定用紙（電話での申込みにより、お渡しいたします）

③出願資格を証明する書類

次の証明書類を提出してください。なお、証明書には日本語訳を添付してください。

出願資格	提出する証明書類
(1)・(2)	修了（見込み）証明書と最終出身学校の成績証明書
(3)	資格証書の写しと最終試験の成績評価証明書または修了（見込み）証明書および成績証明書

④経歴書（電話での申込みにより、お渡しいたします）

⑤志望理由書（電話での申込みにより、お渡しいたします）

⑥パスポート（顔写真およびビザまたは最新の在留資格・期間等のわかるページ）の写し

⑦在留カード両面の写し（志願者が日本国内に在住している場合）

⑧日本留学試験受験票（1回目・2回目）の写し

5 選抜概要

- (1) 試験日
2025年11月23日(日)
- (2) 選抜科目
経済学部・経営学部・法学部・人文学部
①日本留学試験(「日本語」、「総合科目」)結果 ②口頭試問(20分程度)
工学部 社会環境工学科(社会環境コース)、電子情報工学科
①日本留学試験(「日本語」、「数学(コース2)」、「物理」)結果 ②口頭試問(20分程度)
工学部 社会環境工学科(環境情報コース)
①日本留学試験(「日本語」、「数学(コース1あるいはコース2)」)結果 ②口頭試問(20分程度)
工学部 建築学科
①日本留学試験(「日本語」、「数学(コース2)」)結果 ②口頭試問(20分程度)
工学部 生命工学科
①日本留学試験(「日本語」、「数学(コース1あるいはコース2)」、「理科(2科目)」)結果 ②口頭試問(20分程度)

※日本留学試験について

この試験は、独立行政法人日本学生支援機構が実施するものであり、本学では、当該年度の日本留学試験結果のみ有効とします。試験日は、第1回(2025年6月15日)と第2回(2025年11月9日)の年2回です。

当該年度の第1回と第2回の両方を受験した場合は、どちらの成績を利用するか受験生本人が選択することになります(試験当日、説明いたします)。

出題言語は、全学部とも日本語を指定していますが、出題教科は学部により異なりますので、ご注意ください。

- (3) 試験時間割
受験票に記載します。
- (4) 試験場
北海学園大学 豊平校舎 (試験場案内図は89頁参照)

6 入学検定料の支払い・出願上の注意について

14~16頁を参照して手続きを行ってください。

7 出願方法と送付先

- (1) 出願書類は市販の角2型封筒を用意し、志願票(願書)その他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、「速達簡易書留」で郵送してください。
- (2) 出願書類送付先
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 北海学園大学 入試部入試課

8 受験上の注意

- (1) 試験について
①試験会場は、本学の豊平校舎となります。試験場およびその周辺での駐車は禁止します。
②試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
③試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
④口頭試問は、指定時刻に遅れた場合は受けられないことがあります。
⑤携帯電話およびこれに類するものを試験場に持ち込まれる場合は、電源を切り、カバンの中にしてください。
⑥受験票は必ず持ち帰り保管してください。
⑦上履きは不要です。
- (2) 不正行為
次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当日の入学試験を含め当該年度における本学の全入学者選抜(大学入学共通テスト利用選抜含む)、全ての教科・科目の成績を無効とします。
なお、検定料は返還しません。
*不正行為を行った場合、警察に被害届を提出する場合があります。
①出願書類(志願書含む)の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等(志願票に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど)をすること。
②カンニング(試験の教科・科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
④試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。また、イヤホンを使用すること。
⑤試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
⑥試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑦試験場において監督者等の指示に従わないこと。
⑧その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9 合格発表

合格発表は、WEB 出願サイトのみで行います。

- (1) 受験者は、**2026年1月20日(火)午前10時以降**にWEB出願サイトのマイページ上で合否照会をしてください。
- (2) 合格者はマイページ内「合否照会・通知・入学手続き等」ページから合格通知書と振込用紙が印刷可能となります。合格通知書や振込用紙は郵送しませんので各自で印刷してください。

※掲示や郵送および電話での合格発表は行いません。また、合否や成績の内容（たとえば各科目の得点など）に関する確認・お問い合わせには一切応じません。

合否照会

以下の二つの方法で合否を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多くなりにくい状態が予想されます。

その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。

また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ①出願登録と同様に、本学ホームページからWEB出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。
マイページへのログインには「ログインID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ②マイページにログインしたら、「合否照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URL を指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB 合否照会」バナーをクリックするか、下記の URL からアクセス
<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>



1

利用規約を確認し、「同意する」にチェックを入れて次ページに進みます。

2

受験番号と誕生日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3

合否結果が表示されます。

10 入学手続

(1) 入学手続方法および手続期間について

以下①～④の手続をそれぞれの期限までに完了する必要があります。期限までに手続が完了していない場合には、入学を認めません。

■①入学金の納入（第一次手続）

②授業料等の納入（第二次手続）

2026年1月20日(火)～2月3日(火)

* WEB 出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

■③必要書類の提出

④入学手続情報登録

2026年2月24日(火)～3月10日(火)

* 以下の書類を郵送（締切日必着）もしくは本学各学部事務室に持参してください。

- ①修了証明書（修了見込みで出願した者のみ）※修了見込証明書は不可
- ②在留カード両面の写しとパスポート（顔写真およびビザまたは最新の在留資格・期間等のわかるページ）の写し
- ③誓約書
- ④預金残高証明書
- ⑤預金通帳写し等当該預金の入出金の経緯が明らかになるもの
- ⑥⑤の資金形成に至る過去3年間の収入に関する資料（年ごと）
- ⑦経費支弁者の在職証明書（または法人登記簿）、収入が確認できる資料
- ⑧受験生との関係を証明する資料

* 上記期間内でWEB出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。

掲載文をよく読み、登録を行ってください。

(2) 授業料等納入金返還について

所定の期間内に入学辞退・学費等納入金返還手続を行った場合、入学金を除く既納入金を返還します。

詳細については、入学手続時の情報をご確認ください。

11 外国人留学生授業料減額制度について

北海学園「外国人留学生授業料減額制度」は、私費外国人留学生を対象に授業料の一部を軽減し、経済的な支援をすることによって、より一層勉学や研究活動に専念していただくとするものです。

授業料の減額を受けようとする場合は、合格後、所定の手続きを期間内にしていただくことになります。

なお、減額制度の詳しい内容については、入試課へお問い合わせください。

IX. 学校推薦型選抜（併設校）要項（北海高等学校・北海学園札幌高等学校）

1 本制度の目的と要件

本制度は、北海学園大学、北海高等学校、北海学園札幌高等学校の教育上の連携を深めて、北海学園に学ぶ学生、生徒の学力、資質の向上を達成するための制度です。

その運用は、高等学校在学中の学習成績および生活態度が良好で、大学入学後も引き続き好ましい学習活動を展開するに足ると判断される生徒を対象に行います。

実施学部、学科・コースおよび募集人員については、大学と高等学校の相互協議に基づいて定めます。

2 選抜日程等一覧

学 部	経済学部 ※1	経営学部	法学部 ※1	人文学部	工学部			
	1部 2部 (経済・地域経済)	1部 1部 2部 経営学科 経営情報学科 経営学科	1部 2部 (法律・政治)	1部 1部 2部 2部 日本文化学科 英米文化学科 日本文化学科 英米文化学科	社会環境 工 学 科	建築学科	電子情報工学科	生命工学科
学 科 コ ー ス					社会環境 コース	環境情報 コース		
出願期間	2025年11月1日(土)～11月11日(火) 午後4時 ※本学入試課へ直接持参してください。							
出願方法	出願者は市販の角2型封筒を用意し、志願票(願書) その他必要書類一式を入れ、「封筒貼付用宛名ラベル」を剥がれないように貼り付け、所属する高等学校に提出してください。 両高等学校は、志願者の出願書類を取りまとめて(両高等学校内での出願期日は別に定める)「推薦者名簿」および「成績順位一覧」とともに出願期間内に入試課に提出して、所定の出願手続を完了してください。							
出願書類提出先	北海学園大学 入試部入試課							
受験票	17～18頁の「 4 受験票について」を参照してください。							
試験日	2025年11月23日(日) (経済学部・経営学部・法学部・人文学部を除く※2)							
試験時間	各自受験票記載							
試験地	北海学園大学 豊平校舎 (所在地) 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 TEL 011-841-1161 (代) ※試験場案内図は89頁参照							
合格発表	2025年12月5日(金) 午前10時 (WEB出願サイトのみで行います)							
入学手続期間	88頁「 6 入学手続」を参照してください。							

本学の学校推薦型選抜（併設校）は、すべて「専願制」です。

※1 経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は、1年次末に決定します。

※2 経済学部・経営学部・法学部・人文学部は「事前提出小論文」と「書類審査」で合否判定を行うため、試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。

3 出願書類

学 部	経済学部		経営学部		法学部		人文学部		工学部						
	1部 (経済・地域経済)	2部 (経済・地域経済)	1部 経営学科	1部 経営情報学科	2部 経営学科	1部 (法律・政治)	2部 (法律・政治)	1部 日本文学	1部 英米文化	2部 日本文学	2部 英米文化	社会環境 工学科	建築学科	電子情報工学科	生命工学科
学 科 コ ー ス												社会環境 コース	環境情報 コース		
出 願 書 類	志願票 (願書)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	志望理由書 (様式 5)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	事前提出 小論文 (様式 5)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
注意事項	<p>志願票（願書） WEB 出願専用サイトから手続きを行い、検定料の支払い完了後、「支払い完了通知」のメールが届いたらマイページにログインし、志願票（願書）を印刷してください。 ※出願登録用の顔写真データが必要となります。詳細につきましては、巻頭の「出願から入学手続までの流れ」（6～9 頁）をご参照ください。</p> <p>調査書 出身高等学校の所定様式で、学校長が証明し厳封したものに限り、 ※所見欄、記録欄は可能な限り詳細に記載してください。</p> <p>志望理由書・事前提出小論文（様式 5） 以下の指示に従い、提出してください。 テーマを記載する場合や空白マスは文字数に含まれません。 様式 5 については本学ホームページ (https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html) よりダウンロードし、「A4 サイズ」・「片面印刷」で出力の上、必ず手書きで作成してください。 その他、注意事項も併載していますので、ご参照ください。</p> <p>◎経済学部（志望理由書・事前提出小論文） 次の 2 つのテーマそれぞれについて所定の原稿用紙（様式 5）に指定の文字数（但し、空白マスは含まない）で書いてください。 (a) 志望理由書（800 字程度）：経済学部を志望した理由、および入学後の抱負（入学後に学びたい内容・計画、大学卒業後を見据えた目標等）。 (b) 事前提出小論文（1,000 字以上 1,200 字以下）：高校生活において、授業・課外活動や新聞・テレビ等のメディアや様々な自己の体験を通じて、特に関心をもった社会・経済や地域の問題に関する意見。</p> <p>◎経営学部（志望理由書・事前提出小論文） 次の 2 つのテーマそれぞれについて所定の原稿用紙に指定の文字数で書いてください。 (a) 志望理由書（800 字程度）：本学部・学科を志望した理由、および入学後の抱負（入学後に学びたい内容・計画、大学卒業後を見据えた目標等）。 (b) 事前提出小論文（1,000 字以上 1,200 字まで）：最近、新聞やテレビで報道されている経営、経済に関するニュースで、最も関心を持っていること。</p> <p>◎法学部（志望理由書・事前提出小論文） 次の 2 つのテーマについて、それぞれ指定の字数で、指定の原稿用紙（様式 5）を用いて作成してください。 (a) 志望理由書：法学部を志望した理由、および入学後の抱負（入学後に学びたい内容・計画、大学卒業後を見据えた目標等）（800 字程度） (b) 事前提出小論文：高校生活において、授業・課外活動や新聞・テレビ等のメディア、様々な自己の体験等を通じて、特に関心をもった法や政治に関するニュース、およびそれに対するあなたの意見（1,000 字以上 1,200 字未満）</p> <p>◎人文学部（志望理由書・事前提出小論文） 次の 2 つのテーマそれぞれについて所定の原稿用紙（様式 5 「志望理由書」「事前提出小論文」）に書いて提出してください。 (a) 志望理由書：本学部・学科を志望した理由、および入学後の抱負（400 字以内）。 (b) 事前提出小論文：これまで読んだ本のうち、もっとも印象に残っているものについての感想（800 字以内）。</p> <p>◎工学部（志望理由書） 指定原稿用紙に、自分が主体的に取り組んだ学習・活動、および志望する理由（600 字～1,000 字程度）を書いて提出してください。出願者自筆のものに限り、</p>														

4 選抜方法

学 部	経済学部 ※1	経営学部	法学部 ※1	人文学部	工学部					
学 科 コ ー ス	1 2 部 部 (経済・地域 経済・経済)	1 1 2 部 部 部 経営学 経営情報 経営学	1 2 部 部 (法律・政治 政治)	1 1 2 2 部 部 部 部 日英米日 本文化文 学科学科	社会環境 工 学 科 社会環境 コース		環境情報 コース	建築学 科	電子情報 工 学 科	生命工 学 科
選抜方法	事前提出小論文 書類審査	事前提出小論文 書類審査	事前提出小論文 書類審査	事前提出小論文 書類審査	口頭試問 書類審査					
詳 細	<p>◎経済学部 「事前提出小論文」と「書類審査」で合否判定を行うため、試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。ただし、テーマから外れたり、文字数が不足したりしている小論文が提出された場合、高校側に連絡し、再提出してもらうことがあります。</p> <p>◎経営学部 事前提出小論文では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。 また、書類審査では、「成績順位一覧」および調査書を活用し、学習成績の状況、出席状況、部活動やボランティア活動、留学・海外経験、取得資格・検定、表彰や顕彰等の記載事項を評価します。 ※試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。</p> <p>◎法学部 「事前提出小論文」と「書類審査」で合否判定を行うため、試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。ただし、テーマから外れた小論文が提出された場合、高校側に連絡し、再提出してもらうことがあります。</p> <p>◎人文学部 「事前提出小論文」では、志願者の「読書経験」「読解力・思考力・表現力」「人文学的想像力」を評価します。 ※「事前提出小論文」と「書類審査」で合否判定を行うため、試験日当日に会場に来ていただく必要はありません。</p> <p>◎工学部 「口頭試問」と「書類審査」で合否判定を行います。</p>									

※1 経済学部・法学部は「学部」単位での募集となります。学科は、1年次末に決定します。

5 入学検定料の支払い・出願上の注意について

14～16頁を参照して手続きを行ってください。

6 受験上の注意

(1) 試験について

- ①試験会場は、大学の豊平校舎となります。試験場およびその周辺での駐車は禁止します。
- ②試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
- ③試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
- ④口頭試問は、指定時刻に遅れた場合は受けられないことがあります。
- ⑤携帯電話およびこれに類するものを試験場に持ち込まれる場合は、電源を切り、カバンの中にしまってください。
- ⑥受験票は必ず持ち帰り保管してください。
- ⑦上履きは不要です。

(2) 不正行為

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当日の入学試験を含め当該年度における大学の全入学者選抜（大学入学共通テスト利用選抜含む）、全ての教科・科目の成績を無効とします。

なお、検定料は返還しません。

*不正行為を行った場合、警察に被害届を提出する場合があります。

- ①出願書類（志願票含む）の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等（志願票に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。

- ②試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ④試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑤その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

7 合格発表

合格発表は、WEB 出願サイトのみで行います。

- (1) 受験者は、**2025年12月5日（金）午前10時以降**にWEB出願サイトのマイページ上で合否照会をしてください。
- (2) 合格者はマイページ内「合否照会・通知・入学手続き等」ページから合格通知書と振込用紙が印刷可能となります。合格通知書や振込用紙は郵送しませんので各自で印刷してください。
- (3) 高等学校長宛てに文書で合格者名簿を通知致します。

※掲示や郵送および電話での合格発表は行いません。また、合否や成績の内容に関する確認・お問い合わせには一切応じません。

○合格者には、入学までの期間に入学前教育の機会を提供します。

合否照会

以下の二つの方法で合否を確認できます。サービス開始直後は、アクセスが多くながりにくい状態が予想されます。その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。

また、「誤操作」や「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認めません。

マイページからアクセスする

- ①出願登録と同様に、本学ホームページからWEB出願サイトにアクセスし、マイページへログインします。マイページへのログインには「ログインID」と、出願登録時に入力したメールアドレス、またそのメールアドレスに届くワンタイムパスワードが記載されたメールを閲覧するための環境が必要です。
- ②マイページにログインしたら、「合否照会・通知・入学手続き等」ボタンをクリック

URL を指定してアクセスする

本学ホームページから「WEB 合否照会」バナーをクリックするか、下記の URL からアクセス

<https://gouhi.eraku-p.jp/era/hgu/>

**1**

利用規約を確認し、「同意する」にチェックを入れて次ページに進みます。

2

受験番号と誕生日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

3

合否結果が表示されます。

8 入学手続

(1) 入学手続方法および手続期間について

以下①～④の手続をそれぞれの期限までに完了する必要があります。期限までに手続が完了していない場合には、入学を認めません。

■①入学金の納入（第一次手続）

②授業料等の納入（第二次手続）または「高等教育の修学支援新制度」の本学への申請

2025年12月5日（金）～12月19日（金）

* WEB 出願サイトのマイページから振込用紙を印刷し、振込手続を行ってください。

* **「高等教育の修学支援新制度」**を利用される場合、あらかじめ、日本学生支援機構（JASSO）に予約採用の申込手続きを行い、かつ、所定の期間内に別途、本学への申請手続が必要です。

申請した場合、授業料等（入学金は含みません）の納入は入学後になります。

■③必要書類の提出

④入学手続情報登録

2026年2月24日（火）～3月10日（火）

* 以下の書類を郵送（締切日必着）もしくは本学各学部事務室に持参してください。

・卒業証明書

* 上記期間内でWEB 出願サイトマイページ内で「入学のための情報登録」が可能となります。

掲載文をよく読み、登録を行ってください。

X. 試験場案内図

一般選抜・学校推薦型選抜・特別選抜会場	
札幌	北海学園大学豊平校舎
札幌市豊平区旭町 4 丁目 1-40 ●地下鉄東豊線「学園前」駅下車（3 番出口直結）	

一般選抜会場（地方会場）	
旭川	旭川北洋ビル
旭川市 4 条通 9 丁目 1703 番地 旭川北洋ビル 8F ●JR 旭川駅より徒歩 8 分	

一般選抜会場（地方会場）	
帯広	とがち館
帯広市西 7 条南 6 丁目 2 番地 ●JR 帯広駅より徒歩 15 分	

一般選抜会場（地方会場）	
函館	函館北洋ビル
函館市若松町 15-7 函館北洋ビル 9F ●JR 函館駅より徒歩約 2 分	

一般選抜会場（地方会場）	
青森	青森県観光物産館アスパム
青森県青森市安方 1 丁目 1-40 ●JR 青森駅東口より徒歩 8 分	

一般選抜会場（地方会場）	
東京	早稲田予備校 東京本校
東京都新宿区高田馬場 4 丁目 4-21 ●JR 山手線・西武新宿線・地下鉄東西線 高田馬場駅より徒歩 3 分	

すべての会場についてのお問い合わせは 北海学園大学 入試部入試課 TEL 011-841-1161 (代表)

XI. 各種様式記入例

(様式1) 推薦書	91
(様式2) 各種検定試験合格証書・証明書の写しに関する証明	92
(様式3) 経歴書	93
(様式4) 在職証明書	94
(様式5) 「適格性自己診断書」・「学修計画書」・「志望理由書」・ 「事前提出小論文」・「2次選考で実施するプレゼンテーションの概要」 共通原稿用紙	95
(様式6) 「課題小論文」原稿用紙	96

記入不要

記入例

(様式 1:2026 年度入学者選抜)

※受験番号

2025 年 11 月 1 日

推 薦 書

北海学園大学 学長 殿

学校名

○○高等学校

学校長名

北海 太郎

印

下記の者は、推薦入学者として適当と認めますので推薦いたします。

該当する箇所を○で囲む。コース等、詳細を記入。

<input checked="" type="radio"/> 全・定・通	<input checked="" type="radio"/> 普通・総合・商業・科 <small>コース等（例：特進コース、進学コース）</small>	氏 名	北海 次郎
	特別進学コース	生年月日	2007 年 5 月 1 日生

選抜区分は該当する番号を○で囲む。

選抜区分	1. 公募制	<input checked="" type="radio"/> 2. 指定校制
------	--------	--

志望する 学部・学科・ コースに <input checked="" type="checkbox"/> を 記入してくだ さい。	1 部 <input checked="" type="checkbox"/> 経済学部 <input type="checkbox"/> 経営学部 経営学科 <input type="checkbox"/> 経営学部 経営情報学科 <input type="checkbox"/> 法学部 <input type="checkbox"/> 人文学部 日本文化学科 <input type="checkbox"/> 人文学部 英米文化学科 <input type="checkbox"/> 工学部 社会環境工学科 社会環境コース <input type="checkbox"/> 工学部 社会環境工学科 環境情報コース <input type="checkbox"/> 工学部 建築学科 <input type="checkbox"/> 工学部 電子情報工学科 <input type="checkbox"/> 工学部 生命工学科 2 部 <input type="checkbox"/> 経済学部 <input type="checkbox"/> 経営学部 経営学科 <input type="checkbox"/> 法学部 <input type="checkbox"/> 人文学部 日本文化学科 <input type="checkbox"/> 人文学部 英米文化学科
---	---

推 薦 理 由

※志望先のアドミッション・ポリシーに対応する志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた学力の三要素に関する評価について記載してください。

例：本生徒は明るい性格の持ち主で、誰とでも平等に接することができます…

※本様式は本学ホームページ

(<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>)

よりダウンロードし、作成してください。

データは「Word」形式と「PDF」形式の2種類ご用意しております。

記載責任者： 北海 三郎

記入例

記入不要

2025 年 11 月 1 日

各種検定試験合格証書・証明書の写しに関する証明

北海学園大学 学長 殿

学校名

〇〇高等学校

学校長名

北海 太郎

学校長印

下記の者に関わる別添の合格証書・証明書の写しについて、原本と相違ないことを証明いたします。

氏 名	北海 次郎
生年月日	2007 年 5 月 1 日生

主催団体	検定種目・級・スコア	取得年月日
公益財団法人 日本英語検定協会	実用英語技能検定 英検 S-CBT 2 級：スコア 2055	2025 年●月●日
全国商業高等学校協会	ビジネス文書実務検定・1 級	2025 年●月●日
<p>※本様式は本学ホームページ (https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html) よりダウンロードし、作成してください。 データは「Word」形式と「PDF」形式の 2 種類ご用意しております。</p>		

※必ず証明書のコピーを添付してください

経済学部 2 部
 経営学部 1・2 部
 法学部 2 部
 人文学部 1・2 部

特別選抜（社会人）

記入不要

（様式 3：2026 年度入学者選抜）

※受験番号

記入例

2025 年 11 月 1 日

経 歴 書

※本様式は本学ホームページ
 (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>)
 よりダウンロードし、作成してください。
 データは「PDF」形式のみとなります。

氏 名	北海 次郎
生年月日	1992 年 11 月 1 日生
2026 年 4 月 1 日 現 在	33 歳

1. 学 歴（専門学校・短大・大学等、入学・卒業年すべてを記入してください。）

年 月 日	中学校卒業
年 月 日	高等学校入学
年 月 日	高等学校（編入）
年 月 日	高等学校（卒業・卒業見込み）
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

2. 職 歴（空白期間がないよう現在に至るまで具体的に記入し、記入欄が不足のときは別紙に記入して添付してください。）

自 年 月 日	
至 年 月 日	
自 年 月 日	
至 年 月 日	
自 年 月 日	
至 年 月 日	
自 年 月 日	
至 年 月 日	
自 年 月 日	
至 年 月 日	

◆ 現在の職業について、次に該当する番号を○で囲み、（ ）の中は具体的内容を記入してください。

1. 公務員（ ） 2. 会社員 3. 自営業（ ）
 4. 臨時・嘱託（ ） 5. 主婦 6. 法人・団体職員（ ）
 7. その他（ ）

全ての項目に記入漏れがないか、確認してください

記入不要

記入例

(様式 4:2026 年度入学者選抜)

※受験番号

在 職 証 明 書

※本様式は本学ホームページ
 (<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>)
 よりダウンロードし、作成してください。
 データは「PDF」形式のみとなります。

氏 名	北 海 次 郎
生年月日	1992 年 11 月 1 日生

上記の者は、下記の通り在職していることを証明します。

勤 務 先	
勤 務 先 所 在 地	
職 名 また は 職 務 内 容	
採 用 年 月 日	年 月 日

年 月 日

証明者

職場名

役職名
および氏名

印

記入漏れ・押印のし忘れがないか、確認してください

(注意事項)

1. 原稿用紙は「A4 サイズ」・「片面印刷」で出力してください。
2. 鉛筆又はボールペン（黒または青）を使用し記入してください。
3. 横書きで記入してください。
4. 手書きした原稿を提出してください（コピー提出不可）。
5. 原稿用紙2枚目以降にもフリガナ・氏名を記入してください。
6. 受験番号欄には何も記入しないでください。
7. 原稿用紙の左上をクリップで留めて提出してください。

記入例

法学部 2 部 特別選抜（課題小論文）

「課題小論文」原稿用紙

テーマ：同性婚と憲法 24 条

記入不要

(様式 6:2026 年度入学者選抜)

受験番号

2025 年 11 月 1 日

小論文題名	・各自で題名を考え、記入してください。
-------	---------------------

フリガナ	ホッカイ ジロウ
氏 名	北海 次郎

10

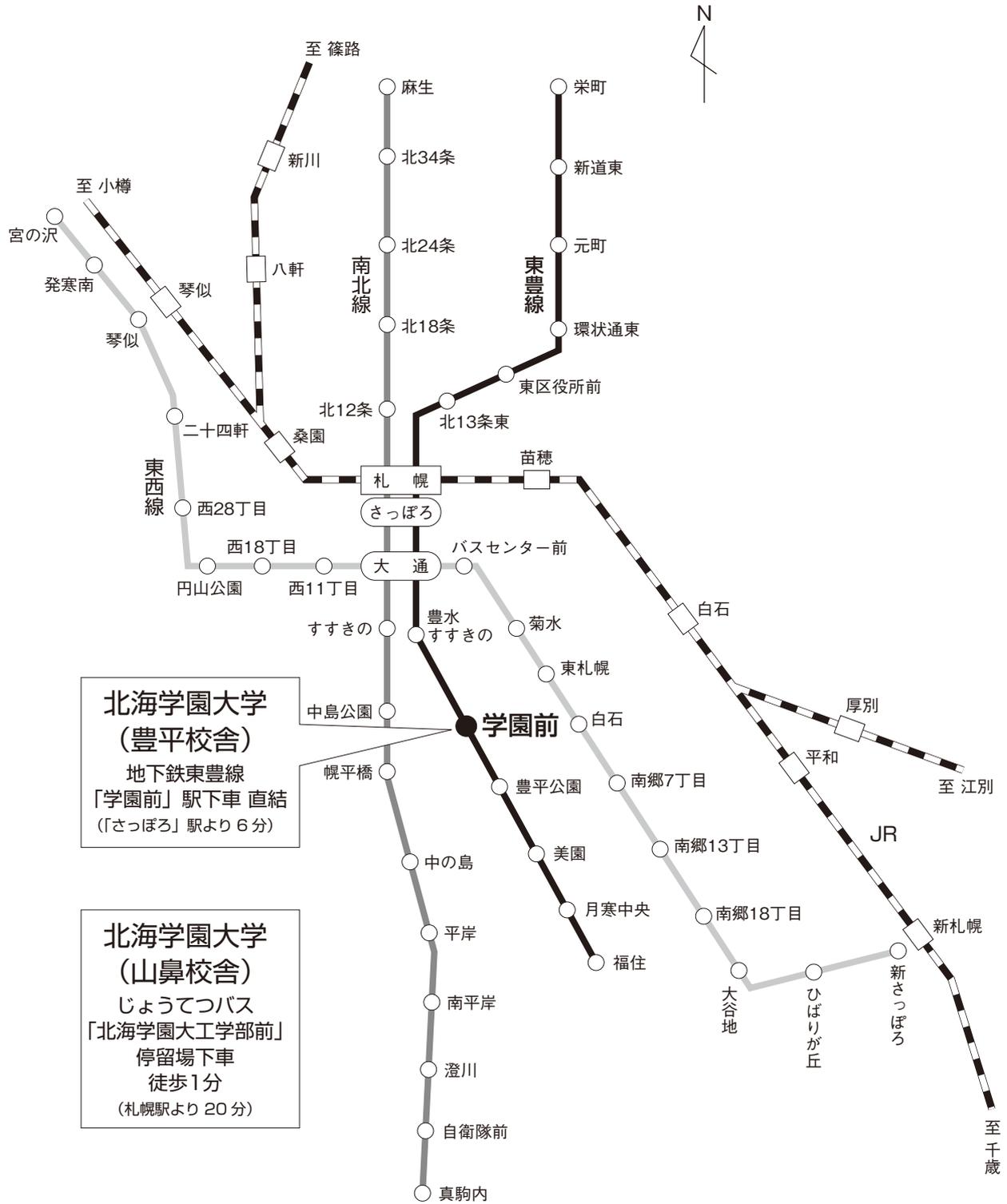
20

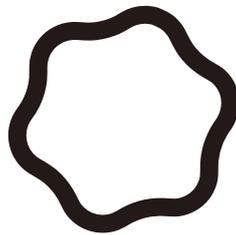
※本様式は本学ホームページ
<https://www.hgu.jp/examination/examination-requirements.html>
よりダウンロードし、作成してください。
データは「PDF」形式のみとなります。

参考文献

- ・参考にした文献を、この欄に明記してください。

Ⅱ. 札幌市内 地下鉄・JR 路線案内図





北海学園大学
Hokkai-Gakuen University

北海学園大学入試部入試課

〒 062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号

☎ (011) 841-1161 (代表)

FAX (011) 841-1377 (直通)

◇ 大学窓口取扱時間 月～金 9:00～16:00
土 9:00～12:40

(但し、月～金曜 12:40～13:40 の間および日曜・祝日を除く)

◇ URL <https://www.hgu.jp/>

◇ フリーダイヤル ☎ 0120-86-2244